





第三編 統治ノ客體

第一章 緒論

第二章 國土

第三章 臣民

第四章 臣民ノ權利

第四編 統治ノ機關

第一章 緒言

第二章 帝國議會ノ國法上ノ性質

第三章 帝國議會ノ組織及權限

第四章 帝國議會ノ召集、開會、停會及閉會

第五章 帝國議會ノ職權執行

第六章 政府

第七章 國務大臣

第八章 裁判所

五三丁

同丁

五六丁

五九丁

六三丁

六六丁

同丁

六八丁

七一丁

七六丁

七九丁

八二丁

八六丁

九三丁

第五編 統治權ノ作用

第一章 總論

第二章 憲法上ノ大權

第三章 立法

第四章 立法ノ手續

第五章 立法ノ範圍

第六章 命令

第七章 命令ノ範圍

第八章 命令ノ種類

第九章 條約

九六丁

同丁

九八丁

一〇三丁

一〇九丁

一一四丁

一二七丁

一二九丁

一二三丁

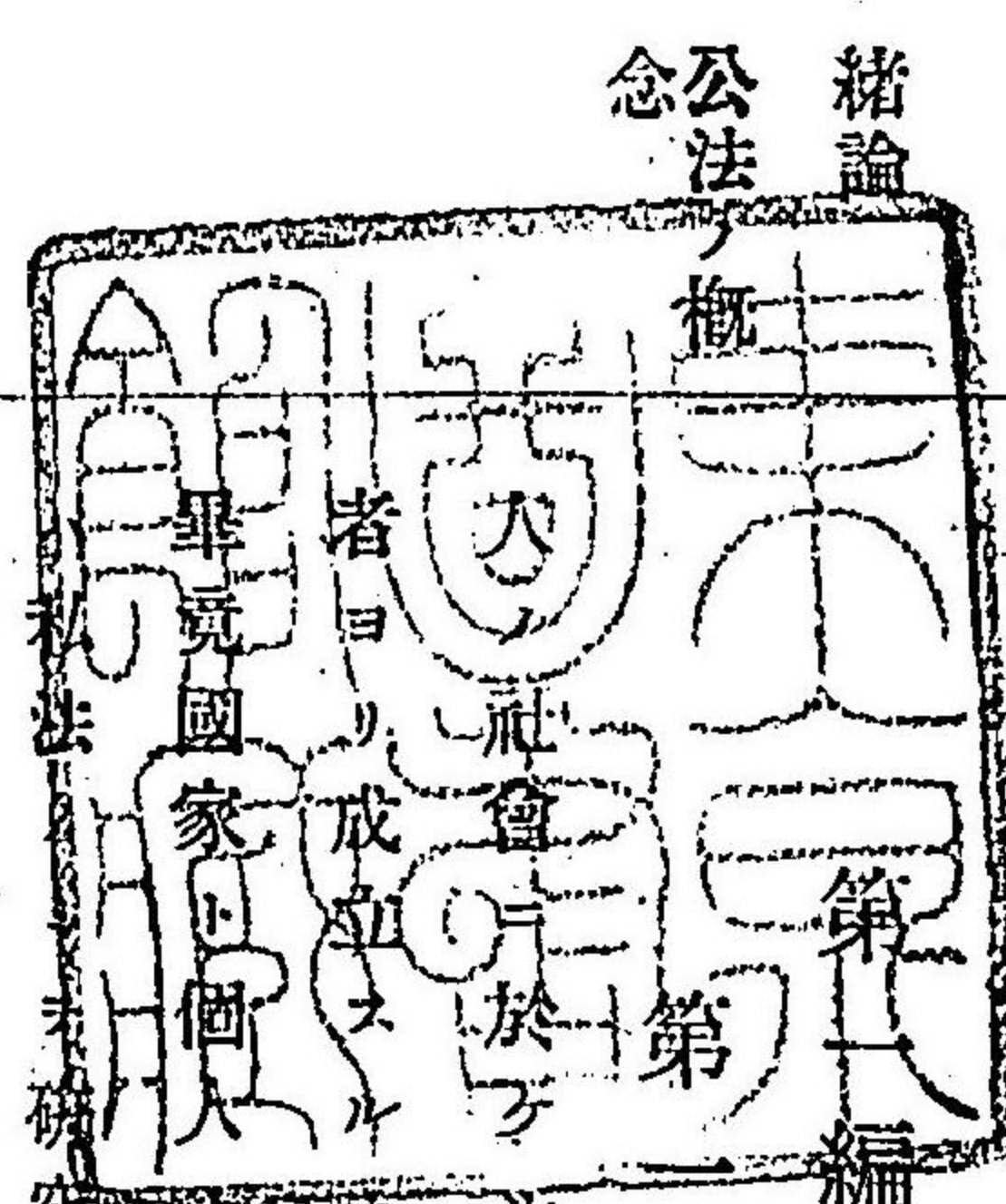
一二九丁

帝國憲法目次終



帝國憲法

法學博士 穗積 八束 講義  
卒業生 田中 文藏 編輯



緒論  
第一章 公法ノ概念

境涯ヲ洞觀スルニ個人相互ノ關係ト國家ト個人トノ關係ノ二見ル民法ハ即チ個人相互ノ關係ヲ規定スルモノニシテ公法ハノ關係ヲ規定スルモノナリ故ニ法ノ全豹ヲ知ラント欲スル者私法ヲ研究シテ以テ十分ナリトス可カラス又公法ノ概念ノミヲ悟了シテ完璧ヲ得タリトス可カラス唯公法私法兩ナカラ之ヲ討覈シテ始メテ法ノ全體ヲ會得セリト謂フ可キ而已

抑モ憲法ハ國法ノ一部分ニシテ國法ハ亦公法ノ一部分タリ故ニ憲法ノ要核ヲ知ラント欲セハ須ラク先ツ公法トハ如何ナルモノナルヤノ梗概ヲ知ラサル可カラ

帝國憲法 緒論 公法ノ概念



ス故ニ我輩ハ茲ニ公法ノ性質ヲ一言ス可シ

公法私法ノ區別ハ遠ク羅馬法ニ濫觴セルモノナルモ中世「ゲルマン」時代ニ在リテハ此區別嚚然トシテ明カナラサリシ然ルニ十四世紀ヨリ十六世紀ニ亘リ歐羅巴諸國ニ於テ再ヒ羅馬法ノ勃興ヲ見ルヤ「史家」之ヲ羅馬法繼受ノ時代ト稱ス「公法私法」ノ區別ハ更ニ法理論上認識セラル、ニ至リ延テ輒近ニ追フテハ愈其區別ヲ明晰ニシ益其研究ヲ精密ニスルコト、爲リタリ而シテ公法トハ通俗ニ之ヲ云ヘハ「憲法」「行政法」「國際法」「刑法」及ヒ「訴訟法」等ヲ總稱ス然レトモ公法ノ性質ハ這般ノ列舉ニ依テ明快ヲ致スモノニ非ス以是乎學者別ニ其定解ヲ下スコトヲ勗ム若シ夫レ學者ノ公法ヲ定義セルモノハ其數極メテ多ク到底僂指ニ違アラス因テ今其重要ナルモノ、ミテ叙述センニ從來ノ學說ハ之ヲ三種ニ大別スルコトヲ得ヘシ我輩ハ左ニ逐次此三種ノ學說ヲ述ヘ併セテ我輩ノ意見ヲ吐露セント欲ス

第一種ノ學說ハ公法トハ國家ト一個人トノ關係ヲ規定スル法規ナリト云フニ在リ此說明ハ大體ニ於テ正當ナルヲ認ムト雖モ或ハ誤解ヲ招クノ悞アリ何トナレハ國家ト一個人トノ法律上ノ關係ニシテ財產上ノ事項ニ亘ルトキハ私法ノ規定ヲ適用シテ立論ス可キモノナレハナリ例之ハ國家ト一個人トノ間ニ契約ヲ締結シ若クハ債權債務ノ關係ヲ有スルカ如キハ私法ノ原則ニ因テ判斷セラル可ク單ニ其對手カ國家ナルノ故ヲ以テ公法ノ適用ヲ享ク可キノ理由アルナシ斯ク公法ハ國家ト一個人トノ關係ヲ規定スル法規ナリト云フトキハ或ハ誤解ヲ來サ、ル乎ノ悞アリト雖モ若シ國家ヲ以テ權力ノ主體ト解シ國家ト一個人トノ間ニ於ケル權力ノ關係ヲ規定セルモノ則チ公法ナリト見ルトキハ右ノ定義ハ毫モ間然スル所ナシ

第二種ノ學說ハ公法私法ノ區別ヲ公益私益ニ資ラント欲スルモノナリ即チ公益ヲ目的トスルモノ之ヲ公法ト云ヒ私益ヲ目的トスルモノ之ヲ私法ト云フニ在リ此說明ハ多ク佛蘭西ノ著書ニ於テ見聞スル所ニシテ獨逸ノ學者モ亦大率之ヲ是認スル所ナルカ此解釋モ亦不當ナリト斷言スルコト能ハス然レトモ何チ乎公益ト云ヒ何チ乎私益ト云フヤノ問題ハ尙ホ公法私法ノ區別如何ノ問題ト均シク太甚不明瞭タルヲ免カレサルモノナリ抑モ利益トハ人カ自己ノ目的ヲ達スルニ便利ナルコトヲ謂フニ外ナラス故ニ利益ナルモノハ人々ノ之ヲ觀察スル地位ノ異



ナルニ因り差等アリ甲ノ公益トスル所却テ乙ノ私益トスル所タルコトアル可シ  
 例ハ民法ハ私益ヲ保護スルカ爲メ設ケラレタル法ナリト云フト雖モ而モ社會  
 ノ財産權ヲ保護スルコトハ社會全般ノ公益タルニ相違ナカル可ク又警察法ハ公  
 タノ治安ヲ保維スル爲メ設ケラレタル法ナリト云フト雖モ而モ一個人ノ地位ヨ  
 リ見レハ自己ノ身體財産ヲ安固ニスルノ私益タル可シ知ル可シ公益ニ關スルモ  
 ノハ公法ニシテ私益ニ關スルモノハ私法ナリトノ説明ハ明瞭ナルカ如クニシテ  
 而シテ極メテ明瞭ヲ缺クモノナルコトナ

第三種ノ學說ハ公法ハ社團ノ法ナリ私法ハ個人ノ法ナリト定義ス今其說ノ骨子  
 ナ述フレハ凡ソ人ノ社會ニ於ケル地位ハ自主獨立ノ主體タルト同時ニ又一家族  
 一町村或ハ一國ノ分子ナリ故ニ人ハ二様ノ境涯ヲ具フルモノニシテ多數人カ一  
 ノ團體ヲ爲シ一個人カ其團體ノ目的ノ下ニ立テ其團體ノ目的ヲ達スルカ爲メ活  
 動スル場合ヲ規定スルモノ之ヲ公法ト云ヒ之ニ反シテ一個人カ自主獨立ノ一體  
 トシテ行フ所ノ行爲ヲ規定スルモノ之ヲ私法ト云フト爲スニ在リ此説明タルヤ  
 近來獨逸ニ於テ法律ノ沿革ヲ說ク者ノ專ラ主唱スル所ニシテ要ハ公法ハ社會的

ノ法ナリ私法ハ個人的ノ法ナリト云フニ外ナラス此説明ハ素ヨリ當然ナルモノ  
 ナリ然リト雖モ寧ロ公法ノ精神ヲ論スルモノニシテ直接ニ公法其物ノ定義ト看  
 做スコト能ハサレハ初學ノ人ニハ蓋シ理解シ難カル可シ是故ニ我輩ハ此定解ヲ  
 以テ不當ノモノト論定スルコトヲ敢テセスト雖モ亦初學ノ徒ニ明瞭ナル解釋ナ  
 リト斷言スルヲ憚ラスンハ非ス而シテ人或ハ此説明ヲ誤解シ凡ソ人カ會社ヲ組  
 織スルトキハ其會社ト社員トノ關係ヲ規定スルモノモ亦公法ナル可シト推論ス  
 ルノ恐ナキ非スト雖モ之ヲ主張スル學者ノ眞意ハ決シテ然ラサルコトヲ注意  
 セサル可カラス

以上三種ノ説明ハ從來教科書ニ於テ散見スル所ニシテ學生ノ普通ニ記憶ス可キ  
 モノタリ我輩ハ尙ホ明確ヲ期スルカ爲メ他ノ語ヲ用ヒテ勘シク公法并ニ私法ノ  
 解釋ヲ試ム可シ抑モ公法ハ權力關係ヲ規定スルモノナリ權力關係トハ人ノ自由  
 ナ強制シテ之ヲ制限スルノ力ヲ云フ蓋シ人ノ自由ナルモノハ決シテ他人ノ爲メ  
 ニ犯サル、コトナシ然レトモ國家カ法ニ依リテ之ヲ制限スルトキハ其制限ヲ甘  
 受セサル可カラス乃チ知ル權力者ト服從者トノ關係ヲ規定スルモノハ公法ナル



コトヲ若シ夫レ私法ハ權利ト義務トヲ規定スルモノニシテ公法私法ノ觀念ハ既ニ其根本ノ思想ヲ異ニスルヲ認ム尙ホ此點ヲ明晰ナラシメノカ爲メ左ニ權利ト權利及ヒ服從ト義務トノコトヲ解釋ス可シ

抑モ人ハ同等ニシテ同權ナリト云フハ私法ノ原則ニシテ他人ノ爲メ權力ヲ以テ壓制セラレサルコトヲ云フ即チ自己ノ意思ニ反シテ其自由ヲ制限セラレサルコトヲ云フモノニシテ私法ハ實ニ此原則ノ上ニ建設セラレタリ故ニ私法上權利ト稱スルハ人ノ自由ヲ直接ニ制限スル力ニ非スシテ法律上當然其權利者ニ歸ス可キ持分ヲ云フ從テ義務者カ縱令其義務ノ履行ヲ怠ルコトアルモ權利者タルモノハ自カラ腕力ヲ用ヒテ義務者ノ自由ヲ制限シ以テ其目的ヲ達スルコト能ハス必スヤ裁判所ニ訴ヘ其裁判所ノ力ヲ藉ラサル可カラズ即チ國權ニ依リテノミ義務者ノ自由ヲ制限スルコトヲ得ヘシ是故ニ私法上ノ權利ハ直接ニ人ノ自由ヲ制限スルモノニ非ス其自由ノ制限ハ常ニ裁判所即チ國權ニ倚賴ス可キモノナルコトヲ知ルニ足ル又之ト同一理ニ依リ義務ト云フモ敢テ權利者ニ服從スルノ謂ニ非ス義務者ハ決シテ奴隸ニ非ス全ク權利者ト平等同權ノ人ナリ唯權利者ニ満足ナ

與フ可キ責任ヲ有スル而已故ニ私法上ノ權利行爲ヨリシテ命令服從ノ關係ヲ生スルコトナシ又權利者ハ請求スルコトヲ得レトモ命令スルコトヲ得ス義務者ハ義務ヲ履行ス可シト雖モ權利者ニ服從スルニ非ス是我輩カ命令服從ノ關係ハ私法ノ範圍ニ於テ發見スル能ハサルコトヲ斷言スルニ躊躇セサル所以ナリ然ルニ公法ハ此命令服從トノ關係ヲ規定スルモノナリ元來國權ハ人ニ對シテ自由ヲ制限スルノ力ヲ有シ人ハ國權ニ對スル服從者ナリ而シテ國權カ人ノ自由ヲ制限スル程度ト範圍トヲ規定スルモノハ則チ公法タリ以是乎我輩ハ公法トハ權力關係ヲ規定スルモノニシテ命令服從ノ法規ナリト解釋シ以テ公法ノ性質上私法ト異ナル所以ヲ明カニセントス

國家  
第二章 國家

抑モ國家ナル觀念ハ一ハ之ヲ有形ノ團體ト看做スニ於テ一ハ之ヲ無形ノ觀念トスルニ於テ二様ノ解釋アリ即チ有形ノ團體トシテハ國家ハ土地及ヒ人民ヨリ成立シ一定ノ主權ヲ以テ之ヲ統治スルノ團體ナリ又無形ノ觀念トシテハ國家ハ統治權ノ主體ナリ今ヤ我輩ハ此二様ノ觀念ニ付テ概畧説明チ下ス可シ但茲ニ注意



ス可キハ此二様ノ觀念タル決シテ相悖ルモノニ非サルコト是ナリ故ニ法界ニ遊  
フノ徒ハ須ラシ其國家ナル言詞ヲ使用スル場合ノ如何ニ因リテ其何レノ意味ニ  
屬スルヤヲ判斷セサル可カラズ乍去純然タル公法々理ヲ説明スルニ方リテハ國  
家ナルモノヲ無形ノ觀念ニ解釋シ國家ハ統治ノ主體ナリト定義スルヲ以テ極メ  
テ明快ヲ得ヘシト信ス余ハ先ツ團體トシテノ國家ノ要素ヲ列叙セム

(第一) 國家ハ一定ノ土地ニ據リテ成立ス 歷史上ヨリ觀察スルトキハ古ヘノ國  
家ハ所謂部落國家ナリ即チ人民ノ團結ニシテ一定ノ土地ニ土着セス然ルニ經  
濟上ノ理由ニ因リ一定ノ土地ヲ自己專有ノ領分ト看做スノ觀念發達スルト俱  
ニ國土主權ノ進歩ヲ致セリ蓋シ國土主權トハ猶ホ土着主權ト謂フカ如ク一定  
ノ區域ヲ以テ團結ノ基礎ト爲スモノニシテ近世ノ國家思想ハ一モ土着主權ニ  
根柢セサルハナシ是レ學者普通ニ國家ハ一定ノ國土ニ據リテ成立スト主唱ス  
ル所以ナリ

(第二) 國家ハ人民ノ結合團體ナリ 單ニ國土ト謂フトキハ有形ナル土地ノ廣袤  
ヲ意味スルニ過キサルコトアル可シ然レトモ國家ナル團體ノ觀念ハ必スヤ數  
多ノ人カ一ノ團體ヲ形成スルコトヲ意味ス但其人數ノ多寡ノ如キハ素ヨリ其  
觀念ノ消長ヲ來タヌモノニ非ス例ヘハ往古希臘ニ於ケル國家日耳曼ノ「フォルク」  
ト稱スル小團體又ハ歐羅巴中古ニ於ケル諸侯割據ノ時代ノ如キ一個ノ都府若  
クハ數個ノ村落ヲ以テ一國家ト爲スコトナキニ非ス唯夫レ現今ノ事實ハ大國  
ノ制度ヲ取り古昔ト大ニ其趣ヲ異ニスルモノアリト雖モ其觀念ニ至リテハ則  
チ一ナル而已

(第三) 國家ハ常ニ主權ヲ有ス 縱令人民ノ結合體アリト雖モ一定ノ主權之ヲ統  
一スルニ非スシハ國家ヲ爲サズ主權ハ實ニ國家タルノ腦髓精神ナリ又社會ト  
國家トノ間ニ一大區別アリテ存スル所以ノモノモ洵ニ統一主權ノ存在スルト  
否トニ職由セスンハ非ス若シ夫レ同等ノ地位ニ在ル人カ各獨立シテ同一ノ土  
地ニ居住セン乎或ハ之ヲ社會ト謂ヒ得ヘシ國家ト云フニ至テハ未ダシ苟モ國  
家ト云フトキハ治者被治者ノ區別アルコトヲ意味ス治者被治者ノ區別アリト  
云フハ命令服從ノ關係アリト云フノ義ニシテ要ハ一定ノ主權ニ服從シ其統一  
ノ下ニ團結スルコトヲ指稱スルニ外ナラス



右ハ有形ノ團體トシテ國家ヲ解シタルモノナルカ翻テ無形ノ觀念ニ於テハ國家ハ實ニ統治ノ主體ナリ蓋シ公法上國家ト稱スルモノニハ統治ノ主體テフ意義ノ外別ニ深遠幽遠ナル觀想アルコトナシ主權ハ眞個ニ國家ノ生命ナリ國家ト他ノモノトノ區別ハ一ニ主權アルト否トニ因テ之ヲ斷スルコトハ前ニ一言セルカ如シ故ニ曰ク公法上國家ノ國家タル特質ハ主權ニ在リト以是乎公法學上統治ノ主體ヲ稱シテ國家ト云ヒ統治ノ客體ヲ稱シテ人民ト云フ

以上ハ最モ普通ニシテ且我輩カ最モ正確ナリト信スル觀念ヲ畧述シタルモノナリ乍去古來國家ニ關スル解釋論ハ極メテ多ク又太甚繁雜ナリ今一々之ヲ枚擧スルニ違アラスト雖モ其觀念ノ岐ル、所ハ參考ノ爲メ茲ニ説明スルヲ有利ナリト信ス

凡ソ法理上ノ觀念ナルモノハ法ノ主體ナル乎法ノ目的ナル乎將テ法律關係ナル乎三者必ス其一ニ歸着ス可キモノナリ今之ヲ私法ノ理論ニ適用スレハ凡ソ私法ノ觀念ニ屬スルモノハ權利ナル乎權利ノ主體ナル乎將テ權利ノ目的ナル乎即チ人ナル乎物ナル乎將テ人ト人トノ關係ナル乎三者必ス其一ニ歸宿スルモノナリ

之ト同一ノ觀念ニ基キ國家ナルモノハ果シテ權力ノ主體ナル乎或ハ其目的物ナル乎將テ又權力ノ關係自體ナル乎ノ三様ニ説明スルコトヲ得ヘシ蓋シ從來ノ學說ニ在リテモ亦各新規ヲ衍フカ爲メニ此等ノ解釋ヲ試ミタリ請フ左ニ擧シ之ヲ分論セム

(第一) 國家ハ權力ノ主體ナリトノ觀念ハ最モ普通ノモノニシテ我輩カ前ニ述ヘタル定義モ亦此部類ニ屬ス

(第二) 國家ハ權力ノ目的物ナリトノ説明ハ我輩ノ前ニ述ヘタル所ト全然正反對ナル解釋ナリ然レトモ學者間ニ此說ヲ採ル者尠シト爲サス蓋シ這般ノ學者ハ國家ハ主權統治ノ目的ナリ詳言セハ主權ハ國家ヲ統治スルモノニシテ國家ハ即チ統治者ニ非ス實ニ被治者タルニ過キスト解釋スルニ在リ乍去此解釋タル國家ナルモノ、意味ヲ機械的ニ土地人民ト解釋シタルノ誤謬ニシテ素ヨリ探ルニ足ラス成程國家ナルモノハ土地ト人民トノ二者ヲ以テ組織セラル、ニハ相違ナシ然レトモ土地ト人民トノミニテハ未タ國家ヲ爲サス茲ニ主權アリテ而ル後始メテ國家アリ然ルニ國家ハ權力ノ目的物ナリトスルノ學者ハ國家ハ



土地及ヒ人民ノ團體ナリ而シテ此土地及ヒ人民ハ主權ノ支配ヲ受ク可キモノ  
ナレハ國家ハ即チ統治ノ客體ニシテ所謂被治者ナリト爲スモノニシテ其立脚  
ノ地既ニ公法々理ニ悖戾スルモノナリ吾人豈ニ此說ニ服スルコトヲ得ンヤ

(第三) 國家ハ統治ノ主體ニ非ス又其客體ニモ非ス全ク其統治ノ有様ヲ指稱スル  
モノナリト解釋スル者アリ是レ恰モ國家ヲ以テ民法上ノ會社ト同一視スルノ  
論ナリト謂ハサル可カラス抑モ會社ハ會社契約ニ因テ成立スルモノニシテ即  
チ人ト人トノ權利行爲ニ因テ存在スル關係ナリ然ルニ斯說ヲ主唱スル者ハ國  
家モ亦之ト同シク人ト人トノ關係ニシテ權力ノ主體ニモ非ス又其客體ニモ非  
スト説明ス蓋シ此觀念ハ或ハ佛蘭西人ノ民約說ト爲リ或ハ社會主義個人主義  
等ト爲リ種々ノ形ヲ以テ人ノ腦髓ヲ支配セルモノニシテ其趣旨トスル所ハ元  
來國家ナルモノハ特別ノ存在ヲ有スルモノニ非ス唯不羈獨立ノ各個人カ共同  
ノ利益ヲ計ルカ爲メ契約ヲ締結シテ其各個ノ自由ヲ制限スル所ノ恰モ會社契  
約ノ如キ有様ヲ稱シテ國家ト云フニ過キスト解釋スルニ在リ然ラハ則チ此觀  
念ハ實ニ事實ニ反スルノミナラス又論理ニモ適合セサルモノナリト斷言セザ

ル可カラス何トナレハ平等ノ地位ニ在ル人カ如何ニ契約ヲ締結ストスルモ茲  
ニ主權ヲ生出スルモノナリトハ法理論上到底想像スルコト能ハス詳言セハ各  
人カ各其權利ヲ拋棄スルトキハ其拋棄シタル部分カ絕對的ニ人ヲ統治スルノ  
主權ト爲ルトノコトハ夢想タモス可クナラサル所ナレハナリ是レ我輩カ敢テ此  
契約說ヲ採ラスニテ普通ノ觀念ニ從ヒ國家ハ統治ノ主體ナリト説明セル所以  
ナリ

尙ホ一言以テ國家ノ公法上ノ性質ヲ述フレハ國家ハ人格ヲ有スルモノナリ學者  
普通ニ之ヲ國家ハ法人ナリト説明ス乍去法人ナル語ハ主トシテ民法的ノ用語ニ  
シテ法律ノ力ニ因リテ成立シタル人類ニ非サル無形ノ權利ノ主體ヲ指スモノナ  
リ從テ此民法的ノ法人ナル思想ヲ捉ヘ來リテ直チニ國家ニ適用スルハ不當失正  
ナルヲ免カレス然レトモ國家ハ人格ヲ有スト云フハ能ク公法上ニ於ケル國家ノ  
地位ヲ明カニスルモノナリ然ラハ人格トハ何ソヤト釋ヌルニ學者ノ下シタル定  
義區々トシテ一定セサルノミナラス又往々之カ定義ヲ下サス單ニ人格ナル言詞  
ノミヲ用ユル者アルヲ見ル乍去我輩ハ人格ノ人格タル所以ハ獨立目的ノ存在ニ



在リト認ム再言セハ自存獨立セル目的ノ主體是レ即チ人格ナリ而シテ其目的ヲ達スルカ爲メニハ意思ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ故ニ人格トハ獨立目的存在シ法律カ之ヲ認メ且其意思ニ因リテ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノヲ云フト解ス可シ

借國家ハ人格ヲ有ストハ國家ハ自存獨立ノ目的ノ主體ナリト云フニ在リ詳言スレハ國家ハ個人ノ目的ヲ達スルカ爲メノ機關ニ非ス實ニ各個人ノ私ノ目的ヲ離レ自己獨立ノ生命ト目的トナ有スルモノナリ公法上國家ハ人格ヲ有スト説明スルノ主意全ク茲ニ在リ若シ夫レ國家ニシテ單ニ各個人各自ノ目的ヲ達スル爲メノ契約ニシテ國家其者ノ獨立目的ナク又其生命及ヒ意思ナキモナラシノハ則チ人格ナキナリ諸子能ク此間ノ消息ヲ解シ以テ人格ノ眞諦ヲ悟了ス可シ終リニ茲ニ我國法上ニ於ケル言辭ノ用方ニ付テ一言セシニ我憲法ニ於テ有形ノ團體トシテノ國家ナル意味ヲ表彰スルニハ帝國ナル言辭ヲ使用スルヲ可トス而シテ憲法説明ノ明瞭ヲ期スル爲メ我輩ハ是ヨリ以降國家ト云フトキハ統治權ノ主體ヲ意味スルニ用ヒ又有形ノ團體ナル意味ニ於テハ上ニ述フルカ如ク帝國ナ

國體

第三章 國體

ル言辭ヲ使用スルノ便宜ニ就カントス但社會學歷史學若シハ政治論等ニ於ケル國家ナル言辭ノ用方カ必スシモ法理論ニ於ケル用方ト一致セサルコトアルハ數ノ免カレサル所ニシテ毫末モ法理ノ解釋ニ關係スル所ナシ諸子希ク此點ニ着眼シ或ハ敢テ誤ラル、コト勿レト

國體ハ主權ノ所在ニ因テ區別セラレ政體ハ主權ヲ行使スル方法ニ因テ區別セラレ故ニ國體ト政體トハ必スヤ明カニ之ヲ甄別シ或ハ敢テ混淆セサランコトヲ要ス斯ク國體并ニ政體ノ二者ハ各其區別ノ標準ヲ異ニスルカ故ニ或ハ國體ヲ同ウスルモ其政體ヲ異ニスルモノアリ又政體ヲ同ウスルモ國體ヲ異ニスルモノアリ之ヲ要スルニ國體ナルモノハ政體ノ如何ニ關セス專ラ主權何人ニ存在スルヤニ因テ之ヲ區別ス可キモノトス而シテ從來歐羅巴ノ學說ニ依レハ國體ヲ分テ三トセリ(第一君主國體第二貴族國體第三共和國體)即チ是ナリ蓋シ此三者ノ區別ハ希臘ノ政治論以來現今ニ至ル迄汎ク行ハル、所ニシテ主權カ一人ノ掌裡ニ在ルモノ之ヲ君主國體ト云ヒ主權カ少數貴族ノ手中ニ在ルモノ之ヲ貴族國體ト云ヒ國



民全體カ主權者タルモノ之ヲ共和國體ト云フ畢竟スルニ此區別ハ統治者ノ人數  
 ナ標準ト爲シタルモノナリ又或ル學者ハ責任ノ有無ニ因テ國體ヲ分テリ即チ責  
 任ナキ統治者カ國ヲ治ムルモノヲ君主國體ト稱シ之ニ反シテ責任アル統治者カ  
 國ヲ治ムルモノヲ共和國體ト稱セリ惟フニ此等ノ區別ハ單ニ歷史上ノ事實ヲ觀  
 テ立テタルモノナル可ケレハ何レヲ法理ニ適シ何レヲ不可ナリト斷言スルコト  
 能ハス要ハ事實上ノ問題ナリ我輩ハ公法ノ理論上國體ハ二者ニ區分ス可キモノ  
 ナリト信ス即チ特定ノ一人ヲ以テ主權者トスル國體ヲ君主國體ト爲シ又主權カ  
 國又ハ國體ニ存シ其國又ハ國體自體カ主權者タル國體ヲ非君主國體ト爲スナリ以  
 テ方今ニ於ケル各國ノ國體ヲ論了シ得ヘシト思考ス若シ夫レ我帝國ノ國體ハ純  
 粹ナル君主國體ナリ換言セバ君主ヲ以テ主權者トスルモノナリ從テ主權ハ無形  
 ノ國家ニ存シ君主ハ其委託ヲ受ケテ國ヲ統治スルモノナリトノ觀念ハ我國體ト  
 扞格スルモノナリ又君主ハ國家ノ代表者ナリトノ觀念モ決シテ我國法ヲ容認セ  
 サル所ナリ故ニ曰ク我帝國ノ國體ハ君主ヲ以テ主權者ト爲スモノニシテ是レ實  
 ニ純粹ナル君主國體ナリト

君主若クハ王ナル名稱ハ必スモ君主國體タルコトヲ表彰スルノ言詞ニ非ス唯  
 歷史上ノ沿革ニ於テ尊敬ヲ表スルノ語トシテ汎ク用ヰラルハニ止マル而已元來  
 歐羅巴ノ君主國ハ多クハ純粹ノ君主國ニ非スシテ專ラ國體其者ヲ以テ主權ノ本  
 體ト看做スモノナリ例ヘバ白耳義ノ國體ハ立憲政體ノ模範ナリト稱スト雖モ熟  
 々其憲法ヲ按スルニ主權ハ國民ニ存在シ君主ハ單ニ憲法ニ因テ國民ノ主權ヲ行  
 使スルニ過キス即チ君主ハ統治權ヲ行フノ人ニシテ統治權自體カ君主ニ存スル  
 モノニ非ス故ニ君主ノ地位ハ恰モ管理者ノ如シ然ルニ尙ホ君主若クハ皇帝ノ敬  
 稱ヲ有ス然レトモ國法上ノ理論ハ此敬稱ニ拘ハラズ白耳義ノ如キ國體ト純粹ナ  
 ル君主國體トハ性質上必ス之ヲ區別ス可キモノト爲スナリ佛蘭西ノ公法家バット  
 ビー氏曰ク立憲政體ノ君主ハ世襲ノ大統領ニシテ共和國ノ大統領ハ有期ノ君主  
 ナリト是レ蓋シ白耳義ノ如キ君主國體ト佛蘭西ノ如キ共和國體トハ其實質ヲ同  
 ウスト云フノ趣旨ニシテ事實ニ於テモ亦法理ニ於テモバットビー氏ノ此語ハ實ニ  
 名言ナリト信ス乍去此名言ヲ充分ニ咀嚼スルコトヲ爲サズ漫然渾テノ君主國ハ  
 悉ク白耳義ノ如キ國體ナリト解釋スルカ如キコトアラハ先ツ自カラ誤リ延テ世



人ヲ惑ハスニ至ラン豈ニ戒慎セサル可ケンヤ諸子請フ君主ヲ以テ主權其者ト爲  
スノ國體コソ純粹ノ君主國體ナルコトヲ深ク腦裡ニ銘シ須臾モ忘却スルコト勿  
レ

歐羅巴ノ歴史ヲ按スルニ其建國ハ團體主義ニ基ケリ即チ國民ノ共同團體主權ヲ  
握有シ所謂君主ナルモノハ國會ノ撰擧シテ國權ノ行使ヲ委任シタルモノニ過キ  
ス此事タル歐羅巴ノ國體ニ關スル歴史ヲ緝ケハ灼然タル所ナリ於是乎知ル歐羅  
巴ニ於ケル君主國體ナルモノハ其原始ヨリシテ我國ノ國體ト其觀念ヲ異ニスル  
モノナルコトヲ之ヲ要スルニ歐羅巴ニ於テハ單ニ統治者タル地位ニ在ル者カ世  
襲ナルノ一點ヲ以テ之ヲ君主國ト唱道シ來リシニ過キサルナリ

政體ハ統治ノ方法ノ如何ニ因テ岐ルハモノニシテ豫シテ之ヲ區別ス可カラズ政  
治學者ハ通常之ヲ君主專政ト立憲政ト二者ニ區分スト雖モ尙ホ此以外ニ種々ナ  
ル變體アル可シ乍去政體ヲ論スルハ政治論ニ屬シ法學當然ノ範圍ニ非ス故ニ余  
輩ハ之ヲ畧々セズ但政體ト國體トヲ區別スルノ結果ハ我國ノ如キ純粹ナル君主  
國體ニ於テ其國體ヲ毀損スルコトナクシテ歐羅巴ニ行ハルハカ如キ立憲政體ヲ

採用スルコトヲ得セシメヨリ蓋シ近世ノ立憲政體ナルモノハ一定ノ憲法ヲ設ケ  
テ國家ノ機關ヲ設置シ立法司法行政ノ行動ヲ區別シテ之ヲ獨立ノ各機關ニ委任  
スルコトヲ意味ス故ニ此點ニ於テハ純粹ナル君主國モ亦此政體ニ因ルコトヲ得  
ヘク共和國モ亦均シク此政體ヲ取ルコトヲ得ヘシ以是乎政體ハ歐羅巴諸國ト我  
國トノ間ニ大差ナシ然リト雖モ其國體ニ至リテハ各國必スシモ一致セザルノミ  
ナラス特ニ我國ノ國體ハ一種特別ノ性質ヲ有スルモノトス

憲法

第四章 憲法

憲法ニ二義アリ實質的ニ所謂憲法及ヒ形式的ニ所謂憲法是ナリ實質的ニ憲法ト  
云フトキハ國權ノ本體ト作用トヲ規定スル法則ヲ總稱シ又形式的ニ憲法ト云フ  
トキハ法律ヲ以テ變更ス可カラサル最高ノ効力アル成文法典ヲ意味シ我帝國憲  
法ハ形式的ノ効力ヲ有スルモノニシテ之ヲ法律ト爲サズ從テ立法手續ヲ以テ之  
ヲ變更スルコトヲ許サハルナリ然レトモ歐羅巴ノ憲法ハ多少ハ法律ヲ以テ之ヲ  
變更スルコトヲ得ヘキモノトモリ今夫レ憲法モ亦一ノ法律ナリトスルハ是レ即  
チ國會ヲ以テ主權者ト爲スノ結果ニシテ究竟國會ノ意思ヲ最高ノモノト看做ス



ノ觀念ヨリ憲法ヲ以テ國會ノ行爲ヲ束縛スルヲ得スト解釋セシモノナル可シ然  
レトモ我國法ニ於テハ憲法ハ法律ニ非サルカ故テ法律改正ノ手續ヲ以テ憲法ヲ  
變更スルコトヲ得ス換言セハ帝國議會ハ憲法改正ヲ發議權ヲ有セサルナリ  
以上ハ專ラ形成的ニ觀察セルモノナルカ觀テ又實質的ニ觀察スルトキハ我憲法  
法典ノ規定スル所ハ主トシテ國體及ヒ政體ノ原則ヲ示スモノナレトモ而シテ其規  
定セル條項中行政及ヒ司法ノ細目ニ涉ルモノアリ又國權ノ作用ヲ指示ス可キ重  
大ナル事項ニシテ憲法ニ規定セラレサルモノアリ例ヘバ議院法選舉法ハ法律ニ  
シテ憲法ノ一部ニ非サルカ如シ蓋シ其立法ノ理由タル憲法ヲ以テ形式的ノ効力  
アルモ然トシテ法律ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得スト爲シタルノ結果ナラスンハ  
非ス故ニ其事柄ハ縱令細目ニ涉ルト雖モ容易ニ法律命令ヲ以テ之ヲ變更スルコ  
トヲ欲セザルモ然レバ憲法中ニ掲ケ又其事柄ハ縱令國權ノ作用ニ關スル重大ノ事  
ヲナリト雖モ時勢ヲ追フテ改革スルノ必要アリ之ヲ憲法中ニ掲ケスシテ  
法律若シテ命令ヲ爲セザル是レ憲法ハ容易ニ變更シ可カラザルヲ示シテ故ナリ

皇室典範ハ法律ニ非ス又憲法ニモ非ス然レトモ實質上國體ノ原則ヲ示スモノニ  
シテ國法ノ一部分ヲ構成スル重大ナル規定ナリ或ハ皇室典範ハ皇室一家ニ關  
スル私ノ規定ニシテ憲法ノ關係スル所ニ非ストハ解釋ヲ爲ス者ナキニ非スト雖  
モ而モ憲法ガ皇室典範ニ因ル可キコトヲ規定セル事柄即チ皇位繼承ニ關スル皇  
室典範ノ規定ノ如キハ實ニ憲法ヲ補充スルモノニシテ該事項ニ付テハ皇室典範  
ハ全ク憲法ト同一ノ効力ヲ有ス故ニ我邦ニ在リテハ憲法及ヒ皇室典範ノ二法典  
ガ國法ノ大原則ヲ示スモノナリト謂フ可シ今ヤ更ニ眼ヲ放テ歐羅巴諸國ノ憲法  
ヲ觀察スルニ全然不文ニシテ習慣ニ因ルモノアリ例ヘバ英國ノ憲法ノ如シ又別  
ニ憲法ト稱スル成文法典ヲ發布セスシテ之ヲ通常ノ法律ト爲スモノアリ又憲法  
ト名ケタル法典アレドモ之ヲ法律ノ一種ト看做シ單行法律ヲ以テ之ヲ變更スル  
コトヲ得ルモノアリ之ヲ要スルニ憲法ナル名稱ノ下ニ一定ノ確然タル効力アル  
モノニ非ス而シテ我輩カ前ニ說明セル所ハ專ラ我帝國憲法ニ關スルモノニシテ  
茲ニ說明スル歐羅巴ノ憲法トハ大ニ其趣ヲ異ニセルコトヲ注意ス可シ

統治ノ主

第二編 統治ノ主體

帝國憲法 統治ノ主體



第一章 皇位

帝國憲法第一條ニ曰ク大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治スト本條ノ明文ハ取リモ直サス我國體ノ純粹ナル君主國體ナルコトヲ宣言スルモノナリ若シ夫レ君主國體ノ意義ハ緒論ニ於テ既ニ說明シタル所ナレハ今復々贅セス抑モ帝國ノ主權ト皇位トハ須臾モ相離ル可カラサルモノニシテ萬世一系ノ皇統滅スルニ非サル以上ハ帝國モ亦決シテ滅スルコトナク又皇位ハ外別ニ統治權ノ主體存在セサルコトハ憲法ニ於テ宣言シタル所ナリ而シテ統治ノ主體トハ國權ノ存スル所ノ義ニシテ皇位ハ即チ國權ノ存スル所ナリ之ヲ要スルニ統治權ト皇位トハ同一體ヲ爲スト云フヲ以テ憲法ノ一大主義トス今ヤ本編ニ於テ統治ノ主體ト題シテ說明スルハ何人カ主權者ナル乎ノ問題ヲ決スルニ在リ而シテ憲法第一條ノ明文ハ炳乎トシテ爭フ可カラサルカ故ニ別ニ辯論ヲ費シテ主權天皇ニ存スルコトヲ說明スルノ要ナシ唯皇位ハ國法上如何ナル關係ヲ有スル乎又皇位ハ如何ナル順序ニ於テ繼承セラル、乎及ヒ攝政ハ場合ニ付テ說明スレバ十分ナリト信ス皇位ハ國家ノ機關ニ非ズ主權自體ノ存スル所ナリ從來立憲政體ノ學說ヲ爲スモ

ハ多クハ君主ヲ以テ國家ノ機關ナリト說明シ來レリ然レトモ我憲法ハ此主義ヲ取ラサルカ故ニ君主ハ主權ノ本體ニシテ主權ノ機關ニ非ズ即チ皇位ハ國會若クハ裁判所等ノ如ク法律ニ因テ設定セラレ又法律ニ因テ變更セラル可キ統治ノ機關ト其性質ヲ同ウセス蓋シ從來獨逸及ヒ佛蘭西等ノ學者カ君主ヲ以テ國家ノ機關ナリト唱道シタルハ或ハ歐羅巴ニ於ケル國體ノ觀念ニ伴フ可キモノナルモ我憲法ノ解釋トシテハ決シテ之ニ則トルコトヲ得ス元來國家ノ機關ト云フトキハ主權自體ニ非ズシテ主權ノ使用スル道具ナルコトヲ意味スルナル可シ故ニ主權ハ人民ニ存シ君主ハ其最高行政官ニ過キストスル國體ノ觀念具ハル場合ニ於テハ君主ハ國家ノ機關ナリト云フ可シ然レトモ我憲法カ此主義ニ則トラサルコトハ素ヨリ論ヲ俟マサルナリ

次ニ皇位トハ統治權ノ全體ヲ意味ス換言セハ君主ハ單ニ統治權ノ一部分ノミナ有スルニ止マラサルナリ從來立憲政體ノ政治論ヲ爲ス學者カ國權ヲ分テ立法司法行政ノ三部ト爲シテヨリ君主ハ行政權ノミナ有スルモノナリトノ解釋政治論及ヒ法律論上ニ行ハレ來リシト雖モ君主國ニ於テハ其國體ノ性質上君主ノ統治



權ハ國權ノ全部ニシテ其一部ニ非サルヲ主義ト爲ス知ル可シ君主ノ有スル權力ハ國權全體ニシテ其一部ニ非サルコトナリ

次ニ又皇位ハ統治權ノ本體ト其作用トヲ兼テ之ヲ有スルモノナリ此點ニ付テモ亦歐羅巴ノ立憲政體論ニ於テ往々異ナリタル見解ノ行ハル、モノアルカ故ニ特ニ注意ヲ促スコトヲ必要ナリト信ス學者或ハ立憲政ノ君主ハ主權ノ本體ヲ有スレトモ之ヲ行使スルノ權ナシト論スル者アリ例ヘハ英國ノ女王ハ主權者ナリト雖モ立法司法行政ノ事項一トシテ自カラ之ヲ行フコト能ハサルカ如キ或ル學者ノ探テ以テ立論ノ根據トスル所ナリ佛國ニ於テ赫々ノ名アルチエール曰ク立憲政體ノ君主ハ君臨スレトモ政治セスト其意君主ヲ以テ主權者ト爲シ之ヲ崇拜スレトモ政治ノ權力ハ君主ニ存セサルヲ以テ立憲政體ノ主義トスト云フニ在リ蓋シ此等ノ所說ハ汎ク行ハレ普ク人ノ信スル所ナルニモ拘ハラス君主國體ニ關スル憲法上ノ理論トシテハ之ヲ採用スルヲ得ズ君主國體ニ在リテハ君主必スヤ主權ノ體ト用トヲ併有スルコトヲ要ス單ニ體ノミヲ有シ其用ヲ有セスト云フカ如キハ君主國體ノ本質ニ恰當スルモノ非シ

倍又君主其位ヲ去ルハ自己獨立ノ權力ニ據ルモノニシテ敢テ他ヨリ得タル所ノ名義ニ因ルモノニ非ス皇位ハ常ニ固有ニ獨存スルモノナリ若シ夫レ國民ノ委託ヲ受ケ若シハ國ノ代表者トシテ國權ヲ有スト云ヒ又ハ之ヲ祖先ニ受ケテ子孫ニ傳フト云フカ如キハ政治上或ハ歴史的ノ觀念ニシテ法理ノ分析論ニ非ス法理論上ニ於テハ統治權ハ決シテ賣買讓與ノ目的タルコト能ハス從テ固有ニシテ獨立ナル權力即チ統治權ナリト解釋ス可シ而シテ憲法カ君主ニ此權力ヲ委任シタルニ非サルコトハ憲法ハ君主ノ命令ニ外ナラサルコトヲ顧ミレハ忽チ明瞭ニシテ素ヨリ我輩ノ曉々ヲ須タサル可シ故ニ君主ノ皇位ニ即クハ自己ノ固有獨立ノ權力ニ因ルモノニシテ法律ノ命令ニ出ツルモノニハ非サルナリ

次ニ又君主ノ權力ハ無限ニシテ侵ス可カラス即チ統治權ハ其性質上無制限ノ力ナリ若シ夫レ之ヲ制限スルノ方アラン乎其力ハ即チ統治權ニシテ曩キノ制限ヲ受ケル力ハ真正ノ統治權ニハ非サルナリ若シ又君主ノ權力ニシテ人民ノ權力ニ因テ制限セラレシ乎人民則チ主權者ニシテ君主ハ主權者ニ非サルナリ學者或ハ曖昧ナル說ヲ爲シ君主ハ主權者ナレトモ人民ノ權力ノ爲メニ制限セラル、モノ



ナリト解釋スル者アルモ是レ實ニ主權ノ性質ヲ誤解スルモノト謂ハサル可カラ  
 ス之ヲ要スルニ皇位ハ統治ノ主體ナリト云フトキハ君主ノ統治權ハ最高無限ノ  
 モノナルコトヲ意味ス尤モ君主ハ法令ヲ設ケテ其機關ノ作用ヲ制限スルコトハ  
 素ヨリ爲シ得ヘキ所ナルノミナラス又必ズ常ニ爲ス所ノモノナリ然レトモ是レ  
 唯君主カ其機關ノ作用ヲ制限スルニ過キサルモノニシテ敢テ統治權其者ヲ外部  
 ヨリ制限スルモノニ非サルナリ  
 憲法第一條ハ統治ノ主體ハ天皇ナリトシ統治ノ客體ハ之ヲ帝國ト稱セリ蓋シ帝  
 國ナル文字ハ政治上ノ語辭ニシテ別ニ法理ノ解釋上一ノ國體ト稱ス可キモノニ  
 非ス唯政治上或ル國ハ之ヲ帝國又ハ王國ト云ヒ其他種々ノ名稱アリテ存スル而  
 已從テ法理ノ解釋上ニ於テハ帝國ト云フモ將タ王國ト云フモ其間毫モ區別ノ存  
 スルモノナキナリ  
 帝國ハ土地ト人民ノ二者ヲ以テ成立ス究竟統治ノ下ニ在ル團體ヲ指稱スルモノ  
 ナリ而シテ帝國ノ範圍ハ憲法ヲ以テ之ヲ規定セス即チ憲法ニ於テハ單ニ帝國ト  
 ノミ云ヒテ帝國ノ領土ヲ列記セス外國ノ憲法ニ於テハ一々其領土ヲ列記セルモ

ノ多シ蓋シ我憲法ニ於テ之ヲ列記セザリシハ當ニ偶然ニ出ツルニ非スシテ寔ニ  
 一定ノ理由アリテ然ルモノナリ即チ帝國ナル觀念ハ單ニ地理學的ノ觀念ニ非ス  
 シテ全ク統治權ノ及フ可キ範圍ト云フノ義ナリ故ニ帝國ノ版圖ハ或ハ外國ヨリ  
 之ヲ得テ擴張スルコトアリトスルモ亦之ヲ失フテ縮小スルコトアリトスルモ這  
 般疆土ノ變更ハ毫モ憲法ノ變更ヲ湧起セス且憲法ノ行ハル、範圍ハ帝國ノ主權  
 ノ及フ可キ範圍ナリトノ原則ヲ採ルカ爲メニ殊更ラニ帝國ハ某方ノ土地ヲ其領  
 土ト爲ステフ列記法ヲ採用セザリシモノナリ然ルニ歐羅巴諸國ノ憲法ハ其領土  
 ナリ列記スルカ故ニ新タニ領土ヲ増加シ又ハ之ヲ削減スルコトハ憲法改正ノ問題  
 タルモノナリ乍去我憲法ニ於テハ右ニ一言スル如ク憲法改正ノ問題ト爲ラズ知  
 ル可シ領土ヲ列記スルト列記セザルトハ其實際上ノ効果ヲモ異ニスルモノナル  
 コトナリ

統治權

第二章 統治權

天皇ハ統治權ヲ總攬ス(憲法第四條茲ニ統治權ナル言詞ノ解釋ハ國家ノコトヲ說  
 明セル際既ニ論述シタル所ヲ以テ概略明カナル可シ元來統治權ノ本體ト作用ト



ヲ説明スルハ憲法講義全體ノ目的ヨリ乍去特ニ本章ヲ設置シタル所以ノモノハ  
 天皇カ統治權ヲ有スルノ關係ハ何レニ在ル乎コト及ヒ統治權ノ本質ノ概畧ヲ  
 説明セントスルノ趣旨ニ外ナラス儲統治ト云フハ猶ホ命令ト云フカ如ク人ノ自  
 由ヲ強制シテ束縛スルコトヲ意味ス尤モ國家ノ行フ事業ハ皆ニ人ノ自由ヲ制限  
 スルノミニ止マラス此他國民ノ經濟ヲ補助シ教育ヲ施行シ宗教ヲ保護スル等種  
 ヲ文明的事業ハ又國家ノ自カラスル所ナルコトハ面リ事實ニ徴シテ明カナリ  
 以是乎學者或ハ君主カ國ヲ統治スルトハ國家ノ行フ凡百ノ事業ヲ總稱スルモノ  
 ナレハ單ニ之ヲ命令權ノ作用ノミナリト解スルハ狹隘ニ失スト主張ヲ因テ以テ  
 我輩ノ說ニ攻撃ヲ試ムル者ナキニ非ス然リト雖モ我輩カ斯ル攻撃ヲ願ハスシテ  
 統治トハ命令權ノ作用ナリト説明スルハ敢テ國家ノ事業ハ單ニ人ノ自由ヲ制限  
 スルコトノミナリ目的トスルモノナリトノ意味ニ非ス然レテ究竟國家カ國家トシテ  
 他ノモノト異ナリ特リ包有スル性質ハ命令權ニ外ナラストノ意味タリ例ハ教  
 育シ經濟土木ヲ起シ宗教ヲ保護スルカ如キハ一個人ト雖モ爲シ得ヘク又私ニ  
 設立スル會社團體モ亦之ヲ目的ト爲スコトヲ得ヘク乍去命令權ヲ行フテ人ノ自

由ヲ束縛スルニ至リテハ到底一個人ノ爲シ得ヘキ所ニ非サルノミナラス會社團  
 體モ亦斯ル事項ヲ其事業ノ目的トシテ設立スルコト能ハス反言セハ斯ル事項ハ  
 國家組織ニ非スンハ到底之ヲ爲スコト能ハサルナリ是レ我輩カ國家統治權ノ本  
 質ハ命令ニ在リト説明スルニ躊躇セサル所以ナリ若シ夫レ勘シク其場合ヲ變シ  
 政治學若シハ國家學ノ問題トシテ國ヲ治ムルノ事業ハ何ソヤト發問スルコトア  
 ラハ素ヨリ皆ニ命令權ノ作用ノミナラス夫ノ補助的誘導的道德的ノ行爲モ亦皆  
 國家ノ方サニ爲ス可キ事業ナリト解答スルヲ當然トス然レトモ單ニ法律問題ト  
 シテ國家ノ統治權トハ何ソヤト發問スルコトアラハ命令權ナリト解答スルヲ至  
 當トス元來法理論ナルモノハ單ニ法ニ關係アル事項ノミヲ説明スルヲ目的トス  
 ルモノナリ故ニ人ノ行爲ハ權利義務ノ關係ヲ生スル事項ノミニ止マラスト雖モ  
 而モ私法ニ於テハ權利義務ノ論議ノミヲ主眼トスルカ如ク國家ノ行爲ハ命令  
 ミニ止マラスト雖モ而モ公法問題トシテハ單ニ命令權ノ作用ノミヲ研究スルヲ  
 以テ足レルモノトス  
 命令トハ權力ノ作用ナリ此事モ亦既ニ前ニ言セリ元來一個人ハ對等ノ人對  
 對



シテ命令スルコトヲ得ス從テ一個人相互ノ關係ハ權利義務ノ關係ニシテ命令服從ノ關係ニ非ス命令服從ナルモノハ常ニ國家的ノ關係ナリ公法ハ即チ之ヲ研究スルヲ目的トスルモノニシテ憲法ニ所謂統治權ト稱スルモノモ亦之ヲ意味スルニ外ナラサルナリ

又統治權ヲ總攬スト云フトキハ文字面上恰モ種々ノ權利アリテ之ヲ總括シテ握有スルモノナルカ如キ感アレトモ其實決シテ然ラス即チ統治權ハ唯一ニシテ分ツ可カラサルモノナリ再言セハ權利ノ集合物ニ非スシテ不可分割ナル圓滿ノ全權ナリ故ニ憲法ニ於テ天皇ハ兵馬ノ統帥權ヲ有スト云ヒ又條約權及ヒ行政權ヲ有スト云フカ如ク列記セラレタル各種ノ權利ヲ總合シタル縮高カ所謂統治權タルノ意味ニ非ス統治權ハ實ニ其性質ニ於テ無限ニシテ分量ノ一定セサル概括的ノ全權ナリト解釋スルヲ要ス

又統治權ヲ目シテ一ノ權利ナリト誤解ス可カラス若シ夫レ權利ト云フトキハ法律ニ因テ之ヲ得ル一個人ノ利益ナリ然レトモ統治權ノ權ハ權方ノ權ニシテ權利ノ權ニ非ス從テ統治權ハ法律ニ因テ保護セラレタル一個人ノ利益ニ非ス焉ソ

之ヲ目シテ權利ト云フヲ得ノ故ニ天皇ハ統治權ヲ總攬スレフ字句ノ意味ヲ誤解シテ恰モ一個人カ所有權ヲ有スルカ如ク天皇カ法律ノ保護ニ因テ國ヲ統治スルノ權利ヲ有スルモノナリト解釋スルコトアル可カラス

歐羅巴ノ教科書ニ於テハ統治權ト主權トヲ區別スルノ例アリ即チ主權トハ最高ノ權力ヲ云ヒ統治權トハ國民ヲ支配スルノ權力ヲ云フト解スルコト是ナリ蓋シスル觀念ハ之ヲ聯邦國ニ適應シテ始メテ其區別ノ肯綮ニ中レルコトヲ發見スルモノナリ例ヘハ獨逸帝國ハ主權ヲ有シ又普魯西ハイエルン等ノ各邦ハ其下ニ於テ國ヲ統治スルノ權力ヲ有スルカ如シ北米合衆國ニ於テモ亦然リ乍去我邦ノ如キ單獨ノ國體ニ於テハ主權ト云ヒ又統治權ト云フモ共ニ與ニ同一物ニシテ夫ノ最高ノ權力及ヒ其他ノ權力ト云フカ如ク特ニ權力ニ高下ノ區別アルコトナシ統治權ハ即チ唯一ニシテ素ヨリ最高ノ權力ナリ尤モ茲ニ最高ト云フモ其下ニ下級ノ統治權アリトノ意味ニ非ス諸子幸ニ字句ニ拘泥シテ其趣旨ヲ害スルコト勿レ之ヲ要スルニ聯邦制度ニ因テ組成セラレタル邦國ニ於テハ主權ト統治權トノ區別アル可キモ我邦ノ如キ國體ニ在リテハ此兩者ハ全ク其内容ヲ均フスルモノナ



リトス

天皇ハ統治權ヲ總攬スト云フハ君主ノ私權トシテ之ヲ有ストノ意味ニ非ス即チ之ヲ有スト云フハ單ニ形容ノ言詞ナルニ過キスシテ法理ノ眼光ヲ以テスレハ君主則チ統治權タルモノナリ今夫レ私權ト云フトキハ自己ノ利益ノ爲メニ法律カ自己ノ權能ヲ保護スルニ因テ之ヲ有スルモノナレトモ天皇カ統治者タルハ其天皇ノ權力カ直チニ統治權タルノ意味ニシテ敢テ憲法ニ依リ一ノ權利ヲ得タルノ意味ニ非サルナリ尙ホ統治權ノ性質ヲ明カニスルカ爲メ之ヲ類似ノモノニ比較シテ説明ス可シ

(二) 近來ノ地方制度ニ依レハ地方團體モ亦其住民ニ對シテ命令權ヲ行フ即チ團體ノ名ニ於テ條例規則ヲ發布シ又警察ノ事ヲ行フ是レ人ノ自由ヲ束縛スルノ權力行爲ナルカ故ニ復タ統治權ト稱ス可キニ似タリ然レトモ統治權ノ本質ハ無條件ニシテ絶對的ノ權力ナルノ點ニ在リ然ルニ自治體ノ有スル權力ハ如何法律ニ因テ條件セラレタル權力ニ非スヤ法律ニ因リ其法律ノ許容セル範圍内ニ於テ之ヲ行ヒ且法律ノ改正ニ因テ失墜スルコトアル可キ權力ニ非スヤ一言以蔽之自治

體ノ權力ハ一ニ統治權ニ因テ認許セラレタル權力ニ非スヤ奚ソノ能ク之ヲ統治權ト名ツクルコトヲ得ンヤ蓋シ統治權其者ハ法律ニ依ラス獨立シテ存在スルモノニシテ且他ノ權力ニ因テ條件セラレサルモノナラサル可カラス知ル可シ國家ノ統治權ト市町村ノ命令權トハ管ニ大小ノ區別ニ非スシテ全ク其權力ノ本質ヲ異ニスルモノナルコトナリ

(二) 統治權ハ國家ニ非サレハ之ヲ有スルコトヲ得ス從テ地方團體ノ有スル權力ハ統治權ト言フ可カラス況ンヤ一私人カ其私ノ交際上ニ於テ他人ニ對シテ有スル通俗ニ所謂權力ニ於テオヤ假リニ之ヲシモ權力ト名ツ可シトスルモ尠クトモ統治權ニハ非サルナリ殊ニ又通俗ニ所謂權力ナルモノハ其外觀權力ニ類似スルモノモ實際權力ニ非サルコト多シ例ハ主人ノ雇人ニ對スル關係ハ恰モ權力ヲ行フモノニ似タリ乍去其法律上ノ性質ヲ探討スルニ主人ハ單ニ義務ノ履行ヲ請求スルコトヲ得ルニ止マリ直接ニ權力ヲ施スコトヲ得ス抑モ契約ニ因テ自己ノ權能ヲ他人ニ讓渡スルコトハ法律ノ許容セサル所ナリ故ニ雇人契約ニ依リ全然獨立人タル資格ヲ棄テ、主人ノ奴隷ト爲リ其命令ノ下ニ臣民タリ服從者タル可



キコトヲ約束スルヲ得サルモノニシテ縦令之ヲ爲スコトアリトスルモ其効力ナキナリ何トナレハ權力關係ハ國家ニ非スノハ之ヲ惹起スルコトヲ得シテ一權利行為ノ到底克ク成立セシメ得ヘキ所ニ非サレハナリ是故ニ主人タルモノハ單ニ其契約ノ履行ヲ雇人ニ對シテ請求シ得ルニ止マリ直チニ雇人ノ自由ヲ束縛スルノ權力ナシ從テ若シ雇人カ契約ニ違反スルトキハ裁判所ニ訴ヘテ其損害ノ賠償ヲ要求スルカ又ハ義務ノ履行ヲ請求スルコトヲ得ルニ止マリ自カラ雇人ノ手足ヲ束縛シ腕力ヲ以テ其義務ヲ履行セシメントスルカ如キハ契約ノ執行ニ非サルカ故ニ素ヨリ爲シ能ハサル所ナリ若シ強テ之ヲ爲サン乎法律ニ違反スルモノトシテ所罰セラル、ヲ免カレス斯ノ如ク一個人相互ノ間ニ於テ統治權ニ類似スル關係アルカ如ク見ユル場合アレトモ仔細ニ之ヲ研究スルトキハ其實決シテ然ラサルヲ發見ス可シ之ヲ要スルニ統治即チ權力ノ適用ハ特リ國家ノ專有ニ屬シ決シテ一私人ノ機能ニ存セサルナリ

(三) 又一私人相互ノ間ニ於テ懲戒ナルモノアリ懲戒ハ太甚統治權ノ作用ニ類似ス然レトモ懲戒ナルモノハ人ノ合意ニ因リテ之ヲ行フコトヲ得ス唯法律ノ規定

カ之ヲ許容スル場合ニ於テ此權アル而已例ヘハ或ル事柄ヲ契約シタル場合ニ於テ若シモ其契約ニ違反スルトキハ如何ナル懲戒ヲモ甘シテ之ヲ受シ可キコトヲ合意スルモ相手方ハ法律ノ許サ、ル行為ヲ以テ之ヲ懲戒スルコトヲ得サルカ如シ之ヲ要スルニ懲戒ハ法律ノ許容スル範圍内ニ於テ之ヲ行フコトヲ要スルモノナレハ懲戒ヲ行フコトヲ得ルハ結局統治權ノ許容セル場合ニ限ルモノナルヤ明カナリ然ラハ則チ懲戒ハ統治權其者ニ非サルコトモ亦一目瞭然タル可シ

以上論述スル所ヲ玩味シ來ルトキハ統治權ハ國家唯獨リ之ヲ有スルモノニシテ決シテ分割ス可カラサルモノナルノミナラス社會ニ於ケル權力ノ關係ハ直接間接ニ國家ニ對スルモノナルコトヲ知了スルニ足レリ是レ屢々説明スル如ク憲法ノ全體ヲ研究スルニ於テ公法ナルモノハ常ニ權力關係ノ規定ナリト云フニ歸著スル所以ナリ若シ夫レ人ト人トノ關係ハ權利義務ニ出テルモノニシテ苟モ權力ト云フノ點ニ至レハ其關係ヤ常ニ國家ト一個人トノ間ニ於ケルモノナリ乃チ知ル國家ト一個人トノ關係ヲ規定スル公法ノ實質ハ恒ニ權力關係ニ在ルニトシテ統治權ハ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フモノナルコトハ憲法第四條ノ申明スル所ナリ



ルカ此規定タル畢竟統治權ヲ行使スルノ方法ヲ示シタルモノニシテ決シテ統治  
 權其者カ憲法ニ因テ發生シタリトノ意味ニ非ズ故ニ之ヲ解釋シテ憲法ニ依ラサ  
 ルモノハ統治權ニ非スト云フヲ得ス即チ統治權ナルヤ否ヤハ憲法ニ依ルト依ラ  
 サルトニ拘ハラサル別個ノ問題ニ屬ス之ヲ要スルニ憲法第四條ノ規定ハ唯君主  
 カ統治權ヲ行使スルノ方法ハ憲法ヲ以テ之ヲ規定スト云フノ宣言タルニ止マレ  
 リ

憲法ニ違反スル行爲ハ直チニ無効ナリト斷言スルコトヲ得ス其理由ハ二點ニ於  
 テ明カナリ以下之ヲ畧述センニ(一)統治權ハ憲法ヲ制定スルノ權力ニシテ憲法ニ  
 依テ統治權ノ成立シタルモノニ非ス故ニ統治權其者ノ作用ト憲法ノ形式ニ依ル  
 コトハ自カラ別問題ナリ(二)又憲法ノ條規ニ違ヒタル統治權ノ作用ハ其効力ナ  
 シトノ制裁ハ憲法第四條ノ法文上判明ナラス若シ假リニ此趣旨ナリトセン乎必  
 スヤ之ヲ無効トスルノ方法勿ル可カラス然ルニ統治權ノ行使カ憲法ニ違背セル  
 ヤ否ヤヲ判定スルノ裁判官ハ君主其人ヲ擱テ他ニ之アルコトナシ故ニ萬一之ヲ  
 無効トスルノ制裁アリトスルモ全ク其制裁ヲ加フ可キ手段ナキナリ是レ我輩カ

此一段

論旨

失正鵠

誤

疑

疑

君主ノ國  
法上ニ於  
ケル地位

憲法ニ違反スル行爲ハ直チニ無効ナリト斷言スルコト能ハスト主唱スル所以ナ  
 リ蓋シ憲法カ統治權ヲ行フニ付テハ該法ノ條規ニ依ル可キコトヲ宣言シタルハ  
 究竟人民ノ服従ス可キ程度ヲ明カニスルノ主意ニ外ナラスシテ敢テ統治權其者  
 ナ制限スルノ趣旨ニ非ス又人民ノ判斷ニ依リ憲法ニ違反スルモノト認定シタル  
 事項ニハ服従ノ義務ナシトスル制裁ヲ法定シタルモノニモ非サルナリ而シテ統  
 治權ヲ行使スルニハ番ニ憲法ニ違據ス可キノミナラス渾テノ法律命令ニ憑依ス  
 可キコト勿論タリ是故ニ憲法第四條ハ立憲政體ニ特別ナル規定ニ非スシテ縱令  
 憲法發布ノ以前ニ在リテモ統治權ヲ行使スルニハ法律命令ニ違據ス可キモノダ  
 ルヤ敢テ曉々ヲ要セサルナリ

第二章 君主ノ國法上ニ於ケル地位

君主ノ位其者ノ性質ハ皇位ノ章ニ於テ既ニ之ヲ辯明セリ因テ本章ニ於テハ專ラ  
 君主ノ國法上ニ於ケル地位ヲ説明ス可シ諸子須ラ前ノ皇位ノ章ト對照シテ之  
 ヲ解釋セラレシコトヲ望ム

君主ハ主權ノ本體ナリト云フハ我憲法上ノ原則ナリ故ニ君主ニ公ノ資格ト私ノ

帝國憲法 統治ノ主體 君主ノ國法上ニ於ケル地位



資格トノ二様ノ身分アリト云フガ如キハ政治上實際上ノ區別ニシテ國法上ノ原理ニ於テハ決シテ此區別アルコトナシ尙ホ之ヲ切言スレハ君主ニハ一個人タル資格ナルモノナシ歐羅巴ノ國法論ニ於テハ或ハ之ヲ區別シ君主ト雖モ一個人タル身分ニ於テハ普通ノ一個人ト同シク法律ノ下ニ立ツモノナリト説明スル者アリ蓋シ其立論ハ極メテ公平ヲ得タルガ如シト雖モ純粹ナル君主國體ノ主義ト合致スルモノニ非ス抑モ君主國體ニ在テハ君主ハ即チ主權ナリ故ニ君主ノ行爲ハ渾テ主權ノ作用ナリト云フヲ以テ原則ト爲ス可シ唯實際上國ノ政治ニ關スル行爲ハ全ク政治ニ關セサル行爲ト之ヲ區別ス可キ必要アル而已例ハ政治上ノ行爲ハ國務大臣ノ副署セサル事項ハ縱令君主ノ行爲ニ係ルモノト雖モ猶ホ一私人ノ行爲ト均シク民法及ヒ刑法ノ制裁ヲ受ク可キモノナリト論結スルコト能ハサルナリ

君主ノ位ハ官職ニ非ス官職トハ法令ニ因テ制定セラレ且自己ヲ爲メニスルニ非スシテ國家ノ爲メニ或ル職分ヲ擔フコトヲ云フ夫ノ國會裁判所又ハ大臣ノ如キハ官府タリ職務タリ乍去之ニ反シテ君主ノ位ハ自己ノ目的ヲ達スルカ爲メ存在

スルモノニシテ官職トシテ存在スルモノニ非ス故ニ曰ク君主ニハ公ノ資格ト私ノ資格トノ二様ノ身分ナシト然ルニ歐羅巴ノ立憲政體論ニ於テハ君位ヲ以テ一ノ官職ト看做シ其位ニ於テスルコトハ則チ君主ノ行爲ナレトモ其資格ニ於テセサルコトハ一私人ノ行爲ナリトセルモ斯ル原則ハ全然我憲法ノ精神ニ悖戾スルモノナリトス

君主ト帝國トノ關係ハ法律上ノ名義ニ基クモノニ非ス然ルニ普通ノ說明ニ於テ之ヲ法律上ノ名義ニ基クモノトスルハ大ナル誤謬ナリ例ハ君主ヲ以テ國家ノ代表者ナリト云フガ如キハ君主ト國家トチ二個ノ人格ト認定シ其間ニ代理代表ノ關係アルモノト看做スノ思想ニシテ素ヨリ探ルニ足ラサルナリ即チ君主カ國ヲ統治スルハ權力ノ作用ニシテ事實的關係タリ敢テ法律ニ依リテ生シタル名義ニ出ツルモノニ非ス實力ノ及フ所ハ則チ統治ノ範圍ナリ或ハ共和政若クハ人民ヲ以テ主權者ト爲スノ國體ニ於テハ國ヲ以テ一ノ法人ト爲シ君主ヲ以テ其法人ノ管理者又ハ代表者ト爲シ而シテ憲法ニ依リテ其代表者ヲ設定シタルモノト解釋スルコトナキニ非ス要ハ則チ君主ヲ以テ國ノ代表者ナリトスルニ在リ蓋シ我



輩ハ斯ル國體ノ歐羅巴諸國ニ存在スルコトヲ認ム然レトモ直チニ此外國ノ法制  
 ナ我國法ニ及ホシテ立論シ君主ト帝國トノ關係ハ代表ノ關係ナリ若クハ管理者  
 ノ關係ナリト云フヲ得ス又君主ハ土地ノ上ニ最高所有權ヲ有スト云フノ名義ヲ  
 以テ國ヲ統治スルノ原因ト爲スカ如キモ亦我國體及ヒ憲法ノ認メサル所ナリ  
 君主ハ神聖ニシテ侵ス可カラスト云フハ憲法ノ明文ヲ俟タスシテ當然斯クアラ  
 サル可カラサル原則ナレハ特ニ法律上ノ原則トシテ之ヲ説明スルノ必要ナシ乍  
 去世上動モスレハ之ヲ以テ法理ノ解釋論ト看做シ君主ノ法律ニ對スル關係ヲ言  
 ヒ顯ハスモノト爲スハ大ナル誤謬ナリ例ヘハ夫ノ君主ハ無責任ナリト云フコト  
 ナ此原則ノ結果ト爲スハ君主ヲ以テ先ツ當然ニ國法ニ服從ス可キモノナリト解  
 釋シ而ル後特ニ憲法ヲ以テ其義務ヲ免除スルモノナリトスルノ觀念ニ基クモノ  
 ニシテ斯ノ如キハ實ニ我國體ノ精神ト全ク相矛盾スルモノト謂ハサル可カラス  
 蓋シ君主ナルモノハ法律ニ依テ其責任ヲ免カル、モノニ非ス何トナレハ法律ハ  
 即チ君主カ其臣民ニ對シテ發スル所ノモノナレハ法律ハ其性質上君主ニ對シテ  
 其効果ヲ及ホシ得ヘキモノニ非サレハナリ而シテ君主ハ神聖ニシテ侵ス可カラ

ント云フハ實ニ法律ノ制裁ヲ加フ可カラスト云フノミニ止マラス君主ハ即チ主  
 權者ナレハ人民ハ絶對的ニ之ニ服從シ且其位ニ對シテ相當ノ敬禮ト服從トヲ全  
 ケス可キノ本分アルコトヲ明カニスルモノナリ故ニ之ヲ目シテ法理ノ一原則ト  
 見做スハ正鵠ヲ得タルモノニ非ス之ヲ要スルニ縱令此原則ナキモ君主ハ當然法  
 律ノ制裁ノ外ニ立ツモノナリ  
 又君主ハ神聖ニシテ侵ス可カラストノ原則ヲ誤解シ刑法ニ於テ特ニ皇室ニ對ス  
 ル犯罪ニ重刑ヲ科シ因テ以テ特別ニ保護ヲ與フルモノナリトセリ然レトモ刑法  
 ノ規定ヨリシテ君主ハ神聖ニシテ犯ス可カラストノ原則ヲ生スルモノト看做ス  
 ハ註誤ノ太甚シキモノナリ又刑法ニ於テ皇室ニ對スル犯罪ヲ特ニ嚴罰スルコト  
 ナ目シテ公益ノ爲メニ君主ヲ保護スルモノト解釋スルハ大ニ我國體ノ本旨ニ悖  
 戾スルモノト云ハサル可カラス蓋シ君主ハ君主タルカ故ニ特ニ之ニ對スル犯罪  
 ナ嚴罰スルノ規定ヲ設ケタルモノニシテ敢テ公益ヲ保護スルカ爲メニ君主ヲ保  
 護スルモノニ非サルナリ尙ホ例ヲ舉ケテ之ヲ説明セシニ夫ノ刑法カ官吏ヲ保護  
 スルハ公益ノ爲メニ之ヲ保護スルモノナリト云フヲ得ヘシ又國會議員カ議會ノ



開會中特ニ逮捕セララル、コトナキハ恰モ一種ノ特例ナルカ如キモ亦公益ノ爲メニ特ニ公職ヲ行フ者ヲ保護スルニ外ナラス乍去君主ニ對スル不敬ノ罪ヲ罰スルコトヲ以テ全然官吏公吏ヲ保護スルト同一ノ理由ニ出テタルモノト爲スハ大ナル誤謬ナリ之ヲ要スルニ皇室ニ對スル罪ヲ公益ニ關スル罪ノ一種類ト爲シタル刑法ノ精神ハ徹頭徹尾憲法ノ旨趣ト扞格スルモノト斷定セサルヲ得サルナリ君主ハ當然法律命令ノ適用外ニ在リ是レ蓋シ法律命令ナルモノハ權力者ト服從者トノ間ニ於テ權力者カ服從者ニ命令スルモノナルカ故ニ權力者タル君主カ之ニ服從スルカ如キハ素ヨリ有ル可カラサル事ナレハナリ乃チ知ル法令ハ總テ當然ニ臣民ニ對スルニ止リ君主ノ行爲ヲ規定スルモノニ非スト解釋ス可キモノナルコトヲ若シ夫レ刑法及ヒ警察法ノ規定カ君主ニ及フ能ハサルコトハ通常人ノ普ネシ識認スル所ナリト雖モ特リ民事上ノ行爲ニ至リテハ民法ノ規定及ヒ裁判權ハ君主ニモ及フモノナリト主張スル者ナシトセス然レトモ我輩ハ絶對的ニ此說ニ反對スルモノナリ以下論シク其理由ヲ述ヘンニ抑モ君主ト雖モ一個人タルノ資格ニ於テハ民法ノ規定ニ從ラ可シテ反對者ノ意見タルヤ先シ第一ニ君主

ニハ一個人タル資格アリト云フナ前提トシテ立論シタルモノナリ而シテ一個人タル資格トハ蓋シ臣民タリ服從者タル資格ト云フノ外意味ナカル可シ然ルニ君主ニ臣民タリ服從者タルノ資格アリト云フハ前ニモ説明セルカ如ク國法ノ原則ニ適合スルモノニ非ス且又法律ノ性質如何ト顧ミルニ人民相互ノ交通ヲ支配スルノ目的ヲ以テ制定スルモノニシテ主權者ト人民トノ關係ハ公法ノ權力規定ニ依ルコトヲ目的トス但君主ハ全能ノ力アルカ故ニ自己ノ自由意思ニ依リ民法ノ規定ノ下ニ權利ヲ得又ハ義務ヲ負フコトヲ妨ケス然レトモ法律ハ特ニ之ヲ例外ト爲シ荷モ明言スルニ非サレハ之ヲ以テ論スルコトヲ得ス故ニ法律當然ノ推測ハ縱令民事上ノ行爲ト雖モ君主ハ裁判權ニ服從セスト云フヲ以テ原則ト爲ス可シ尤モ法律カ殊更ラ特例ヲ設ケタル場合ハ此限ニ在ラサルヲミナラス警察ノ場合ニ於テモ亦然リト爲ス尙ホ例ヲ擧ケテ之ヲ説明センニ君主ノ所有スル土地又ハ其從事スル事業ニ付テ警察ノ規則行ハレサルトキハ實際上太甚不便ナルカ如シト雖モ警察法當然ノ適用トシテハ素ヨリ之ニ及ハサルヲ原則トス乍去君主自カラ警察法規ニ準シテ自己ノ財産又ハ事業ヲ監理セシムルコトハ其自由タリ之



ヲ要スルニ原則トシテハ警察法若クハ民法ノ規定ハ當然君主ノ行爲ニ及フモノナリト云フヲ得ス唯法令ニ特別ノ規定アル場合ニ於テ之ニ因テ論スルコトヲ得ヘキ而已

皇位繼承

第四章 皇位繼承

皇位繼承トハ君主ノ位ヲ繼承スルコトヲ意味ス此コトニ付テハ憲法直接ニ之ヲ規定セシテ一ニ之ヲ皇室典範ニ譲リタリ詳言セハ憲法ニハ單ニ大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス第一條ト明揭スルノミニテ皇位ヲ繼承スル順序并ニ能力等ハ一モ之ヲ規定セズ舉テ之ヲ皇室典範ノ規定ニ譲リタリ今ヤ皇室典範ニ依ルニ皇位繼承ノ能力アルモノハ特リ皇統ニ限レリ皇統トハ創祖ノ子孫ト云フノ義ナリ斯ク皇統ニ非サレハ皇位ニ即クコトヲ得ス又皇統トハ自然ノ血統ヲ云フモノニシテ養子ノ制度ハ全然皇室典範ノ認メサル所ナリ又皇位ハ男系ノ男子之ヲ繼承スルモノニシテ苟モ男子ノ血統ニ非サレハ正當ナル皇統ニ非ス從テ此原則當然ノ結果トシテ女子ノ血統ハ正當ナル皇統ニ非サルナリ且又縱令男系ノ子孫ナリト雖モ女子ハ位ニ即クコトヲ得ス故ニ皇位ヲ繼承スルモノハ常ニ男系

ノ男子ニ限ルモノトス

皇位繼承法ハ統治權ノ主體タル君主ノ位ニ即ク人ヲ指定スルノ規定ニシテ夫ノ一般家督相續ノ規定トハ全然其趣旨ヲ異ニス從來歐羅巴ノ國法論ニ於テハ統治權ヲ一ノ私權ナルカ如ク看做シ又國ヲ皇室ノ所有地ナルカ如ク看做シ私權又ハ所有權ヲ讓渡スノ法理ヲ以テ皇位繼承ヲ論シタルノ說多シ然レトモ我國ノ如キ君主國體ニ於ケル近世ノ法理ハ此說ト氷炭相容レス即チ統治權ハ君主ノ私權ニ非スシテ君主ノ權力ナリトス若シ夫レ何人カ君主ナル乎ハ憲法及ヒ皇室典範ノ規定ニ因テ定マルモノニシテ之ヲ以テ權利ヲ相續スルモノト看做ス可カラズ唯其外形相續法ト酷似スル而已  
皇位繼承ノ順序ハ皇室典範ノ規定ニ詳ナリ我輩ハ之ヲ説明スルコト太甚易シト雖モ事徒ラニ錯雜ヲ極メ且法理的ノ解釋ヲ要スルモノナキカ故ニ寧ロ皇室典範ノ成文ニ就キ諸子自カラ之ヲ研究スルヲ可トス(皇室典範第一章及ヒ第二章)我輩ハ唯茲ニ其主義ノミヲ説明セシニ我皇位繼承法ハ直系主義ヲ取リタリ直系主義トハ子孫相享スルノ法ニシテ直接ノ系統ヲ下テ皇位ヲ繼承スルノ主義ナリ例ヘ



ハ親ヨリ子ニ傳ヘ子ヨリ孫ニ傳フルカ如シ若シ直系ノ皇統アラサルトキハ傍系ニ及フ知ル可シ直系ヲ先ニシ傍系ヲ後ニスルノ主義ヲ採用セルコトヲ又我皇位繼承法ハ男子相續ノ法ナリ蓋シ女子カ位ニ即クコトハ我數千年來ノ歴史ニ於テ稀ニ見ル所ニシテ實ニ變例タリシ然ルニ現行ノ皇室典範ハ特ニ男子ニ非サレハ皇位繼承ノ能力ナキコトヲ明言セリ又我國法ハ年長主義ヲ採用セリ例ヘハ男子數人アルトキハ年長者ヲ以テ皇位繼承者ト爲スカ如シ又前ニ一言セル如ク我國法ハ素ヨリ直系ニ下ルヲ本則トスルモノニシテ唯已ムヲ得サル場合ニ於テ傍系ニ入ル而已而シテ其場合ニハ最近親族ヲ先ニシ親族關係ノ遠キ者ヲ後ニス以上ハ皇位繼承ノ原則ヲ一言セルニ止ルカ故ニ諸子ハ自カラ法文ニ就テ其詳細ヲ知ラル可シ

君主ノ位ヲ繼承スルコトハ年齡體力智力等ニ係ルモノニ非ス從テ未成年者ト雖モ君主ノ位ニ即クコトヲ妨グス歐羅巴ノ國法ニ於テハ往々即位ノ條件ヲ設クルモノアリ斯ノ如キハ我國法ト扞格スルモノナリ又歐羅巴ノ國法ニ於テハ宗教ヲ以テ皇位繼承ノ條件トスルモノアリ例ヘハ英吉利ニ於テハ「プロテスタント」又佛

蘭西並ニ埃太利ニ於テハ「カトリック」ト云フカ如ク一定ノ宗教ヲ信仰スル者ニ非サレハ皇位繼承者タルヲ得スト爲スモノアリ乍去斯ノ如キ規定ハ又我皇室典範ニ於テ發見セサル所ナリ此他皇室典範ノ規定スル所ハ多クハ儀式的若クハ皇室内部ノ規定ニ止マリ國法上直接ノ關係ヲ惹起スルモノ尠シ故ニ我輩ノ曉々ヲ要セサルナリ

君主ノ位ニ陞ルコトハ之ヲ踐祚ト稱ス而シテ皇嗣踐祚スルトキハ三種ノ神器ヲ承クルヲ例トス是レ實ニ古來ヨリノ大禮ニシテ現行ノ皇室典範ニ於テモ亦之ヲ明言ス乍去天皇崩御スルトキハ皇太子直ニ位ニ陞ルモノニシテ踐祚ノ式又ハ即位ノ禮ハ之ヲ彰表スルニ止マリ君主タルノ資格ハ決シテ之ニ因テ得ルモノニ非サルナリ歐羅巴人ノ格言ニ曰ク君主不死ト其意蓋シ君主ノ位ハ轉瞬ノ間モ之ヲ空フス可カラスト云フニ在ルモノニシテ寔ニ國法上ニ於テハ君主ノ空位ヲ見ルコトナシ夫ノ統治權ハ決シテ授受ノ目的物タルモノニ非ス天皇崩御スルトキハ皇太子即チ天皇タルカ故ニ皇太子ノ權力ハ即チ君主ノ權力ナリ此主意ヲ明カニスレニ非サレハ到底純粹ナル君主國體ト他ノ國體トノ區別ヲ明カニスルニ足



ラス故ニ憲法上ニ於テハ皇位繼承ナルモノヲ認メスシテ天皇ハ連綿斷續セサルモノト看做ス即チ皇位繼承ハ皇室内部ノ事實タルニ止マリ外部ニ對シテハ天皇ハ猶ホ歐羅人ノ格言ノ如ク崩御スルモノニ非ス一言以蔽之皇統ハ法理上斷絶スルモノニ非サルナリ嘗チハノール國ノ君主カ新タニ位ニ即クニ當リ先帝ノ發布シタル憲法ハ朕關セスト宣言シ之ヲ無効ニ歸セシメントシタルコトアレトモ本來皇位ナルモノハ其肉體ノ人ニ固着スルモノニ非サルカ故ニ君主ノ發スル法律命令ハ即チ其國法ヲ爲ス從テ君主其人ヲ改ムルモ法理上ニ於テハ同一人ト看做シ從來ノ法律命令ハ渾テ新君主ヨリ出テタルト同一ノ効力ヲ有スルモノトスルヲ以テ一般ノ定説ト爲ス

### 第五章 攝政

攝政ハ天皇ノ名ニ於テ統治ノ大權ヲ行フモノナリ我輩ハ茲ニ攝政ヲ置クハ如何ナル場合ナリヤ又攝政ノ性質ハ如何ナルモノナリヤ將タ又攝政タル可キ人ハ何人ナリヤノ三要件ヲ説明ス可キ

(第一) 攝政ヲ置クハ左ノ二場合トス

- (一) 君主未成年ナルトキ
  - (二) 久シキニ亘ルノ故障アルトキ
- 君主ノ成年ハ滿十八年トス未成年ノ天皇其位ニ即カセ給フトキハ攝政ヲ置クコトヲ要ス又故障アルトハ政務ヲ執ル能ハサル絶對的ノ故障アルコトヲ云フモノニシテ精神上身體上其他總テノ故障ヲ包含ス若シ夫レ嚴正ニ論セシ乎未成年ナルコトモ亦故障ノ一場合ナリト謂ハサル可カラズ又久シキニ亘ル故障トハ其文字面ヨリ云フトキハ時日ノ長キ故障ヲ意味スルニ似タリ乍去立法ノ趣旨ハ重大ナル故障ヲ意味スルニ在ルナル可シ從テ苟モ其故障ノ性質カ重大ナルモノナルトキハ縱令其故障ノ繼續スル時日ハ短シトスルモ攝政ヲ置クヲ要ス又故障ノ有無ハ時トシテ不明ナルコトアル可シ此場合ニハ皇族會議及ヒ樞密院ノ議ヲ經テ果シテ久シキニ亘ル故障アルヤ否ヤノ事實ヲ決定シ而ル後果シテ久シキニ亘ル故障アリト定マルトキハ攝政其位ニ即クモノトス之ヲ要スルニ統治權ノ作用ハ一日モ之ヲ空フス可カラサルカ故ニ縱令短期間ノ故障ト雖モ事ノ重大ナルモノナルトキハ其必然ノ結果トシテ攝政ヲ置ク可キモノナリトス



(第二) 攝政ノ性質ハ天皇ノ名ニ於テ天皇ノ大權ヲ行フテフ憲法ノ明文ニ於テ既ニ盡セリト信ス抑モ攝政ナルモノハ自己ノ權力ヲ行フニ非スシテ君主ノ權力ヲ行フ者ナリ故ニ攝政ハ君主ニ非ス乍去統治權ノ本體ハ君主ニ在リトスルモ其作用ハ攝政ニ在ルコトヲ注意セサル可カラズ元來統治權ノ本體ト作用トハ之ヲ分離ス可カラサルモノニシテ共ニ與ニ君主ノ一身ニ屬スルモノトスルヲ以テ君主國體ノ本義ト爲セトモ若シ君主未成年ナル乎又ハ久シキニ巨ル故障アルトキハ已ムヲ得サル場合ノ變例トシテ統治權ノ本體ト其行使トヲ區別シ一ハ君主ニ存シ一ハ攝政ニ屬スルモノト爲ス然レトモ國法上ニ於テハ君主ト攝政トハ合同シテ一體ヲ爲シ決シテ分離ス可カラサルモノト爲スカ故ニ憲法ニ所謂天皇ナルモノ、意味ハ或ル場合ニ於テハ之ヲ擴張シテ皇位及ヒ攝政ヲ併稱スルモノト解スルコトヲ得ヘキナリ

攝政ノ性質ヲ明カニスル爲メニハ之ト異ナルモノト比較説明スルヲ可トス借攝政ハ代理人ニ非ス蓋シ政治事務ノ代理ヲ命スルコトハ君主ノ常ニ爲シ得ヘキ所ニシテ攝政ヲ置シノ必要ナキ場合ニ於テ自由ニ行ハル可キナリ例ハ一時政務

ハ皇太子ニ代理セシムルガ如シ是レ實ニ攝政ノ名義ナクシテ行ハル可キモノトス翻テ攝政ハ君主ノ無能力ナル場合ニ於テ必要ナルモノナリ然ルニ君主カ代理人ハ指命スルノ能力アルトキハ未ダ無能力ニ非ス焉ソノ攝政ヲ置クコトヲ得ン唯夫レ君主ニ這般ノ能力ナキ場合ニ於テ始メテ國法當然ノ結果トシテ攝政カ天皇ノ大權ヲ行フモノナル而已

攝政ハ統治權ノ全體ヲ行フ者ニシテ單ニ其一部分ノミヲ行フモノニ非ス是亦政務ノ代理人ト異ナル所ニシテ單ニ政務ノ一部分ノミヲ行ハシムルガ爲メ攝政ヲ設クルカ如キハ全然其性質ニ反スルモノナリ斯ノ如ク攝政ハ統治權ノ全體ヲ行フノ權能アル者ナレトモ唯茲ニ一ノ制限アルハ憲法及ヒ皇室典範ノ改正ハ攝政之ヲ爲スコト能ハサルノ點ニ在リ而シテ苟モ其以外ノ事項ハ一般ニ君主カ爲シ得ル如ク攝政モ之ヲ爲シ得ヘシ又我國從來ノ歴史ヲ繙クニ往々攝政ナルモノアルヲ見レトモ多クハ一ノ官職ニ付シタル名稱ニシテ現行憲法ニ所謂攝政トハ其實質ヲ同フセス即チ現行憲法ニ所謂攝政ナルモノハ官職ニ非ス蓋シ官職又ハ官吏ト云フトキハ天皇之ヲ設ケ若クハ之ヲ任スルモノナリ然ルニ攝政ハ天皇ノ指



命ニ因ラス否ナ指命スル能力ナキ場合ニ國法當然ノ結果トシテ其位ニ當リ以テ  
天皇ノ大權ヲ行フモノナリ知ル可シ攝政ト官職トハ全然其性質ヲ異ニスルモノ  
ナルコトナ

(第三) 攝政ヲ置クノ順序ハ皇室典範ノ明文ニ就テ之ヲ見ル可シ今其大體ノ趣旨  
ヲ撮言セハ天皇ニ故障アルトキハ皇太子攝政タルコトヲ本則トス換言セハ皇位  
ノ繼承者攝政ノ位ニ即クテ通常トス乍去攝政ハ必スヤ成年者ナラサル可カラス  
又精神上身體上ノ故障ナキ者ナラサル可カラス故ニ若シ皇太子ニシテ未成年ナ  
ルトキハ皇位ノ繼承者ハ皇太子ナルニモ拘ハラス攝政ノ位ニ即ク者ハ他ノ皇族  
タリ尙ホ其詳細ハ皇位繼承ノ場合ニ於ケルト同シク皇室典範ノ條文ヲ讀下シテ  
之ヲ知悉ス可シ之ヲ要スルニ攝政タルコトヲ得ル者ハ單ニ皇族ノミニ限レリ蓋  
シ往時ニ在リテハ臣下ニシテ攝政タリシ者アリ又歐羅巴ノ例ニ依レハ内閣若ク  
ハ國會カ攝政ノ事ヲ行フノ例アリト雖モ我皇室典範ハ此等ノ例ニ倣ハヌシテ苟  
モ皇族ニ非サレハ攝政タルコトヲ得スト規定セリ  
攝政ハ皇位ト合シテ統治權ヲ行使スルモノナルカ故ニ皇位ニ對スル尊敬ト待遇

緒論 統治ノ客體

トハ攝政ニモ及フ可キモノナリ從テ攝政タル者ハ國法上皇位ト均シク法律上ノ  
制裁ヲ受ケス實ニ侵スヘカラサルモノナリ我刑法ハ特ニ攝政ニ對スル罪ヲ規定  
セズ是レ勘シク不備ナルカ如シ元來攝政ハ高等ナル官吏又ハ皇族タルノ地位ト  
異ナリ皇位ニ附屬シテ統治權ヲ行使スルモノナルカ故ニ攝政トシテハ特別ナル  
法律ノ保護ト人民ノ敬禮トヲ受ク可キモノタルハ素ヨリ當然ノ理ナリト信ス

第三編 統治ノ客體

第一章 緒論

(國トハ土地ト人民トヲ基礎トシテ唯一ノ主權之ヲ統治スル所ノ團體ヲ稱ス) 國ト  
云ヘハ必スヤ主權アリ又主權ト云ヘハ必スヤ土地ト人民トノ基礎アルコトヲ意  
味ス去レハ土地ト人民トハ國家テフ團體ヲ成ス所ノ要素ニシテ統治ヲ受クル所  
ノ目的物ナリ即チ統治權ハ國土ト人民トノ上ニ行ハル、モノトス從ツテ統治ノ  
客體ヲ別チテ二ト爲シ一チ國土トシ他チ臣民ト爲ス今各別ノ説明ヲ爲スニ先チ  
茲ニ緒論トシテ國權ト國土トノ關係ニ付テ畧説スル所アル可シ  
國權ト國土、人民トノ關係ニ付テハ凡ソ歴史ノ三箇ノ時代ヲ經過シタルモノ、如



シ古代社會若クハ未開ノ社會ニ於テハ國家的ノ思想未ク發達セス從ツテ人ト人トノ間ニ服從關係アルノミニシテ國權ハ土著スルコトナシ之ヲ部落主義ノ時代ト稱ス即チ一種ノ人民カ或ハ人種ノ同一ナルヨリ或ハ風俗經濟ノ同一ナルヨリ相集マリテ一團體ト爲リ其團體ノ關係ハ人ノ組合ニシテ土地ヲ要素ト爲サス故ニ水草ヲ追フテ移轉シ又自國トシテ保護スル一定ノ土地アルコトナシ之レ未開社會ニ於ケル普通ノ狀態ニシテ此時代ニ於テハ國權ハ人ト人トノ服從關係ニシテ土地ヲ基礎トスルコトナシ次テ中古時代若クハ所謂封建制度ノ社會ニ於テハ土地ヲ以テ國家ノ基礎ト爲スノ觀念大ニ發達シタリ然レトモ人ニ對スル關係ト土地ニ對スル關係トヲ格別ナル關係ト看做シ君臣ノ關係ト一國ヲ所有スル關係トノ二者ヲ格別ニ認メタリ故ニ中古時代ノ思想ニ於テハ君主ハ人民ヲ自己ノ奴隸臣僕トシテ其人ノ上ニ權力ヲ行ヒ又國土ヲ自己ノ所有地ト認メテ其國ヲ領シタリ即チ君臣タル關係ヲ成ス所ノ權力ト地主タル地位ニヨリ有スル所ノ權力ト相合シテ中古君主ノ統治權ヲ成シタルモノト云フ可シ之ヲ第二ノ時代ト稱ス降ツテ近世ニ於テハ以上ノ觀念ヲ去リテ國權ト云フハ唯一ノ權ニシテ土地及人民

ニ對シテ絕對的ニ行ハル、モノト爲セリ之レ主權ハ一定ノ土地ヲ基礎トシテ其土地ノ上ニ行ハル、ト云フノ主義ニシテ上古若クハ中古封建時代ノ觀念トハ全ク異ナリ近世ノ國家ハ全ク此第三ノ主義ニ依リテ成立セラル、モノナリ歐洲ノ共和主義ニ於テハ人民ヲ以テ主權ノ所在ヲ意味スルモノト爲スモノ有リ此主義ニ依レハ臣民ハ統治ノ主體ニシテ統治ノ客體ニ非ス我國體ト相容レサルモノナルコト固ヨリ辯チ俟タサルナリ抑モ治者ト被治者トノ關係ヲ分明ナラシムルハ我國體ノ存スル所ニシテ君主國ノ本質ハ統治ノ權ハ君主ニ在リ人民ハ被治者ナリト爲スニ在リテ存セリ若シ夫レ治者被治者ノ區別ヲ混同セン平安ソ能ク我國體ヲ論スルコトヲ得ンヤ夫ノ人民ハ統治權ヲ有スト云ヒ又ハ國權ハ君主ト臣民トニ在リト云フカ如キ議論ハ固ヨリ我國體ト相異ナルヲ以テ我國法ヲ論スルニ當テハ須ラフ這般ノ觀念ヲ去ラサル可カラス歐洲ノ國法論ト我國法論ト體裁ヲ異ニスルハ實ニ茲ニ存スト云フ可シ

次ニ國ヲ以テ人民ノ團體ナリト爲スハ非ナリ固ヨリ人民ノ團體ナクハ國ヲ成スコトナシト雖モ而カモ國家テフ思想ノ中ニハ一定ノ領土アリトフコトヲ意味



セリ世ノ國法論政治論ヲ唱フルモノ往々ニシテ國テフ思想ヲ以テ會社又ハ組合ノ如クニ思惟シ人ト人トノ團體ナリト立論スルノ弊アリ蓋シ國ノ領土ハ國權ノ完全ニ行ハル、所ニシテ人民ハ其版圖内ニ居住スルニ於テ完全ナル保護ヲ受ルモノトス故ニ國ヲ愛スルノ念ハ嘗ニ同族相親ノ念ノミナラズ尙ホ一定ノ土地ヲ以テ自己ノ安宅ト爲スノ思想ニ伴フモノト云フ可シ之レ余輩カ統治ノ客體ヲ別チテ國土ト人民トノ二ト爲シ單ニ人民ノミト爲サ、ル所以ナリ

國土

第一章 國土

國土ハ主權ノ完全ニ行ハル、區域ナリ主權カ國土ニ對スルチ名ケテ領土權ト云フ領土權ハ内ニ在リテハ其境内ニ在ルモノチ國權ノ下ニ服從セシムルノ力ニシテ外ニ對シテハ外國ノ權力ノ行ハル、チ排斥スルノ力ナリ尙ホ詳言スレハ領土權ハ内ニ對シテハ臣民タルト外國人タルトチ間ハス其土地ニ在ルモノチ我國權ノ服從者ト爲スノ効果チ生シ外ニ對シテハ我國土ノ上ニハ國權以外ノ權力ノ行ハル、コトチ許サ、ルノ効果チ生ス即チ外ニ對シテハ消極的ノ權力タリ内ニ對シテハ積極的ノ權力タリ之チ領土權ノ本質ト爲ス

領土權ハ所有權ニ非サルナリ所有權ハ法律ニ由リテ發生シ其保護ニ由リテ行使セラル即チ法律ノ範圍内ニ於テ物ヲ自由ニ處分スルノ力ナリ之ニ反シテ領土權ハ其土地ニアル人ニ對シテ絶對的ニ凡テノ權力チ排斥スル力ニシテ法律ニ由リテ存在セス法律ヲ創制スルノ力ナリ故ニ完全ナル領土權ト完全ナル所有權トハ兩立シ各効用ヲ全フスルモノナリトス然ルニ從來ノ學者ハ領土權ト所有權トチ混同シタルチ以テ人民ニ所有權ヲ付與スルトキハ領土權チ毀損スルカ如クニ看做シ完全ナル所有權ハ完全ナル領土權ト兩立セスト説明シタルモノ多シ又外國人ニ所有權ヲ許與スルハ國權チ毀損スルモノナリト論述シタルモノ有リ然レトモ所有權ハ物チ經濟的ニ處分スル方法ニシテ領土權ハ權力ノ關係ニシテ其土地ニ在ル人ニ對シテ權力ヲ適用スル方法ナルチ以テ二者其性質チ異ニシ相兩立シテ互ニ相妨クルコトナシ

帝國憲法ハ帝國ノ領土チ地理的ニ列記セス其版圖ハ事實ノ問題ニシテ法律ノ問題ニ非ス即チ如何ナル地方カ帝國ノ領土ナルヤハ憲法ノ解釋ニ非スシテ事實ノ立證タリ但シ國土ト云フトキハ帝國ノ全權カ完全ニ行ハル、所チ云フ故ニ國土



ト國土ニ非サル區別ハ權力ノ行ハル、ト否トニヨリテ論セサル可カラス又國法ノ完全ナル働作ハ帝國ノ範圍内ニ止マレリ從ツテ外國ニ於テ我國權行ハレシカ特ニ外國ニ於テ認許スルニ由ルモノニシテ又之レト反對ニ外國ノ權力ガ我領土ニ行ハル、コトアリトセハ又我國權カ之ヲ特許シタルニ由ルナリ即チ國法ノ推測ハ我領土ニ外國ノ權力ハ行ハレスト云フニ在ルヲ以テ特別ノ條約又ハ特許ニ由リテ始メテ之ヲ行フコトヲ得可シ斯ノ如ク國土ハ我國法ノ完全ニ行ハル、所ナルヲ以テ人民カ完全ナル權利ヲ行フハ國內ニ限ルモノナリ若シ帝國ノ範圍ヲ離ル、トキハ人民ハ完全ナル保護ヲ享ルコトヲ得サルナリ即チ臣民タルノ關係ハ之ヲ失ハスト雖モ完全ナル保護ト完全ナル自由トハ之ヲ享有スルコトヲ得サルナリ之ニ反シテ外國人ハ我國土ニ在ルトキハ我國權ニ從フモノニシテ國土ニ存在スルテフ條件ニ依リテ我國權ノ服從者ナリトス故ニ國土ヲ離ル、トキハ我國法ノ制裁ヲ免ル、モノトス換言セハ外國人カ我國權ニ服從スルハ領土權ノ効果ト云フ可シ

國ノ領土ハ或ハ之ヲ外國ニ讓渡シ又ハ之ヲ他國ヨリ獲得スルコトアル可シ然レ

臣民

トモ領土ノ得喪ハ國權ノ得喪ニ非ス國權ハ之ヲ賣買讓與スルコトヲ得ス國權ハ之ヲ分割スルコトヲ得ス國ノ領土ノ分割讓與ト國權ノ讓與トヲ混同ス可カラサルナリ歐洲ノ憲法論ニ國土ハ賣買讓與ス可カラストノ原則ヲ貴重ナルモノトシテ説明シ又ハ憲法ニ掲ケタルモノ多シ然レトモ之レ國ノ領地ヲ分ツ可カラス又他國ニ讓ルコト能ハスト云フニアラス從來ノ政治家及學者カ國權ノ讓與ト國土ノ讓與トヲ混同シ同一視シタルノ誤謬ナリ國ノ境界ハ之ヲ變更スル場合アル可シ國土ノ權ハ他人ニ移付シ得可キモノニ非サルナリ

第三章 臣民

(臣民タル資格ハ絶對無限ニ統治權ニ服從スルニアリ)完全ナル服從ト完全ナル保護トハ臣民タルノ資格ニ隨伴スルモノナリ以下之レカ意義ヲ解説セン

第一 臣民ハ絶對ニ統治權ニ服從スルモノナリ

所謂絶對ノ服從トハ或ル原因ニ依リテ支配セラル、モノニアラス又或ル條件ニ依リテ服從義務ノ發生セルモノニアラス全ク權力ノ直接ノ適用タルコトヲ意味スルモノナリ故ニ臣民ノ服從ハ臣民カ約束ニ依リ自己ノ權利ヲ拋棄シテ國權ニ



服従スルモノナリトナスカ如キハ誤謬ノ最モ甚シキモノナリ通常ノ契約ニヨリテ生スル服従ノ關係ハ統治權ノ作用ト全然區別アルコトハ既ニ説明セリ國家ト一己人トノ契約ニ依リテ臣民タルニアラス服従ハ決シテ約束ニ依テ生スルモノニアラサルナリ或ハ又臣民ハ法律ニ服従スト解釋スル者アリト雖モ誤解ヲ招クノ恐アルヲ以テ一言セサル可ラス抑モ法律ハ服従ノ原因ニアラス臣民ナルカ故ニ法律ニ服従スルニアラサルナリ國權ニ服従スルカ故ニ國權ニ依リテ發セラレタル法律ニ服従スルモノナリ服従ハ法律ニ依リテ生スルモノニアラスシテ法律ハ服従ノ程度ト形式トヲ定ムルモノナリ法律ニ拘ラス完全ニ絶對ニ服従者タルノ地位先ツ存在シ而カル後始メテ法律カ臣民ヲ羈束スルノ効力ヲ有スルニ至ル法律ニ服従スルカ故ニ臣民ナリト解スルカ如キハ原因ト効果トヲ轉倒シタルノ謬ナリト謂ハサル可ラス又彼ノ人民ハ法律ニ服従スレトモ法律以外ノ權力ニ服従セスト謂ヒ又ハ立憲政體ノ人民ハ法律ヲ奴隸タルコトヲ甘ニスレトモ君主ノ奴隸タルコトヲ甘ンセスト稱道スルカ如キ歐米ノ政治書ニ掲ケタル説明ハ皆是レ政治ノ趨勢ヲ論スルノ語タルニ過キス安シク之ヲ以テ國法ノ解釋ト爲スコト

ヲ得ンヤ

第二 臣民ハ無限ニ國權ニ服従ス

無限ノ服従トハ服従ノ分量ト形式トヲ豫定セラレサルノ意ナリ服従ノ分量ニシテ豫メ制限セラレタルモノナラン乎臣民ニアラサルナリ臣民タル所以ハ完全ニ國權ノ下ニ服従スルニアリ抑モ國家カ斯カル無限ノ權力ヲ如何ニ使用スル乎ハ實ニ立法政畧ノ問題ニシテ若シ暴虐ナル政府ナラシメハ之ヲ臣民ノ不利益ニ使用ス可キモ現今國家ノ職務トスル所ハ臣民ノ保護ニアルヲ以テ臣民ノ服従ノ程度ハ法律ニ依リテ之ヲ定ム可キモノトス然トモ之ヲ以テ臣民タル服従義務ノ限界ト爲ス可ラス何トナレハ國權ハ法律ヲ改正スルノ力ヲ有スルカ故ニ法律ノ改正ニ依リテ新ナル義務ヲ負擔セシメ新ナル制限ヲ爲スコトヲ得レハナリ臣民ノ本來ノ服従ノ程度ハ豫メ限定スル能ハサルモノナルコト斯ノ如ク然リ惟現行法ノ範圍内ニ於テハ其分量ト形式トノ定マレルノミ故ニ現行法ヲ廢止スト雖モ同時ニ臣民タル資格ノ解除セラル、モノニアラサルハ予ノ言ヲ俟タス立法ノ改正ニ抵抗スル能ハサル所ノモノハ則チ是レ臣民服従ノ無限ナルコトヲ證明スル所



以ナリトス

臣民本來ノ性質ハ以上略述シタル所ニヨリテ明カナル可シト雖モ歐洲ノ國法學者ニシテ人民ヲ以テ主權者ナリト主唱スルモノ往々之レアリ而シテ其說ノ所遂ニ人民ハ主權者ト被治者トヲ兼併セル曖昧ナル性質ヲ有スルノ論結ニ歸シ或ハ以テ共和政體ノ法理トナスヲ得ルコトアルモ未ダ以テ君主政體ニ適用スルヲ得ス君主ハ主權者タリ臣民ハ完全ナル服從者タルコト我カ國體ノ萬世不易動ス可ラサルノ本質ナリ

法律ノ完全ナル保護ハ臣民タル資格ニ隨伴スル所ノモノナリ外國人ニシテ亦法律ノ恩惠ニ浴スルコトアルハ我帝國ノ版圖内ニ在ルノ故ノミ臣民タル資格ニ伴フ所ノ特權ハ決シテ彼等ノ享有シ得サルモノタリ法律ノ完全ナル保護ハ實ニ完全ナル服從ニ伴フモノト謂ハサル可ラス

由是觀之被治者ヲ指シテ臣民ト稱スルハ實ニ適當ノ用語タリ帝國憲法カ佛獨等ノ例ニ依ルコトナク人民國民又ハ日本人等ノ名稱ヲ用サズ特ニ臣民ナル用語ヲ以テシタルハ國法論ノ歴史ニ關係アル文法ニシテ決シテ偶然ナラサルナリ夫レ

佛蘭西ノ革命以來一時歐洲ヲ聳動シタル政治論ハ立憲政體ノ下ニ於テ國民アレトモ臣民ナシ吾人ハ國民ナレトモ臣民ニアラス國ノ一分子タルモ主權者ノ奴隸ニアラスト云フニアリテ歐洲諸國ノ憲法ハ英國ヲ除クノ外ミナ佛國憲法ノ遺風ヲ仰キ臣民ト謂ハスシテ國民又ハ佛蘭人白耳義人ト云フカ如ク特ニ服從者タル地位ヲ表スル所ノ名稱ヲ忌避セリ當時以テ立憲政體ノ精神ニ伴フモノナリト思量シタリ然レトモ輒近ノ學說ニ於テハ惟リ君主政體ノミナラス國體ノ如何ヲ問ハス其國民ト謂ヒ臣民ト稱スルモ共ニ完全ナル服從者タル可キヲ以テ國法上一己人ノ主權ニ對スルノ地位タルコトヲ明ニスルニ至リタリ

#### 第四章 臣民ノ權利

國家ト臣民トノ關係ハ權力ト服從トノ關係ナルヲ以テ臣民ハ國權ニ對抗シ得ヘキ權力アルコトナシ故ニ權利ナル文字ヲ解シテ權力若クハ威力ト爲ストキハ國法上臣民ハ權利ナシト論セサル可ラス若シ之ヲ解シテ法律ノ保護スル利益ナリト爲ストキハ臣民ハ法律ニ依リテ權利ヲ有スルモノナリト謂フヲ得可シ予輩ハ後者ノ解釋ニ依テ本章ヲ講述セントス

利臣民ノ權



夫レ人ハ服従者ナリト云フトキハ人ト物トノ間ニ區別ナキカ如シ二者ノ區別アル所以ハ法律カ人ニ人權ヲ認メテ權能ヲ附與スルニアリ法律カ之ヲ與フト云フハ則チ國家カ之ヲ與フルナリ抑モ人ノ自由意思ヲ主張スルコトヲ得ルノ權能ハ其人ノ人格アリ人格ハ國法ニ依リテ生スル如ク權利ハ人格ヨリ生シ權利アレハ必ス人格アリ而シテ人格ハ國權ニ依リテ生スルモノナレハ則チ權利ハ國權ニ依リテ生スルモノナリト謂ハサル可ラス

人ノ利益ハ概シテ身軀及ヒ財産ヲ目的トス所謂身體權トハ廣シ人ノ身分名譽軀軀等ニ關シ人ノ人タル本質ニ伴フノ利益ヲ總稱ス又所謂財産トハ外物ヲ自己ノ用ニ供スルノ狀態ヨリ成立スル所ノ利益ナリ國權ノ職務トスル所ハ概シテ身體及ヒ財産ノ保護ニ在リ國權ハ二様ノ方法ヲ以テ之ヲ保護ス第一ハ國家自身カ積極的ニ之ヲ保護スルノ行爲ヲ行フモノニシテ行政ノ法ヲ執行スルノ方ニ依リテ此目的ヲ達ス例ヘハ警察官カ治安ヲ維持シ平和ヲ保全スル等はレナリ第二ノ形式ハ一己人ニ自己ノ利益ヲ主張スルノ能力ヲ與ヘ自己ノ意思ヲ以テ之ヲ主張セシメ法律ハ受ケ方ニテ之ヲ保護ス即チ人ニ權利ヲ附與スルノ行爲ニシテ人ニ權利

利ヲ附與スルハ其人ヲシテ自己ノ意思ニ依リ自己ノ利益ヲ計畫スルノ方便ヲ與フルモノナリ此目的ハ私法ヲ制定シ裁判ノ制度ヲ整フルニ依リテ達セラル、モ成ト本主ノ利益ヲ保護スルニ在リ國權ノ職務トスル所ハ概シテ身體及ヒ財産ノ保護ニ在リ國權ハ二様ノ方法ヲ以テ之ヲ保護ス第一ハ國家自身カ積極的ニ之ヲ保護スルノ行爲ヲ行フモノニシテ行政ノ法ヲ執行スルノ方ニ依リテ此目的ヲ達ス例ヘハ警察官カ治安ヲ維持シ平和ヲ保全スル等はレナリ第二ノ形式ハ一己人ニ自己ノ利益ヲ主張スルノ能力ヲ與ヘ自己ノ意思ヲ以テ之ヲ主張セシメ法律ハ受ケ方ニテ之ヲ保護ス即チ人ニ權利ヲ附與スルノ行爲ニシテ人ニ權利ヲ附與スルハ其人ヲシテ自己ノ意思ニ依リ自己ノ利益ヲ計畫スルノ方便ヲ與フルモノナリ此目的ハ私法ヲ制定シ裁判ノ制度ヲ整フルニ依リテ達セラル、モ成ト本主ノ利益ヲ保護スルニ在リ國權ノ職務トスル所ハ概シテ身體及ヒ財産ノ保護ニ在リ國權ハ二様ノ方法ヲ以テ之ヲ保護ス第一ハ國家自身カ積極的ニ之ヲ保護スルノ行爲ヲ行フモノニシテ行政ノ法ヲ執行スルノ方ニ依リテ此目的ヲ達ス例ヘハ警察官カ治安ヲ維持シ平和ヲ保全スル等はレナリ第二ノ形式ハ一己人ニ自己ノ利益ヲ主張スルノ能力ヲ與ヘ自己ノ意思ヲ以テ之ヲ主張セシメ法律ハ受ケ方ニテ之ヲ保護ス即チ人ニ權利ヲ附與スルノ行爲ニシテ人ニ權利ヲ附與スルハ其人ヲシテ自己ノ意思ニ依リ自己ノ利益ヲ計畫スルノ方便ヲ與フルモノナリ此目的ハ私法ヲ制定シ裁判ノ制度ヲ整フルニ依リテ達セラル、モ成ト本主ノ利益ヲ保護スルニ在リ國權ノ職務トスル所ハ概シテ身體及ヒ財産ノ保護ニ在リ國權ハ二様ノ方法ヲ以テ之ヲ保護ス第一ハ國家自身カ積極的ニ之ヲ保護スルノ行爲ヲ行フモノニシテ行政ノ法ヲ執行スルノ方ニ依リテ此目的ヲ達ス例ヘハ警察官カ治安ヲ維持シ平和ヲ保全スル等はレナリ第二ノ形式ハ一己人ニ自己ノ利益ヲ主張スルノ能力ヲ與ヘ自己ノ意思ヲ以テ之ヲ主張セシメ法律ハ受ケ方ニテ之ヲ保護ス即チ人ニ權利ヲ附與スルノ行爲ニシテ人ニ權利

臣民ノ權利トハ以上説述シタル意義ニ外ナラス或ハ之ヲ誤解シテ臣民ノ權利ハ主權者ニ對抗スル臣民ノ權力ナリト爲スカ如キハ惟リ法律上ノ觀念トシテ不可ナルハミナラス政治ノ議論トシテ亦許容ス可ラサル所タリ凡ソ平等ノ地位ニ立ツモノハ互ニ自己ノ意思ヲ以テ他人ノ意思ヲ制限スルコトヲ得ル人ト人トノ間ニ同等ノ權利ヲ有スト云フハ其當事者ノ上ニ當事者雙方ヲ保護スル國權ノ存在スルカ故ナリ然レトモ國家ト臣民トハ本來同等ノモノニアラス若シ同等ナリトセム則チ國家ニアラス亦臣民ニアラサルナリ其間平等ノ權利アリト云フハ到底考慮能ハサル所タリ臣民カ國家ニ對シテ國權ヲ羈束スルノ權利アリト云フカ如キハ誤謬モ亦太甚シキモノト謂ハサル可ラス抑モ國家カ臣民ノ利益ヲ爲メニ當事者タルノ意思ヲ以テ主張スルコトヲ許ス利益ノ外國家ニ對スル臣民ノ權利ナルモノ曾テ存スルコトナキナリ依是觀之入ノ權利ハ天賦ノモノニアラス法



夫レ人ハ服從者ナリト云フトキハ人ト物トノ間ニ區別ナキカ如シ二者ノ區別アル所以ハ法律カ人ニ人權ヲ認メテ權能ヲ附與スルニアリ法律カ之ヲ與フト云フハ則チ國家カ之ヲ與フルナリ抑モ人ノ自由意思ヲ主張スルコトヲ得ルノ權能ハ其人ノ人格アリ而シテ人格ハ國權ニ依リテ生ス如シ權利ハ人格ヨリ生シ權利アレハ必ズ人格アリ而シテ人格ハ國權ニ依リテ生スルモノナレハ則チ權利ハ國權ニ依リテ生スルモノナリト謂ハサル可ラス

八ノ利益ハ概シテ身軀及ヒ財産ヲ目的トス所謂身體權トハ廣シ人ノ身分名譽軀軀等ニ關シ人ノ人タル本質ニ伴フノ利益ヲ總稱ス又所謂財產トハ外物ヲ自己ノ用ニ供スルノ狀體ヨリ成立スル所ノ利益ナリ國權ノ職務トスル所ハ概シテ身體及ヒ財産ノ保護ニ在リ國權ハ二様ノ方法ヲ以テ之ヲ保護ス第一ハ國家自身カ積極的ニ之ヲ保護スルノ行爲ヲ行フモノニシテ行政ノ法ヲ執行スルノ方ニ依リテ此目的ヲ達ス例ヘハ警察官カ治安ヲ維持シ平和ヲ保全スル等是レナリ第二ノ形式ハ一己人ニ自己ノ利益ヲ主張スルノ能力ヲ與ヘ自己ノ意思ヲ以テ之ヲ主張セシメ法律ハ受ケ方ニテ之ヲ保護ス即チ人ニ權利ヲ附與スルノ行爲ニシテ人ニ權

利ヲ附與スルハ其人ヲ自己ノ意思ニ依リ自己ノ利益ヲ計畫スルノ方便ヲ與ナルモノナリ此目的ハ私法ヲ制定シ裁判ノ制度ヲ整フルニ依リテ達セラルモ又トモ主權者ニ對抗スル臣民ノ權力ナリト爲スカ如キハ惟リ法律上ノ觀念トシテ不可ナルハミナラス政治ノ議論トシテ亦許容ス可ラサル所ナリ凡ソ平等ノ地位ニ立ツモノハ互ニ自己ノ意思ヲ以テ他人ノ意思ヲ制限スルコトヲ得ル人ト人トノ間ニ同等ノ權利ヲ有スト云フハ其當事者ノ上ニ當事者雙方ヲ保護スル國權ノ存在スルカ故ナリ然レトモ國家ト臣民トハ本來同等ノモノニアラス若シ同等ナリトセム則チ國家ニアラス亦臣民ニアラサルナリ其間平等ノ權利アリト云フハ到底考慮シ能ハサル所ナリ臣民カ國家ニ對シテ國權ヲ縛束スルノ權利アリト云フカ如キハ誤謬モ亦太甚シキモノト謂ハサル可ラス抑モ國家カ臣民ノ利益ヲ爲メニ當事者タルノ意思ヲ以テ主張スルコトヲ許ス利益ノ外國家ニ對スル臣民ノ權利ナルモノ曾テ存スルコトナキナリ依是觀之入ノ權利ハ天賦ノモノニアラス法



統治ノ機關  
緒言

律ニ依リテ始テ之ヲ享有スルモノニシテ決シテ國權ト相對峙シテ反抗スルノ性質アルモノニアラス同等ノ各己人ノ間ニ行ハルモノナリ然リ而シテ人ノ人格ニ伴フ所ノ權利ヲ公權ト稱シ人ノ財產交通ニ伴フ所ノ權利ヲ私權ト稱ス公權私權ノ區別ハ學者間各其解釋ヲ異ニスレトモ權利ノ本質ハ國權ノ反對力ニアラサルコトナリ一般立論ノ基礎トナサ、ル可ラス

第四編 統治ノ機關

第一章 緒言

統治ノ機關トハ主權者カ國ヲ統治スル機關ト云フノ義モシテ治者ト被治者トノ間ニ於テ統治權ノ行ハル、通路タリ余輩ハ我憲法ノ主旨ニ基キ特ニ此編ヲ設ケ統治者ト其機關トノ區別ヲ正確ナラシム、歐、國法論ニ於テ往々此分界ヲ誤リ或ハ君主ヲ國會裁判所等ノ機關ト同列ニ置キ之ヲ總稱シテ統治者ナリト云ヒ又ハ君主ヲモ統治者ノ機關ナリト云フモノ有リ然レトモ之レ我國體ニ於テ言フ可カラサル所ニシテ我國ニ於テハ主權ハ君主ニ在リ國會政府裁判所ヲ如キハ主權者即チ治者ノ地位ニ在ラス又被治者ニモ非ズ統治者ハ機關ナリ我國法ニ於テ

ハ須テ此名分ヲ明カニセザル可カラズ、國權ハ我國民人ノ共ニ有ルモノニシテ既ニ稱シテ統治ノ機關ト云フ其獨立ノ目的ヲ有セズ獨立ノ利益ヲ有セズ治者ハ機關ナルニ止マルコト從ツテ分明ナラシメ統治ノ機關ハ自己ノ權利ヲ有スルハ非ズ國家ノ權利ヲ行フナリ自己ノ目的ヲ達スル爲メニ勅作スルハ非ズ國家ノ目的ヲ達スル爲メニ勅作スルナリ即チ機關ハ人格ナシ權利ハ主體ニ非ズ從フ業之ヲ法人ト稱ス可カラサルナリ

統治ノ機關ヲ別ナテ二ト爲スコトヲ得、ハ憲法上ノ機關ナリ、ハ君主大權ヲ機關ナリ憲法上ノ機關トハ憲法ニ依リテ設ケラレ憲法ノ改正ニ非サレバ之ヲ廢止ス可カラサルモノナリ云フ例、ハ國會裁判所ノ如キ是レハ君主大權上ノ機關トハ所謂行政ノ官府ニシテ君主大權ヲ行フ爲メニ勅令ヲ以テ制定シ又ハ變更シ君主ハ官制權ニ依リテ成立スルモノトス今憲法ヲ講スルノ學科ニ於テハ憲法上ノ機關ニ付キテ説明ス可シ、  
帝國議會第二裁判所第三政府是レナリ以下順次此三者ニ付キテ説述ス可シ



第一章 帝國議會ノ國法上ノ性質

帝國議會ハ君主カ統治權ヲ行フ機關ニ屬シ之ヲ我憲法ノ主旨トシテ此簡短ナル說明中ヨリ外國ノ實例若クハ理論ト異ナル精神アルコトヲ含蓄ス請フ試ニ之ヲ略説セシメ置キ爾後ニ於テハ其ノ詳細ニ關シテハ專科ニ對シテハ其ノ詳述ス

第一 議會ハ統治ノ機關ナリト云フニキリ主權ノ全部若クハ一部ヲ占有スルモノトシテ非サルコト明カニ英國憲法ノ學者ヲ立憲政府ハ君民同治ト稱道ス君主ト國會トカ國權ヲ分有スルカ如クニ說明セ憲法ノ果シテ英國ノ憲法ト見ユ否ヤ別論ヲシテ少クモ我憲法ノ法理ニ非ズルナリ議會ハ君主ト對等ノ地位ヲ在ラズ君主治國ノ機關ナリ

第二 議會ハ統治ノ機關ナリト云フドキハ自ラ議會ハ自主獨立表團體ニ非ズルモノトシテ意味ス國會ハ自治團體ニ非ズ自己ノ目的ヲ達スル爲メニ存在スルニ非ズ法律ニ依リ國家ノ職務ヲ執行スルモノニ在リ古歐洲ノ國會ハ或ハ社團法人ニシテ性質ヲ有シタルモノト有リ之ヲ公法ト私法トナリ混同ス然レ時代ニ於テ稀ニ見ユハ惟所ニ於テ歐洲ニ於テモ現今ニ在リテハ國會ハ社團法人ノ性質ヲ有ストノコト

第三 議會ハ自主獨立ニ非ズルヲ以テ自己ノ權利ヲ有スルモノニ非ズ議會ハ權利ヲ有セス只ク職權ヲ有シ得ルニ止ル然レトモ職權ニ云フコトヨリ看レハ職務ニシテ自己ノ目的ヲ爲メ有シタルモノニ非ズルハ之ヲ拋棄スルコトヲ得ス宛テ裁判所カ職權ヲ有スルト異ナルコトナシ而シテ議會ハ憲法ニ依リテ職權若クハ職務ヲ有スルヲ以テ憲法ノ改正ニ依リテ非サレハ自ラ決議シテ其權利ヲ擴張シ若クハ縮少スルコトヲ得ス自己ノ權限ヲ自ラ伸縮シ得ルノ能力アルト否トハ主權者ト主權者ト非サレズトシテ區別ヲ看ルコトヲ得ルハ其ノ別ニ在リ

我議會ハ素ヨリ自ラ權限ヲ伸縮スルノ權限ヲ英國ノ國會ニ對シテ此權限アリ

從ツテ英國ニ於テ國會ハ主權ヲ有ストク議會アルハ其理ハ非サルナリ

第四 議會ハ官府ノ性質ヲ有シ官府ト云フトキハ國法ニ依リテ或ハ職分ヲ行フ爲メニ設ケラレタルモノニシテ自主獨立ノ能力ヲ有スルモノニ非サルコトヲ以意味ス全體ニ爲メニ其一部カ動作ヲ爲ス場合官能會法ニ其動作ヲ爲ス主クハ官府ト稱ス議會ハ即チ一ノ官府ニシテ其有スル職權ハ全體ノ目的ノ爲メニ



司所ノ働作ヲ... 以上ノ説明ハ我憲法ノ議會ヲ論スルモ... 主權者ナリト云ヒ或ハ國民ノ代表者ト云ヒ其他種々ノ見解ヲ探ルモノアル... 可ニ而シテ各國ノ國體ニ於テ各異ナル可キモ依リ以テ說明ヲ以テ... 國會議ヲ論下ス可カラズ然レトモ國會ハ君主ナリトノ說ハ勿論國民ノ代表者ナ... 或ハ國民ヲ代表スルノ主旨ニ相違ナカル可シ然レトモ法理論トシテ代表說ヲ唱... フルハ不可ナシ國民ト云フモ只々各己人ノ集合セル漠然タル名稱ニシテ國民... ル一ハ法人體アルニ非ス去レハ國民ノ權利ト云フモ臣民各己人ノ權利トシテ國... 民其ルモ權利アルコト共ニ從フテ之ヲ代表スル云フ法理ニ於テ想像ヲ得... ラレサ所ナリ代表者ト代表セラル者ト共ニ人格ナカル可カラズ議會... 既ニ人格ナシ國民亦人格ナシ安ソ二者ノ間ニ代理ノ關係ヲ認了スルヲ得シ只... 國民多數ノ希望ヲ實際表顯セラル得シ政治止リ議論ヲ止メ過時スル知... ル可シ但中世歐洲ニ於テ國會カ代表ノ性質ヲ有シタルコト有リ此時代ニ於テハ

帝國議會  
ノ組織及  
權限

國會ハ國民全體ノ代表者ト非ス... 體ヲ爲シテ其代表人ヲ出シ平民亦各市町村ノ團體ヨリ代表人ヲ出シタリ斯ノ... 如キ制度ニ於テハ貴族及平民各一ノ自治體ヲ爲スヲ以テ國會ト代表ノ關係ヲ惹... 起シ得ニキハ當然ナリ從テ代表說ハ中古ノ國會ニハ適當シタリ然レトモ現今... ノ撰擧法ハ唯々國民全體ヨリ撰擧スル云フニ在リテ各他方若シハ團體ノ代表者... ヲ撰出ストコ云フニ非サルヲ以テ今日ニ於テハ代表說ハ根據ナキモノト云フ可... 第三章 帝國議會ノ組織及權限... 議會ハ合議體ノ官對ニシテ法人タル團體ニ非ス故ニ其組織ハ國法ヲ以テ之ヲ制... 定シ組合員ノ合意ニ依リテ定メラルモノニ非ス我議會ハ憲法上ノ機關ナリ即チ憲... 法ヲ以テ制定セラレ之レニヨリテ其組織ハ定メラルハナリ國會ハ組織ニ二院ハ... 制度ト一院ノ制度トアリ又歐洲ノ歴史ニ依レハ三院ノ制度モ有リタリ我國法ハ... 多數立憲政體ノ例ニ倣ヒテ二院ノ制度ヲ採レリ即チ議會ハ二局部ヨリ成立スル... モノトス而シテ斯ク二局部ニ分テタルハ敢テ職權ヲ分配スルハ精神ニ非ス凡テ



議會ノ職權ハ議會全體ニ存シ各局部ニ存セス之ヲ分クニ單ニ事務ノ便宜ニ止マ  
 リ各局部獨立シテ協賛權ヲ有スルニ非ス故ニ二局部同時ニ成立シテ事務ヲ執ル  
 ニ非サレバ議會ノ行爲タルヲ得サルナリ

議會組織ノ原素ハ各議員ニ在リ而シテ如何ナル人ヲ以テ議員ト爲ス可キヤ其法  
 律又ハ勅令ノ定ムル所トス歐洲諸國ノ憲法ニ於テ貴族院及衆議院ノ組織ハ特別ノ法令トシ  
 スルモノ多シ然レトモ我國法ニ於テハ貴族院及衆議院ノ組織ハ特別ノ法令トシ  
 テ規定セラレタルヲ以テ此等ノ法令ハ憲法ノ改正タルコトナクシテ改正スルコ  
 トヲ得ヘキモノナリ貴族院トハ一ハ選舉ニ依リ一ハ法律ノ結果又ハ勅  
 選ニ出ツル議員タリ然レトモ之レ只各議員ヲ撰出スル方法ノ區別ニシテ其議員  
 タルノ資格ニ區別アルコトナシ又貴族院モ衆議院モ共ニ同等ナル局部ニシテ職  
 權ヲ異ニスルコトナキナ原則トス

第一 貴族院ノ組織ハ貴族院令ノ定ムル所ニ由ル今之ヲ案スルニ三種ノ原素ヨ  
 リ成立ス即チ第一貴族第二勅選議員第三地方納稅者ヨリ撰出スル者是レガリ  
 此等ノ細目ハ同院令ニ付キテ之ヲ看ル可シ此等ノ三種ノ議員ヲ網羅スルハ政

治上ノ意義ヨリ社會ノ階級ヲ代表セシメ若クハ國家ニ功勞アリ又ハ學  
 識アル者ヲシテ國事ニ參與セシメ其ノ主旨ニ在ル可シ唯モ國法上ニ於テハ  
 各種議員ノ權能ヨリ區別アルコトナシ若クハ強ヒテ代表者ナラシム云ハ各階級若  
 クハ各地方ヲ代表スルモノニ非スニテ全國ノ利害ヲ代表スル責任ヲ有スルモ  
 ノト看ル可シ歐洲ノ例ニ依レハ貴族院ハ多クハ貴族ヨリ成立ス勅選者又ハ納  
 稅者ヲ列席セシメルハ蓋シプロイセンノ國法ニ倣ヒタルモノナラン

第二 衆議院ノ組織ハ選舉法ニ依リ選舉セラレタル議員ヨリ成立ル選舉法ノ細目  
 ハ茲ニ說明セテ茲ニハ選舉ノ主旨ヲ闡明スルニ止ム可シ

選舉ハ法律ノ定ムル手續ヲ人ヲ指名スル方法ヲシテ代表ノ關係ヲ惹起ス  
 ル法律行爲ニ非ス即チ法律カ一般ノ區ノ代人ヲ指名スル自由ヲ與ヘタルモ  
 ノニシテ選舉人ノ權利ヲ代表スル代理人ヲ指示スル權ヲ與ヘタルニ非ス選舉  
 人ト被選人ト之間ニ法律上ノ關係アリトシテ夫ヲ投票スルモノハ國家ニ對  
 シテ爲ス所ノ行爲トシテ被選人ニ對スル行爲トシテ非ス又夫ノ當選ナルモノハ選  
 舉人ニ對シテ承諾スルコト云フニ非スシテ法律上ノ結果ト依リテ其人ハ議員トシ



可キ地位ニ在リテハ云々云々ヲ選舉シ以テ代表ニ指名シ又ハ之ヲ以テ撰  
 舉人ヲ被選舉人トシテ關係ヲ惹起スルヲノ説ニ法理論トシテ若モ根據スルニ  
 上ナシ唯々政治止又ハ事實上於於テ被選舉人カ撰舉人ノ意思ヲ迎フルカ如ク  
 傾向アルニシテ夫ノ徵兵令ニ依リテ兵籍ヲ入ルカ如何レモ皆テ法律ニ結果ヲ  
 リ一ハ人好シク其職ニ就カシコトヲ欲シ一ハ人忌ミテ成ル可ク避クコトヲ  
 欲スルヲ以テ一ハ權利又ハ自由ト稱シ他ハ義務ト稱スルモ何レモ法律ニ結果  
 ニシテ人民ヲ負擔スルハ兵卒タルト義員タルト異ナルコトナシ  
 議會ノ職權ニ憲法ニ依テ決定マレ議會ニ統治ノ機關ナリトノ説明ヲ了解セシ其  
 職權ノ如何ホル性質ノモナルヤハ自ラ明白ナル可シ凡ソ法人ノ團體ハ法律カ  
 認許スル目的ノ範圍ニ於テ自由ニ行爲機能ナルコトヲ本則トス故ニ法律ハ法人  
 ノ能力ヲ制限スルニシテ一々其爲シ得ルキコトヲ明言スルモ一々非ス議會  
 ハ之ニ反シ獨立ノ目的ヲ有スルモノニ非ス從テ法人ノ團體ニ非ス是ヲ以テ憲  
 法ハ議會ヲ爲ス可クササルコトヲ禁止セシテ只ク爲ス可キ事項ヲ記載スルニ  
 止マレリ是故ニ議會ハ明カニ憲法カ認許シタルコトヲ爲シ得ルニ止マリ憲法

反對然明文ナキモ口實上ニテ其職權ヲ擴張スルコトヲ得サルナリ國會ノ職權ハ  
 法律ニ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得テ憲法ニ依テ之ヲ制定セラレタルモノナルヲ以  
 テ若シ法律ヲ以テ之ヲ伸縮シタルトキハ憲法違反トナシ又國會ハ自ラ自己  
 ノ權限ヲ伸縮スルコトヲ得ス之レ法人ノ團體ニ非サル結果ナリ凡ソ人ハ自ラ權  
 利ヲ拋棄スルコトヲ得ヘシ然レトモ國會ハ法人ニ非ス從テ自己ノ職權ヲ拋棄  
 スルコトヲ得サルナリ又主權者ハ自由ニ自己ノ權限ヲ左右スルコトヲ得ルシ然  
 レトモ國會ハ主權者ニ非ス從テ自ラ自己ノ權限ヲ左右スルコトヲ得サルナリ  
 此等ハ皆テ國會ニ統治ノ機關ニシテ法人ニアラス又ハ主權者ニ非サルノ原則ヨ  
 リ當然湧起スル所ヲ結果ナリ議會ハ其職權ヲ行フノ方法ハ常ニ君主以テ政ヲ補翼スル  
 議會ハ命令權ヲ有セス又處分權ヲ有セス之レ政府ト議會ト性質ヲ異ニスル要點  
 ナリ政府ハ國家ノ名ニ於テ人民ニ臨ミテ命令スル機關ナリ國會ハ人民ニ對シテ  
 關係ヲ有シ得ル機關ニ非ス然レテ其職權ヲ行フノ方法ハ常ニ君主以テ政ヲ補翼スル  
 又點ニ在リ政府ハ下ニ向ヒテ命令權ヲ行フ機關ナリ國會ハ常ニ上ニ向ヒテ協贊  
 又點ニ止ル之レニ若シ性質ノ相反スル所ナリ例ニテ國會ハ法律案ヲ議定シ又ハ



帝國議會  
ノ召集、開  
會、停會、  
及閉會

豫算ヲ議決シ又ハ請願ヲ受取ルモ國會カ直チ法律ヲ制定シ又ハ租稅ヲ賦課シ  
 又ハ請願ヲ審判スルモ國會カ非テ這ハ一ニ君主若クハ行政府存存スルカ如ク行政  
 學者ハ官府ヲ分チテ處分官府ト議決官府ト二ト爲セリ國會ハ所謂議決官府ト  
 一種ト云フ可シ

議會ハ立法ニ參與シ豫算ニ協賛シ其他憲法上規定セラレタル職權身有ス余茲  
 ニ一ニ說明セズシテ之ヲ後編法律命令論及豫算論ノ條下ニ於テ詳述ス可シ茲ニ  
 ハ只々議會ノ職權ノ性質ヲ畧論スルニ止マル

**第四章 帝國議會ノ召集、開會、停會及閉會**

議會ヲ召集スルハ天皇ノ大權ニ屬シ議會ハ自ラ集會スルノ權ナシ是レ議會ハ法  
 人タル性質ヲ有セサルノ結果ナリ所謂召集トハ議員各個人ヲ召集スルヲ謂フ  
 テ議會其物ニ對スル命令ニアラス故ニ召集ニ應ズルモ然ラザル議員各個人ニシテ召  
 集ニヨリテ議會ハ未タ成立スルコトナシ而シテ召集ノ場所ト時期トハ歐洲憲  
 法ニ於テ規定スルニ多シト雖モ帝國憲法ハ其例ニ倣フス何レノ場所何レノ時  
 期ニ於テ召集スルハ全ク天皇ノ大權ニ存スルモノトス

議會ハ開會トシ議會ハ合議體トシテ成立テ告グルノ謂ニシテ議會ハ開會ニ依  
 テ始テ職權ヲ行使スルノ能力ヲ生ズ故ニ開會ハ儀式的ノ行爲ニ止マラス然レ  
 職權ヲ行ヒ得ルハ時期ヲ決定スルノ効力ヲ有シ開會以前ニ議員若集會スルコト  
 必ズ未タ以テ議會ノ議決ヲ爲スコトヲ得サル也又開會ハ兩議院同時ニ之ヲ行  
 フ事トシ要シ一院ハ開會スルコトナシ是レ議會其物ニ對スル處分ニシテ各議  
 員ニ對テ之ヲ爲スニアラスレバナリ

議會ノ停會トハ開會中ニ議事ヲ停止スルヲ云フ停止スルハ職權ヲ行使ヲ禁止ス  
 ルノ義ナリ而シテ所謂休會ナルモノトシ全ク其趣旨ヲ同フセス休會ハ議院各自ノ  
 隨意ニ議事ヲ開カサルモノニシテ權能ヲ中止セラレタルモノニアラス然レバナリ  
 然レモ停會ハ議會ノ成立ヲ消滅セシムルモノニアラス開會ハ尙ホ依然トシテ  
 繼續スルヲ以テ停會ノ止ムル時ハ別ニ開會ノ手續ヲ踐スルニ當然議事ヲ繼  
 續スルコトヲ得

議會ハ閉會トハ開會ノ終止ヲ告グルノ行爲ナリ議會ハ合議體トシテ存在ス開會  
 未稱期開會ト云ヒ閉會ニ依リテ其存在ヲ解クモノトス故ニ閉會ハ開會ト相對



シテ開期ノ終ヲ爲スモノナリ  
 議會ハ開期トハ議會ノ職務ヲ行ヒ得ル期間ヲ指スシテ通常會ハ其開期ヲ  
 三個月トシ之ヲ延長スルハ天皇ノ大權ニ存スレトモ之ヲ減縮スルコトヲ得サル  
 モトトス而シテ臨時會ノ開會ハ特ニ定ムルモノニシテ憲法及ヒ議院法ニ於テ之  
 ヲ規定スルコトナシ  
 通常會ト臨時會トノ區別ハ召集ノ命令ニ依リテ定マルモノトス或ハ曰ク豫算ヲ  
 議定スルモノヲ以テ通常會ト爲スト然レトモ憲法ハ必スシモ斯カル解釋ヲ容レ  
 ス豫算ノ議定ハ之ヲ通常會ニ於テセシムルモ將テ臨時會ニ於テセシムルモ擇フ  
 所ナシ要之通常會若クハ臨時會トスルハ一ニ天皇ノ大權ニ依リテ命スル所ニシ  
 テ豫メ法律ノ之ヲ定ムルモノナシ  
 議會ハ必ス毎年之ヲ召集スルコトヲ要スルハ憲法ノ明定スル所ナレトモ之ヲ解  
 シテ議會ハ自ラ集會スルハ權利アリト爲スカ如キハ誤謬ニ太甚キモノニシテ憲  
 法ノ精神ハ天皇ハ少クトモ毎年一回必ス之ヲ召集スルコトヲ明言シタルニ過キ  
 ス安ン以テ自ラ集會スルハ權利議會ニ存スト謂フヲ得ケンヤ蓋シ毎年之ヲ召集

帝國議會  
ノ職權執  
行

スルハ豫算ヲ議定スル等ノ必要アルニヨルヘケレトモ何カ故ニ毎年之ヲ召集ス  
 ルカハ問題ハ法律解釋以外ニ涉ルモノナレバ以テ茲ニ之ヲ贅セズ  
 衆議院ノ解散トハ特ニ衆議院議員ニ對スルノ處分ニシテ議員タルノ資格ヲ解除  
 スルニアリ資格ノ消滅ナリ大權ニ依リテ法律上ノ任期ヲ短縮スルノ結果ナリ故  
 ニ法理上ノ解釋トシテハ衆議院ヲ解散スルニアラスシテ衆議院議員ノ資格ヲ解  
 散スルモノナリ彼ノ國會ヲ解散スト云フカ如キハ一ノ俚語ナルニ過キスシテ法  
 律上ノ意味ヲ有セス然リ而シテ衆議院議員カ悉ク同一時ニ其資格ヲ失フノ結果  
 トシテ衆議院ハ自カラ成立セサルニ至ル可ク加之議會ハ兩議院同時ニ成立スル  
 ニアラサレハ其職務ヲ行フコトヲ得サルカ故ニ衆議院解散ノ結果ハ同時ニ議會  
 ナ閉會セシムルニ至ル可キモノトス

第五章 帝國議會ノ職權執行

議會ヲシテ一ノ法人團體ヲラシメ凡ソ法律ヲ禁止セサル萬般ノ行爲ヲ爲シ得  
 ルノ自由アルニキ至既ニ述ヘタル如ク帝國議會ハ統治ノ機關ニシテ法人ノ性  
 質ヲ有セサルヲ以テ職權ヲ執行スル方法ハ必スヤ法律ヲ特定スル形式ニ依



ルニテサレハ其効力ナキモトス而シテ其方法ハ憲法及以議院法ニ於テ之ヲ定ム左ニ其最モ主要ナルモノヲ説明ス可キ也  
 議會ハ議案ヲ議決スルノ外命令シ又ハ處分スルノ權能存スルコトオシ所謂議決トハ合議ノ結果ニシテ合議ハ多數人ノ意見ヲ集合歸一セシムルノ方法ナリ合議ト私法上ノ契約トハ其外形ヲ同ラスレトモ其實質ヲ異ニシ私法上ノ契約ハ二人以上ノ意思ノ合致ナリト雖モ當事者各自獨立ニ目的ヲ有テ各自自目的利益ヲ完フルカ爲メ手段ニ於テ其意思ノ合一スルヲ以テ偶目的ノ同一ヲ加スル者各自ノ目的ヲ有シ又獨立ノ利益ヲ主張スルモノニアラズシテ共同ノ目的ヲ達スルカ爲メニ意思ノ合一スルモノ即チ國家ノ目的利益ヲ達スルカ爲メニ多數然意思ノ一致スル場合はナリ故ニ議決ハ民法上ノ契約ト同ニ視スヘカヲ要スルナラズ又民法ノ法理ヲ以テ之ヲ證明スルコトヲ得ス而シテ公法上ノ合議體ニ多數決ヲ行ハルノ所以ナリ若シ夫レ民法上ノ契約ニシテ多數者以テ少數ヲ抑壓スルカ如キハ法律ノ許サレトモ公法ノ範圍ニ於テ多數ノ意見若合議

體ノ意思トシテ發表スルコトヲ得ヘシ而シテ多數ヲ以テ少數ヲ壓スルモ爲メニ少數ノ權利ヲ剝奪スルノ結果ヲ生セサルニ由ル也  
 憲法ニ於テハ協贊若シテ承諾ト云フカ如キ合意ノ形蹟アル言詞ヲ使用スト雖モ議會自身ノ行爲ハ議決ノ外他ニ何等ノ權能ヲ有セズ其協贊ト謂ヒ承諾ト謂フモ法理上ノ解釋ハ議決ト云フノ意義ニ外ナラス唯外部即チ政府ノ方面ヨリ考察シタルノ結果ヲ以テ名ツケズルノミ然ルニ世人往々承諾ヲ誤解シテ追認ト爲シ民法上ノ行爲ヲ追認スル場合ト同視スルモ是ノアリ謬見ノ太甚キモノト謂ハサル可ラス所謂民法上ノ追認ハ當初無効ノ行爲ニ對シテ後日効力ヲ既往ニ溯ラシムルカ爲メニ爲ス所ノモノニシテ議會ハ承諾ト全然其效果ヲ異ニセリ之ヲ例スルニ緊急命令ノ如キ政府ハ憲法上當然之ヲ發スルノ權能ヲ有シ其命令ハ發布ノ當初ヨリ効力ヲ生シ追認ヲ待テ始メテ有効ナルモ以ニアラザルナリ議會ハ承諾ヲ求ムルハ既往ニ効力ヲ適及セシムルカ爲メニアラスシテ將來ニ向テ法律トシテ尙ホ繼續セシムルニキヤ否ヤヲ諮詢スルノ事ニ在リ  
 議決ハ單ニ意思ノ表示ニシテソレ自身外部ニ對スル効力ヲシ法律案ヲ議決スレ



ハ立法ニ協賛スルモノトナリ又上奏建議等ヲ議決スレハ君主若クハ政府ニ對シテ忠告スルト云フカ如キ結果ニシテ議會ハ上奏ニ建議シ質問シ得ルト云フモ唯上奏ハ君主ニ對シ建議及ヒ質問ハ政府ニ對シテ意思ヲ發表スルノ方法ヲ指示スルモノニ過キス如何ナル事項ヲ上奏ニ建議シ若クハ質問シ得ルヤハ別個ノ問題ニシテ議會ニ此等ノ權アリト主張スルモ如何ナル事項ニテモ上奏建議若クハ質問スルノ權アリト解釋スルコトヲ得ス

議會ハ惟リ國務大臣トノミ交渉シ各官府ト直接ニ交通スルコトヲ得ル國務大臣ハ何時ニテモ議會ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得又議會ハ國務大臣ノ出席ヲ請求スルコトヲ得ヘシ然レトモ此等ノ規定ハ民法上ノ規定ト異リテ權利義務ヲ當事者ニ分配スルノ趣旨ニアラス故ニ之ヲ權利ト義務トニ對照シテ辯明スルコトヲ得ス議會ハ大臣ノ出席ヲ請求スルノ權アルモ大臣ハ必スシモ之ニ應スルノ義務アルコトナク又大臣ハ何時ニテモ議會ニ出席シテ意見ヲ陳述スルノ權アルモ議員ハ必スシモ之ヲ聽聞スヘキノ義務アルコトナキナリ

政府

第六章 政府

(政府ハ亦ク統治機關ノ一ニシテ君主ノ憲法上大權ヲ行使スル所ノ官府ナリ)然ルニ政府ナル語ニ付キ種々ノ謬見ヲ抱クモ往々之レナキニアラス或ハ政府ヲ以テ君主ト同一視スルモノアリ是レ歐洲ノ學說ヲ訛傳シ君主ト政府トヲ混同シタルモノニシテ立憲政體ノ趣旨ヲ誤解シ君主ヲ以テ政府ノ長官トナスニ出ツルモノナリ而シテ其由テ來ル所實ニ三權分立ヲ説ニアリトス即チ立法權ノ主體ハ國會ニアリ司法權ノ主體ハ裁判所ニ存シ而シテ行政權ノ主體ハ君主ナリト云フニアリ然レトモ我國法ニ於テハ君主ト政府トハ劃然區別スヘキモノニシテ政府ハ君主ノ政府ナリ政府ノ君主ニアラサルナリ君主ハ政府ノ一部分ニアラス政府ヲ設ケテ大權行使ノ機關トナス君主ハ超然トシテ國會政府裁判所等ノ上ニ位スル所ノ主權者タリ故ニ政府ノ權力ト君主ノ權力トハ相混雜セシムルコトナク政府ハ君主ノ名ヲ濫用シテ人民ニ臨ム可カラス政府ハ憲法ニヨリテ設ケラレタル一定ノ權限ヲ有スルノ官府タルニ過キス請フ其權限ニ就テ少シク説明スル所アラントス

既ニ述ヘタルカ如ク政府ハ君主ノ憲法上大權ヲ執行スル所ノ官府ナリ所謂憲



法上ノ大權トハ後章ニ之ヲ詳説ス可キモ要スルニ君主ノ勅裁ヲ以テ執行スヘキモノキシテ凡ソ國權ハ君主ノ權ニアラサルモノナシ立法司法亦皆君主ノ權ナルヲ以テ其一部分ノミチ大權ト稱スルハ狹義ニ失スルノ嫌ナキニアラスト雖モ之ニ冠スルニ憲法上ナル文字ヲ以テシ彼此相紛雜スルコトナカラシム故ニ此區別ハ憲法上ノモノニシテ國權其モノ、區別ニアラズ憲法ハ政治事務ヲ分テ或事項ハ之ヲ國會及ヒ裁判所ニ委任シ或事項ハ之ヲ君主ノ親裁スヘキモノタルコトヲ定ム君主ノ權力ハ決シテ之ニ止マルト云フニアラズシテ憲法上ノ規定ニヨリ君主ノ親ヲ裁決スヘキ事項タルニ過キス而シテ政府ハ此憲法上ノ大權ノ執行ヲ司ル所ノ官府ナリト云フニアリ然ルニ大權ハ君主親シク裁決スト云フトキハ政府ナシテ執行ニ當ラシムルコトハ爲シ得ヘカラサルカ如シ然レトモ憲法ノ法理ハ機關ノ權限ニ委任スル場合ト執行ニ從事セシムル場合トヲ區別シ大權ヲ行フコトヲ政府ニ委任シタルニアラズシテ君主ノ大權ヲ行フニ就テ其執行機關トシテ政府ヲ設ケタルモノナリ故ニ彼ノ裁判所カ司法權ヲ行使スルトハ實際上理論上共ニ其關係ヲ同フセス政府ハ自ラ職權ヲ以テ大權ヲ行フモノニアラズシテ君主

ノ訓令スル範圍ト方法トニ從テ之ヲ行フニ過キス官制即チ是ナリ官制ハ政府ノ大權ヲ執行スル職務上ノ範圍ト方法トヲ規定スルモノニシテ官制ヲ定ムルノ權ハ君主ニ屬ス是故ニ政府ナル意義ヲ解スルニ當リテハ大權ヲ行フノ機關タルコトニ注意シ又其執行ノ機關タルコトニ注意セサルヘカラス

政府ハ行政官ト區別セサルヘカラス大權ト行政トノ差異ハ行政法ノ講義ニ於テ之ヲ詳説ス可キヲ以テ茲ニ贅セス要スルニ行政ト云フトキハ行政官ノ人民ニ對シテ命令シ處分スルモノニシテ大權ト行政トハ其範圍ヲ異ニセリ故ニ政府ト行政官トハ實際上同一ノ人ヲ以テ之ニ當リ又大權ノ執行ハ行政處分トナリテ實効ヲ奏スルモノナルモ大權其自身ト普通ノ行政トハ決シテ混同スヘカラス例ヘハ憲法ノ第一章ニ掲ケタル宣戰媾和若シハ條約締結ノ如キハ行政事務ニアラズシテ大權ノ行使タリ此等ノ事項ヲ行フニ當リテハ君主親シク之ヲ裁決スルモノナレトモ外部ニ對シテ有効ニ發表スルトキハ政府ナル機關ヲ貫通スヘキモノナルコト我憲法ノ規定スル所ナリ此意義ニ於テ政府ハ大權ヲ執行スルノ機關ナリトハ云フナリ今外國ノ憲法ニ就テ之ヲ視ルニ佛ニ於テハ政治ト行政トヲ區別シ暗ニ



我憲法ノ大權ト行政トノ區別ニ似タリ又獨ニ於テモ君主ノ特權ト云フモノアリ國會ノ協贊ヲ經スシテ行フ所ノ事項ヲ總稱ス是亦我大權ト相類セリ故ニ二者ノ區別ハ惟リ我憲法ニ於テノミ特ニ之ヲ設ケタルノ例ニアラスシテ近世ノ國法ニ於テ普通ニ認ムル所タリ但外國ノ政治ト云ヒ特權ト云フモノ、理論ヲ借り來リテ直ニ我憲法ヲ論スヘカラス憲法異ナレハ法理モ亦自ラ同シカラサルモノアルハ固ヨリ其所ナレハナリ

國務大臣

第七章 國務大臣

國務大臣ハ政府ヲ組織スル最高ノ官府ニシテ憲法上ニ於ケル統治機關ノ一ナリ憲法第五章ニ於テ其職務ト責任トヲ規定セリ余輩カ特ニ國務大臣ヲ茲ニ掲ケテ説明スル所以ノモノ當ニ其地位ノ重要ナルニ依ルノミニアラス憲法上ノ官府ニシテ大權ノ行使ニ參與スルモノナレハナリ所謂憲法上ノ官府ハ法律命令ヲ以テ之ヲ存廢スルコトヲ得ス憲法ニヨリテ之ヲ設置セラレ憲法ヲ改正スルニアラサレハ之ヲ廢止スルコトヲ得サルモノトス  
國務大臣ハ三様ノ職務ヲ有ス一ハ憲法上ノ職務ニシテ一ハ行政上ノ職務即チ是

ナリ行政上ノ職務トハ各行政ノ長官トシテ行政事務ヲ主宰スル所ノ職分ニシテ之カ説明ハ行政法ノ講筵ニ屬スルヲ以テ茲ニ之ヲ省畧ス而シテ憲法上ノ職務トハ君主ノ大權ヲ行使スルニ當リテ之ヲ輔弼シ之ニ副署スル所ノ職分ナリ今日ニアリテハ同一ノ人ニシテ一方ニ於テ國務大臣タリ又一方ニ於テ行政ノ長官タリト雖モ是レ今日ノ官制上便宜ニ出テタルモノニシテ憲法上ノ必要ナル條件ニアラス國務大臣ガ各省ノ長官ヲ兼スシテ單純ニ政府ヲ組織スルコトヲ爲シ得サルニアラサルナリ所謂政府ヲ組織スルノ點ニ就テ其性質ヲ茲ニ略述セントス  
國務大臣ハ天皇ヲ輔弼ス輔弼トハ文字ノ示セルカ如ク君主ノ補助ヲ爲スト云フノ意義タルニ過キス別ニ錯綜セル法理アルニアラス君主專制ノ時代ニ於テモ事實上大臣ノ輔弼ヲ要ス唯憲法上ノ外面ニ表ハレサルノミ立憲政體ニ於テハ憲法上ノ表面ニ於テ輔弼スルノ職分アルコトヲ明揭シタルニ外ナラス而シテ大臣ノ承諾アルアラサレハ君主大權ヲ行フコト能ハスト云フノ趣旨ニアラサルコト言テ俟タサル所ナリ  
憲法上ノ表面ニ於テ輔弼ノ職分ヲ明掲スルヲ以テ茲ニ形式上副署ノ必要ヲ生ス



大臣ハ輔弼ノコトヲ明カニスルカ爲メニ副署ヲ爲スコトヲ要ス副署トハ文字ノ示スカ如ク署名スルノ意ニシテマタ法律上一ノ疑義ナシ然ルニ從來歐洲ノ學說區々ニシテ濫リニ牽強附會ノ說明ヲ試ムルモノ少シトセス憲法ノ法理ヲ尋ヌルモノ毫モ此等ノ謬說ニ惑ハサルコトナク虚心平氣法文ヲ誦讀スルヲ要ス抑モ副署ハ如何ナル効力ヲ生スルカト云フハ副署其自身ノ結果ニアラスシテ別ニ大臣ノ責任ニ依リテ定マルモノナリ故ニ副署スルモ責任ナキコトアルヘク副署ナゲレトモ責任アルコトアルヘク副署ノ結果直ニ責任トナルカ如キ法律上ノ効力ヲ生スルモノニアラスシテ大臣ハ天皇ヲ輔弼スト云フニヨリテ法令詔勅ニ副署スルノ形式ヲ要スルニ過ギス君主ノ發スル法令詔勅ニ大臣ノ副署ヲ要スルハ大權ヲ行フニ政府ヲ經由スヘキモノナリト云フノ趣旨ニ出ヅルモノトス副署ハ承諾ニアラス君主ト大臣ト合意約束シテ法令ヲ發シ又大臣ノ同意ナクハ之ヲ發スルコトヲ得サルト云フニアラザルナリ君主ハ副署スヘキコトヲ命令シ大臣ハ之ニ應スルノ義務アリ之ヲ拒ムル權利ハ歐洲ノ學說ニ於テ往々大臣副署ヲ拒ムル權アリトナスモ其アルヲ以テ世上其謬ヲ傳スルモノ少シトセス

我憲法及ヒ外國ノ國法ニ於テモ亦決シテ斯カル法理ノ存スルコトナシ蓋シ副署ヲ拒ムト云フカ如キハ君主ノ命令ニシテ憲法ニ違反スルモノアリト認ムルカ又ハ政略上其宜シキヲ得サルモノアリト思量スル場合ニ於テスルモノナルヘシ請フ少シク之ヲ論セン

君主ノ命令ヲ違憲ナリトスル場合ニ於テ大臣ノ副署ヲ拒ムコトヲ許スヘキ法理ナシ是レ大臣ノ法律解釋ヲ以テ君主ノ法律解釋ヲ打破スヘキノ理由ナケレハナリ抑モ君主ト大臣ト各法律ノ解釋ヲ異ニシタルトキハ憲法ノ精神上君主ノ解釋ヲ以テ正當ナルモノトナサハル可カラス若シ爲メニ大臣ニシテ副署ヲ拒ムノ權アリトスルトキハ其關係ヲ顛倒セシメ大臣ノ法律見解ヲ以テ君主ヲ拘束スルノ結果ヲ生スルニ至ルヘシ豈ニ此ノ理アラナヤ

君主ノ命令ヲ以テ政略上其宜シキヲ得サルモノトスル場合ニ於テ大臣副署ヲ拒ムノ權アリトセハ大權ヲ行フノ主體ハ君主ニアラスシテ大臣ニ存スルト云フノ結果ニ歸スヘシ然レトモ大權ハ君主親シ裁決スヘキモノニシテ大臣ハ唯大權ノ行使ニ參與スルモノタルニ過ギサルハ既ニ述ヘタル所ニシテ君主ト大臣ト政略



上ノ意見ヲ同フセサルトキハ君主ノ意見ニ從フヘキモノナルコトハ言テ俟タヌ大臣ハ之ヲ以テ副署ヲ拒ムコトヲ得サルハ法理ノ明白ナル所ナリトス要之大臣副署ヲ拒ムノ權アリト云フカ如キハ世上往々唱道スル所ナリト雖モ皆ナ法理ヲ誤解スルモノナルニ過キス余輩ハ斷シテ我憲法ノ精神ニアラサルコトヲ明言ス

國務大臣ハ天皇ヲ輔弼シテ其責ニ任ス抑モ大臣責任ノコトハ歐洲ノ歴史上一ノ特別ノ制度ナルヲ以テ往々歐洲ノ歴史ト學說トヲ以テ之ヲ論スル者多シト雖モ直チニ彼ノ學說ヲ移シテ我憲法ノ法理ヲ說ク能ハサルハ素ヨリ論ナキ所ナリ試ニ其學說ノ重ナルモノヲ擧ケ以テ我憲法ニ適用ス可カラサル所以ヲ一言セン  
第一 大臣ノ責任ハ君主ニ對スルニ非スシテ人民ニ對スルモノナリトノ說ハ所謂民主國ニ行ハル可キコトニシテ君主國ニ行ハル可キモノニ非ス又大臣ノ責任ハ國會ニ對スルモノナリトノ說ハ英國ノ如ク若クハ埃國ノ如ク國會ヲ以テ大臣ノ責任ヲ審判スル法廷ナリト制定セル法律アリテ始メテ之ヲ言ヒ得ヘキモノニシテ是レヲ以テ直チニ我憲法ニ臨ムハ所謂法律外ノ法律ノ解釋タルヲ

免カレス其不當ナル殆ント辯テ俟タサルナリ若シ夫レ將來我邦ニ於テ大臣責任法制定セラレ英國ニ於ケルカ如ク衆議院告發シテ貴族院之ヲ裁判スル組織ニ改正セラルトキハ或ハ大臣ハ國會ニ對シテ責問セラル、モノト云フコトヲ得ヘシ然レトモ我憲法ハ別ニ大臣ハ何人ニ對シテ責任ヲ有スルヤヲ規定スルコトナキヲ以テ當然ノ解釋トシテ大臣ハ主權者タル君主ニ對シテ責任ヲ有スト解釋セサル可カラザルナリ

第二 大臣ノ責任ハ自己ノ過失ニ就テ存スル乎將タ君主ノ過失ニ就テ存スル乎ノ問題ハ學者間ニ於テ屢々論争セラレタル所ナリ然レトモ是レ亦一種ノ政治論ト混シテ歐洲ノ歴史ニ就テ喋々スルモノニシテ我憲法ノ法理論トシテハ此問題ハ深ク疑義ヲ存ス可キノ理由ナシ凡ソ責任ト云フハ自己ノ行為ニ附帶ス可キモノト看做スハ通常ノ意義ナル可シ從ツテ法律カ他人ノ責任ヲ自ラ負擔ス可キコトヲ明言セサル以上ハ法律ノ解釋方法トシテ責任ハ其行為者ニ在リト爲サ、ル可カラス然ラハ大臣ノ責任ト云フハ大臣カ其職務ニ就テ責任アルノ義ニシテ君主ニ代リテ君主ノ行為ニ就テ責ヲ負フトノ義ニ非サルヤ明カナ



ル可シ且ツヤ憲法全體ノ上ヨリ論下スルモ君主ニ代リテ責ヲ負フモノト爲サ  
 ハ君主ヲ裁判スル權力ハ君主以外ニ在ルコトヲ認メサル可カラズ何トナレハ  
 君主カ代人ヲ出シテ制裁ヲ受クルト云フハ即チ君主以外ニ君主ニ對シテ裁判  
 權ヲ行フモノアルコトヲ意味スルモノナレハナリ之レ君主ヲ以テ主權者ト爲  
 スノ思想ト正面的ニ反對セリ我憲法ノ解釋トシテ之ヲ許ス可カラサルヤ論ナ  
 シ或ル一種ノ學者ハ奇怪ナル説明ヲ與ヘテ曰ク君主ハ神聖ニシテ侵ス可カラ  
 ス故ニ大臣ハ代リテ其責ニ任スルナリト之レ君主ハ犯ス可カラズトノ原則ヲ  
 誤解シタルモノト云フ可シ夫レ君主ハ神聖ナリ神聖ナルカ故ニ責任ヲ生セス  
 從テ他人カ代ハリテ其過失ヲ負擔スルノ必要アルコトナシ若シ夫レ大臣ハ君  
 主ニ代リテ其責ヲ引クト爲サハ君主ハ神聖ナラズト云ハサル可カラズ君主ノ  
 神聖ナルコトヲ認メテ而シテ大臣代リテ責ニ任スト論スルハ論理ノ撞着モ亦  
 甚シト云フ可シ君主ハ神聖ナリ犯ス可カラズ從テ責任ナシ豈ニ大臣代任ノ餘  
 地アラシヤ論者ノ說ノ我憲法ノ法理トシテ採用ス可カラサル復タ論ナキノミ  
 以上大略大臣ノ憲法上ノ職務ヲ講了セリ即チ大臣ハ君主ノ大權ヲ執行スル機關

裁判所

第八章 裁判所

トシテ之ニ參與スルモノナリ君主ノ命令ハ必ス大臣ヲ經由シテ發シ而シテ大臣  
 ハ其職務ヲ行フニ就テ責任アル輔弼ヲ爲ス可キモノナリ此以外ニ於テ歐洲ノ政  
 治論又ハ特別ノ制度ニ依頼シテ説明ス可キ必要ナシ  
 第八節 裁判所  
 司法權ハ天皇ノ名ニ於テ法律ニ由リ裁判所之ヲ行フ(第五十七條)裁判所ハ統治ノ  
 機關タリ換言スレハ裁判ハ君主カ統治權ヲ行フ一ノ機關ニシテ君主ヨリ獨立シ  
 テ分離スルモノニ非ス司法權ノ獨立トハ政治上ノ議論トシテ行政官カ裁判ニ干  
 渉セスト云フノ精神ニ止マリ司法權カ國權外ニ獨立スルノ意義ニ非サルナリ裁  
 判所ハ君主ノ統治權ヲ行フ機關タリ權力ノ主體ニ非ス機關ナルコトヲ記憶ス可  
 シ又其權力ハ國權ナリ然レドモ君主カ行政政府ニ對スルト裁判所ニ對スルトハ權  
 カチ行ハシムル關係ヲ異ニセリ君主ハ行政官ヲ使用シテ行政權ヲ行フ即チ行政  
 權ヲ行フモノハ君主タリ只タ之ヲ繼傳スルモノハ行政政府タリ然ルニ裁判所ハ之  
 レト異ナリ君主ノ司法權ヲ取次クモノニ非ス君主ハ之ニ司法權ヲ委任シテ行ハ  
 シムルナリ其實際上ノ結果ハ行政上ノコトハ君主自ラ裁可シテ執行セシムレト



モ司法判決ナルモノハ裁可ヲ要スルコトナシ之レ行政府ト裁判所ト關係ヲ異ニ  
 スル所ナリ然レトモ統治ノ機關タルニ於テハ二者異ナルコトナシ  
 司法權ハ天皇ノ名ニ於テ之ヲ行フ天皇ノ名ニ於テ行フトハ天皇自ラ行フト異ナ  
 ルコトナシスナリ之レ亦行政ト司法ト異ナル所ナリ又一方ニ於テハ司法權ハ君  
 主ノ統治權タルコトナシ即チ司法權ハ君主以外ニ獨立ストノ學說ヲ排斥  
 シテ君主ノ權力ナリトノコトヲ指示スル爲メニ天皇ノ名ニ於テ之ヲ行フト掲ケ  
 タルモノナル可シ次ニ司法權ハ法律ニ由リ之ヲ行フ此解釋ニハ二様ノ學說アレ  
 トモ余輩ノ見ル所ニ依レハ司法權ヲ行使スル方法例ハ訴訟手續ハ命令ヲ以テ  
 干涉スルコトヲ得ス必ス法律ヲ以テ規定ス可シ而シテ裁判官ノ適用スル法則ハ  
 必スシモ法律ノミニ限ルニ非ス命令規則ニ依リ又ハ習慣道理ニ依リ權利義務ノ  
 在ル所ヲ裁判スルコトヲ得ヘントノ義ニ解釋ス可キモノト信ス然レトモ他ノ解  
 釋家ニ依レハ裁判所ノ判決ニ適用スル法則ハ法律ニ限ルトノ主意ニシテ法律ニ  
 依ルニ非サレハ裁判セラル、コトナク法律以外ノ規則ヲ適用シテ權利義務ヲ裁  
 判スルコト能ハスト説ク者アリ之レ普通一般ニ唱フル所ナレトモ余輩ハ此説ニ

同スル能ハス諸子自ラ撰釋スル所アル可シ  
 裁判所之ヲ行フトハ裁判所委任ヲ受ケ自己ノ解釋ヲ以テ行フノ義ナリ君主若ク  
 ハ立法行政ノ官府ニ監督セラル、コトナク獨立シテ解釋權ヲ有ストノ義ナリ詳  
 言スレハ司法權ヲ行フニ當リテハ裁判所ハ自己獨立ノ解釋ヲ以テ決定シ他人カ  
 監督シ訓令スルコトヲ得サルナリ之レ裁判所ハ司法權ヲ行フトノ法意ノ存スル  
 所ナリ抑モ何チカ司法權ト云フヤ憲法ハ定義ヲ與フルコトナク又學說モ區々ニ  
 シテ何人モ之チ口ニスルモ學者大家ニシテ之レカ説明ヲ與ヘタルモノ寔ニ稀ナ  
 リ通俗ニ云ヘハ所謂民事刑事事ヲ裁判スル之チ司法ト云フニ過キス然レトモ何チ  
 カ民事ト云フヤチ反問スルトキハ裁判所ニ訴フルチ得ル事柄ハ民事ナリト云フ  
 ノ外殆ント正確ナル説明ヲ與フルモノ少シ我憲法ハ普通ノ意義ニ從ヒテ民事刑  
 事ヲ裁判スルチ司法權ト云ヒタルナリ然レトモ余輩ハ司法元來ノ性質ハ民事刑  
 事ノ謂ヒニ非スシテ寧ロ當事者カ法律上ノ權利トシテ之ニ參與シ而シテ參與シ  
 ヌル結果トシテ國家ノ有効ナル命令ノ成立セル場合チ司法ト云フト解釋セント  
 欲ス去リ乍ラ高尚ノ議論ニ屬スルチ以テ敢テ茲ニ喋々セサル可シ



裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム裁判所ヲ設クルハ憲法ノ定ムル所ニシテ法律ハ隨意ニ之ヲ廢スルコトヲ得ス唯々裁判所ノ組織ハ法律之ヲ定メ得ルノミ換言セハ法律ハ裁判所ノ權限ト管轄トヲ定メ得ルニ止リ裁判所自身ヲ設ク可キ必要ハ憲法ニ在リテ法律ニ存セス之レ裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムト云ヒ裁判所ノ存廢ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムト云ハサル所以ナリ又其結果トシテ命令權ヲ以テ裁判所ノ權限及組織ヲ變スルコトヲ得ス但裁判官ヲ任免スルハ無論君主ノ任免權ニ存セリ

### 第五編 統治權ノ作用

#### 第一章 總論

憲法ノ研究ハ統治權ノ主體、客體、機關及ヒ作用ノ四個ニ分論スルヲ要ス而シテ前三者ニ就キテハ上來之カ研究ヲ遂ケ將ニ本編ニ於テハ統治權ノ作用ニ就キ最後ノ研究ニ從事セントス

統治權ノ性質ハ前屢々述ヘタルカ如ク唯一ニシテ分割ス可カラサル全能ノ力ナリ故ニ統治權其モノヲ分離シ又ハ區別スルコトヲ得ス之ヲ論スルニ方リテモ亦

統治權ノ作用  
總論

其作用ヲ區別スルニ在ルノミ換言スレハ權力其モノ、實體ヲ分ツニ非ラスシテ權力ヲ行使スルノ方法ヲ分論スルモノナリ嘗テ歐洲學者ノ唱道シタル三權分立ノ說ハ權力其モノヲ三分スルニ在リテ嘗ニ帝國憲法ノ認容セサルノミナラス今ヤ歐洲各國ノ憲法ニ於テモ亦之ヲ採用スルモノ稀ナリ蓋シ三權分立ノ說ハ權力ノ行使ト權力自身トヲ區別セサリシヨリ後人ヲ誤ラシメタルモノナリ例ヘハ立法、司法、行政ト云フカ如キハ唯一ノ國權ニシテ或ハ國會或ハ裁判所或ハ政府ヲ貫通シテ行使セラル、ノ形式ヲ區別シタルニ過キス立法權、司法權、行政權ト云フカ如キ獨立シタル三個ノ權力ノ存在スルノ謂ニ非ラス予カ本編ニ於テ講述スル所モ亦統治權ノ分割論ニ非ラスシテ其作用ニ在リトス

統治權ノ作用ヲ論スルニ方リ往々之ヲ立法、司法及ヒ行政ノ三個ニ分ツモノアリト雖モ帝國憲法ハ特立ノ法理ヲ包有スルヲ以テ未ダ必スシモ此區別ニ從テ説明スルコトヲ得ス我統治權ノ作用ハ第一ニ君主ノ憲法上ノ大權トシテ表ハレ次ニ法律若シハ命令トシテ公布セラレ又行政、司法ノ行爲トシテ發揮セラル故ニ大權立法、司法及ヒ行政ノ四個ニ區別セサル可カラズ歐洲ノ三權論ニ拘ハリテ大權ト



行政トテ混淆スルカ如キハ我憲法ノ趣旨ニ反スルモノト謂ハサルヲ得ス  
 此編ニ論スル所ハ統治權其モノ、作用ニシテ統治機關ノ權限論ニ非ラサルナリ  
 憲法ノ目的ハ實際上可成統治權ノ作用ト統治機關ノ權限トノ併行セシムルコトヲ欲  
 スルニ拘ハラス大權トハ君主ノ權限ナリト云ヒ立法トハ國會ノ權限司法トハ裁  
 判所ノ職權ナリト云フカ如ク各機關ニ分配シテ之カ權限ヲ論スルヲ得ス三權分  
 立ノ主義ヲ採用スル所ノ憲法ニ在リテハ國家各機關ノ有スル權限ヲ湊合シタル  
 モノ即チ是レ國權ナリト解釋シ國家ノ機關ヲ本トシテ其各自ノ權力ヲ認メ之ヲ  
 合併シテ國權ト稱スルモ我憲法ニ於テハ唯一不分ノ主權アリテ之ヲ行使スルカ  
 爲メニ機關ヲ設クルモノトシ主權ハ本ニシテ主權ノ機關ハ末ナリ故ニ實際上彼  
 此甚タ違フ所ナキカ如キモ而カモ全然主義ノ本末主客ヲ轉倒スルモノト謂ハサ  
 ル可ラス是レ特ニ諸子ノ注意ヲ要スル所ナリ

憲法上ノ大權

第二章 憲法上ノ大權

憲法上ノ大權トハ君主カ自ラ裁可權ヲ握リ親裁ヲ以テ行フ所ノ政務ノ範圍ナリ  
 故ニ此意義ヲ敷衍シテ尙ホ大權ノ何タルヲ明カニセシ

第一 大權ト統治權トハ同一ノモノニアラス  
 統治權ノ以外ニ權力ナシ大權モ亦統治權ノ一部分ナリト看做サ、ル可カラス然  
 レトモ統治權ハ國ヲ統治スル全體ノ權力ヲ指示スルモノニシテ統治權ノ主體タ  
 ル君主ハ憲法ヲ以テ自ラ之ヲ行フモノト又之ヲ各機關ニ委任シテ行ハシムルモ  
 ノトチ定ム故ニ君主ハ統治權ヲ有スレトモ或ル事項ハ統治ノ機關ニ委任シテ之  
 ヲ行ヒ或ル事項ハ親ラ裁可シテ之ヲ行フ而シテ君主ノ親裁ヲ以テ行フ可キ事項  
 ハ即チ君主ノ憲法上ノ大權ナリ

第二 大權ハ憲法上ノ大權ナリ  
 茲ニ憲法上ナル文字ヲ冠ラシムルハ特別ノ意義ヲ有スルモノナリ即チ大權ト大  
 權ニ非ラサルモノトノ區別ハ憲法ヲ以テ始メテ定マルモノニシテ大權ノ範圍ハ  
 憲法ノ改正變更ニ依テ伸縮スルコトアル可クレハナリ抑モ統治權ハ憲法上ノ統  
 治權ニ非ラスシテ固有ノ權力ナリ憲法ヲ制定スルモノハ即チ統治權ニシテ憲法  
 ニ依テ始メテ之ヲ定ムルモノニ非ラサルカ故ニ憲法ノ改正變更アルモ以テ統治  
 權ヲ伸縮スル能ハス憲法ハ統治權ヲ行フノ方法ヲ變更スルコトヲ得レトモ統治

帝國憲法 統治權ノ作用 憲法上ノ大權



權其モノヲ存廢短長スルノ力ナシ而シテ大權ハ統治權ヲ行使スル一ノ方法タルヲ以テ憲法ニ依リテ之ヲ定メ又是ニ依リテ之ヲ變更スルコトヲ得是レ特ニ憲法上ノ大權ト稱スル所以ナリ

第三 大權ハ君主ノ親裁スル政務ノ範圍ナリ

專制ノ君主ト雖モ實際上決シテ一身万機ヲ親ラスル能ハサルハ勿論ニシテ種々ノ官府ヲ設ケテ政務ヲ執ラシム然レトモ其官府ハ君主ノ命令ヲ執行スル機械的ノモノニシテ憲法上獨立ノ權限ヲ附與セラレタルモノニ非ラス君主ハ專テ命令ノ權ヲ握リ縱令官府ヲシテ之ヲ行ハシムルト云フモ尙ホ法理上ノ解釋ニ於テハ君主自身ノ行爲トナサ、ルヲ得ス反之立憲政體ニ在リテハ君主自身獨立ノ命令權ヲ以テ行フ可キ事項ト統治機關ニ依テ行フ可キ事項トヲ區別シ憲法ヲ以テ國會裁判所及ヒ政府等ノ權限ヲ明ニス故ニ各自ノ權限ヲ適當ノ範圍ニ止メ相踰越スルコト無カラシメンニハマタ一方ニ於テ君主ノ自ラ親裁ヲ以テ行フ可キ事項ヲ明ニスルヲ要ス是レ大權ノ制度ヲ存スル所以ナリ

大權ノ制度ハ歐洲諸國ニ於テ亦實際上之ヲ認ムル所ナリ然レトモ法理上ニ於テ

ハ君主ノ行爲ト行政官ノ職分トヲ混同シテ君主ハ法律ヲ執行スルモノナリト解釋シマタ君主固有ノ大權ヲ明定スルコト無シ蓋シ國ヲ治ムル者唯リ法律ノ執行ニノミ任スルヲ以テ足レリトセス何レノ國ニ於テモ亦君主ノ大權ナルモノ、存スルコトヲ要シ事實上之ヲ認ムレトモ憲法ノ主義トシテ發表シタルモノハ實ニ我憲法ノ特色ナリトス例ハ英國ノ憲法ニ君主ノ特權ナルモノアリ獨逸憲法亦同シ而シテ所謂特權ナル觀念ハ文字ノ示スカ如ク或者ノ當然之ヲ有スルニ非ラサルモ法律カ特ニ或者ニ付與シタル恩惠ナリト云フノ意ニ外ナラス故ニ其憲法ノ精神ヲ案スルニ君主ハ當然ニ專斷シテ之ヲ行フノ權力ヲ有スルニ非ラスシテ法律カ特ニ或ル事項ニ付キ君主ニ委任シテ專斷處理セシムモノト解釋セサル可カラス反之帝國憲法ハ全然其主義ヲ異ニシテ君主ノ大權ハ君主當然ノ權力ナルカ故ニ國會其他ノ統治機關ノ之ヲ犯ス能ハサルモノトス

大權ニ屬スル事項ハ帝國憲法第一章ニ掲ケタルカ如ク憲法カ統治ノ機關ニ屬セシメスシテ君主ノ親ラ之ヲ行フ可キコトヲ明言シタルモノ是ナリ歐洲各國ノ憲法モ亦實際上大權ニ屬スルモノト爲スノ事項ハ我憲法ノ認ムル所ト酷々相似タ



リ例へハ宣戰媾和ノ權、條約締結ノ權、大赦特赦ノ權、軍隊ヲ指揮スルノ權、及ヒ榮典ヲ與フルノ權ノ如キハ何レノ國ノ憲法ニ於テモ概示之ヲ君主ノ大權ノ範圍ニ屬セリ要スルニ此等ノ事項ノ君主ノ大權ニ屬スト云フハ統治機關ノ干涉以外ニ立ツモノナリトノ意ナリ尙ホ憲法ノ條文ニ就テ參照セラル可シ

次キニ大權ト行政トノ區別ニ就キテ一言セサ可ルカラス蓋シ政治論トシテハ實際上行政權ハ君主ノ大權ト同一視シテ論議スルモ敢テ甚シキ支障ナシト雖モ國法論ノ法理解釋トシテハ決シテ之ヲ混淆ス可カラサルモノナリ抑モ行政ハ君主ノ大權ヲ以テ設ケタル官府ノ權限トシテ行ハシムル事項ニシテ君主ノ大權ノ一トシテ官制ヲ定ムルノ權アルコトハ憲法ノ明示スル所ナリ故ニ官府ヲ設ケテ大權ノ執行ヲ命スルハ君主ノ大權ニ屬シ大權ヲ執行スル官府ノ行爲ハ即チ行政行爲タリ兩者區別ノ存スル所ハ此點ニ在リ例へハ行政裁判所ハ行政官ノ處分ニ非ラサレハ之ヲ裁判セス大權ノ行使ヲ裁判スルヲ得サルカ如キハ固ヨリ其所ナリトス又國會若クハ裁判所ノ如キハ君主ノ大權ヲ以テ設定シタルニ非ラス憲法ヲ以テ之ヲ設定シタルモノニシテ其權限ハ君主ノ大權ヲ以テ左右スルコトヲ得サ

レトモ行政官府ハ大權ヲ以テ設ケラレタルモノナルカ故ニマダ大權ヲ以テ其權限ヲ變更スルコトヲ得可シ等シク是レ政務ヲ行フノ官府ナレトモ國會裁判所ノ如キモノト行政官府トハ憲法上其性質ヲ異ニシ君主カ行政官ニ命シテ行ハシムル事項ハ之ヲ行政ト稱スレトモ君主カ憲法上ノ統治機關ノ權限トシテ行ハシムル事項ハ行政以外ノ事項タリ

### 第三章 立法

天皇ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フトハ帝國憲法第五條ノ規定スル所ニシテ所謂立法トハ法律ヲ制定スルノ義ナリ而シテ廣ク法ト謂フトキハ法律、命令、規則等如何ナル名稱ヲ用ユルニ拘ラス凡ソ主權者ノ命令スル所ノモノヲ悉ク包羅スト雖モ憲法上特ニ立法ト謂フハ法律ナル一種ノ成文律ヲ制定スルノ意義ナリトス又第五條ハ立法權行使ノ主體ハ君主ニシテ議會ニ非サルコトヲ明カニシ加之立法權ハ君主一人ニ屬シ議會ト君主トノ協同シテ之ヲ行フモノニアラサルコト亦炳焉タリ然レトモ翻テ歐洲立憲政體ノ例ヲ願ミルニ其主義大ニ我憲法ニ異ルモノアリ今之ヲ概括スルトキハ當ニ三種ノ立法例アルヲ見ル請フ左ニ之ヲ

### 立法



畧論セシ

第一例 國會ヲ以テ立法權ノ主體トナス

國會ヲ以テ立法者トナスノ主義ハ佛蘭西、白耳義等ノ憲法ノ採用スル所ニシテ國會ハ法律案ヲ議決スルニアラス法律其者ヲ議決スルモノトス而シテ君主若シハ大統領ハ單ニ裁可權ヲ有スルニ過キサルナリ所謂裁可權トハ國會ノ議定シタル法律ヲ可否スルノ權ニシテ法律其者ハ國會ノ議決ニ依リテ既ニ成立シ君主若シハ大統領ハ其既ニ成レル法律ヲ認可シ又ハ否認ス惟之ヲ認否スルノ權ノ君主若シハ大統領ニ屬スルノミ故ニ立法權ハ國會之ヲ行フト云ヒ君主若シハ大統領ハ立法權ヲ行フニアラス裁可權ヲ行フナリ是ヲ第一ノ立法例ト爲ス

第二例 君主及ヒ國會ノ二者ヲ以テ立法權ノ主體トナス

第二種ノ立法例ハ幸漏生並ニ獨乙ノ國體ニ基ク諸國ノ憲法ノ採用スル所ノ主義ニシテ例ヘハ幸漏生ノ憲法ニ依レハ君主ト國會ト協同シテ立法權ヲ行フトトナ明定シ立法ハ君主一人ノ爲シ能ハサル所ニシテ國會モ亦之ヲ專行スル能ハス二者協同シテ之ヲ行フ恰モ法律ハ君主ト國會トノ意思ノ合致シタルモノ

即チ合意若シハ契約ニ依リテ制定セラル、カ如シ是ヲ第二ノ立法例ト爲ス

第三例 君主ヲ以テ立法權ノ主體トナス

立法權ハ君主獨リ之ヲ行ヒ君主ト國會トノ協同シテ之ヲ行フモノトセス立法權行使ノ主體ハ君主ナリト爲スモノ例ヘハ我憲法ノ如キ此主義ニ依ルモノトス而シテ此主義ニアリテハ國會ハ單ニ立法ニ參與スルモノタルニ過キスシテ法律案ヲ議決スルノ權ヲ有スレトモ法律其者ヲ議決スルノ權ナキハ勿論ナリトス故ニ國會ハ法律ノ制定ニ參與スト雖モ外部ニ對シ法律トシテ發表セラル、ハ君主ノ意思ニ依ルモノナリ是ヲ第三ノ立法例ト爲ス

夫レ斯クノ如ク我憲法ハ天皇ハ立法權行使ノ主體タルコトナ明カニシ議會ハ唯之ニ協賛スルノミ憲法ニ所謂議會ノ協賛ヲ以テ行フトハ尙ホ其參與ヲ以テ之ヲ行フト云フカ如ク協賛ナル文字ニ法律上特別ノ意義ナク單ニ議決ト云フニ等シク天皇ハ議會ノ議決ヲ經テ法律ヲ制定スト云フニアリ而シテ議決ハ意思ノ歸着スル所ヲ示スモノニシテ決シテ命令ノ意義ヲ包有セス議會ノ命令權ヲ有セサルコト明カナリ然レトモ天皇ハ法律ヲ裁可シ法律トシテ遵奉ス可キコトヲ命令ス



既ニ法律ト謂ヘハ命令ノ意義ヲ包含ス故ニ命令權ハ獨リ天皇ノ專有ニ屬シ毫モ議會ノ與ル能ハサル所ナリ換言スレハ立法權ハ天皇ノ專有スル所ナリトス但シ議會ノ議決ヲ經ルハ憲法上ノ要件ニシテ議會ノ議決ナクンハ法律ヲ發スルコトヲ得サルハ勿論ナリトス然レトモ之ヲ解シテ立法ハ議會ノ議決ヲ必要トナスカ故ニ議會カ立法スルモノナリト爲シ若シハ天皇及ヒ議會ノ協同ニ依リテ立法スルモノナリト爲スカ如キハ誤謬ノ甚シキモノナリ

又立法權トハ一種特別ノ權力ヲ謂フニアラス學理上ヨリ之ヲ論スルトキハ寧ロ憲法ニ於テ立法權ト云ハスシテ單ニ立法ト書スルヲ妥當ナリトス抑モ總テノ權力ハ唯一不分ノ國權ニシテ國權ノ作用カ法律ヲ定メ或ハ裁判ヲ爲スト云フカ如ク種々ノ形式アルノミ權力共者ノ本體ニ於テ立法權司法權ト云フカ如キ各種ノ權力アルニアラス蓋シ佛蘭西若シハ白耳義派ノ憲法ニ於テハ佛國學者ノ唱道シタル三權分立ノ說ニヨリテ國權ハ立法司法行政ノ三個ノ權力ノ集合體ナリト爲シ立法權ハ國會ニ屬シ司法權ハ裁判所ニ存スト云フカ如キ解釋ト爲リ從テ立法權ノ語アルニ至ル然レトモ我國法ノ如ク主權ハ一ニシテ分割セサルノ制度ニ在

リテハ特ニ立法權司法權等各種ノ權力アルヲ認ムルヲ得ス文字ニ泥ンテ趣意ヲ害スルコト勿レ

又立法トハ前述シタルカ如ク法律ト稱スル一種ノ法則ヲ制定スルノ義ナリトス是レ我憲法ノ解釋ナレトモ佛白派ノ憲法論ヲ以テ之カ解釋ヲ試ミントスル者或ハ誤謬ニ陥ルコトアルヲ免レス各憲法ノ主義ニ從テ立法ノ意義ヲ異ニスルヲ忘ル可ラス今若シ佛派ノ憲法ヲ繙クトキハ凡ソ人ノ自由ヲ制限スルハ必ス法律ヲ以テセサル可ラサルノ原則ヲ掲ケ總テノ強制力ハ法律ヨリ出ツ可キモノトナスヲ見ル故ニ此主義ニ於テハ立法ヲ解シテ何等ノ名稱ヲ以テスルヲ問ハス總テノ法則ヲ設クルコトヲ指示スルモノト爲サ、ル可ラス是レ立法トハ法律ヲ設クルコトヲ云フモ總テ人ノ自由ヲ制限スルコトハ必ス法律ナラサル可ラサルヲ以テ其結果ハ人ノ自由ヲ制限スルコト即チ立法ナリト解釋シテ毫モ支吾ナキヲ覺ユ然レトモ我國法ハ此原則ニ依ラス憲法第九條ニ於テ廣ク命令權ヲ解釋シタルヲ見ルモ亦明カナリ故ニ立法トハ總テノ法則ヲ制定スルモノナリト解釋スルヲ得ス立法ノ外ニ命令アレハナリ又人ノ自由ヲ制限スルモノ必スシモ法律ナリト云



フチ得ス法律以外ニ命令ノ以テ人ノ自由ヲ制限スルモノアレハナリ  
 歐洲ノ憲法ノ學說ニ於テハ立法權ノ本體ト立法權ノ行使トヲ區別シ立法權ノ主  
 體ハ君主ナレトモ之ヲ行使スルモノハ國會ナリト解釋スル者往々之レアリ之ヲ  
 我國法ニ適法<sup>明</sup>ス可ラサルハ明白ナリ元來權力ノ本體ト行使トヲ區別スルハ單ニ  
 形容ノ意義タルニ過キスト雖モ便宜ノ爲メ之ヲ區別シ得ルハ強チ想像シ得ラレ  
 サルニアラス若シ之ヲ區別シ得タリトスルモ我憲法ニ於テハ立法權ノ本體ト行  
 使トヲ併セテ天皇ニ屬スルモノト所謂立法權ノ行使トハ法律ヲ發布スルノ義  
 ナリ然ルニ之ヲ誤解シテ立法準備ノ手續ト立法權ノ行使トヲ混同スルモノナキ  
 ニアラス夫レ法律案ヲ提出シ之ヲ議決スルノ手續ハ立法權ノ行使ニアラスシテ  
 行使ノ準備手續タリ君主ノ法律ヲ裁可シ之ヲ公布セシムル等ハ是レ立法權ノ行  
 使ニシテ人民ニ對シテ法律ヲ命令スルコト即チ立法ナリ故ニ議會ノ參與スル所  
 ハ立法權ノ行使其者ニアラスシテ立法權ノ行使ノ準備ニ參與スルモノナリ命令  
 權ニ參與スルニアラスシテ命令ノ材料タル規則ノ草案ヲ確定スルコトニ參與ス  
 ルモノナリ

立法ノ手

立法ノ範圍ハ憲法ノ規定ニ從テ定マリ當然如何ナルモノ、法律タル可キカハ論  
 理ヲ以テ確定シ得ヘキニアラス方ニ政畧ノ問題タリ而シテ其規定ヲ設クルハ憲  
 法ノ必要ナル所以ナリ又之ヲ規定スルニ方リ總テ人ノ自由ヲ制限スルモノハ法  
 律ヲ以テス可シト云フカ如ク概括シタル原則ヲ採用スルノ國アルコトハ前述シ  
 タルカ如クナレトモ我憲法ハ此主義ニ依ラスシテ其材料ヲ列記スルノ方法ヲ採  
 リ各條ニ於テ某々ノ事ハ法律ヲ以テ規定ス可シト命スル事即チ法律ノ範圍ナリ  
 而シテ其明言ナキモノハ法律ヲ以テ之ヲ定ムルト否トハ君主ノ自由ニ屬ス要ス  
 ルニ立法ノ範圍ハ一部ヲ憲法ニ明言シ他ノ一部ハ之ヲ明言セスシテ自由ノ範圍  
 ニ歸セシム尙ホ其詳細ナル説明ハ別ニ章ヲ設テ之ニ從ハン只本章ノ主トスル所  
 ハ立法ニ關シ君主ト議會トノ憲法上ノ關係ヲ示スコアルモノトス

第四章 立法ノ手續

立法ノ手續ハ之ヲ四段ニ區別スルコトヲ得即チ(一)法律案ノ提出(二)議決(三)裁可(四)  
 公布是ナリ之ヲ説明スレハ如何ナル順序ニ於テ法律ノ制定セラレ、カチ知ルヲ  
 得ヘシ



## (一) 法律案ノ提出

法律案ノ提出ハ政府及ヒ貴族院衆議院ノ三者ノ職權ニ屬シ他ニ之ヲ行フヲ得ル者ナシ之ヲ提案權ト稱ス世俗或ハ議員各個人カ法律案ヲ提出スルノ權ヲ有スルカ如ク說シモノアレトモ是レ誤解ノ甚シキモノト謂フ可シ貴族院衆議院若クハ政府其者カ提案權ヲ有スルノ外議員各個人カ各別ニ之ヲ有スルモノニ非ラス蓋シ實際上某議員カ法律案ヲ提出スト云フハ其意義タル國法ノ解釋ニ於テハ法律案ノ提出ニ非ラスシテ唯之ヲ議案ト爲ス可キヤ否ノ問題ニ附スルコトヲ請求スルモノタルニ過キス換言スレハ議員ハ議院ヲシテ憲法上ノ提案權ヲ行ハシメシメコトヲ促スモノナリ直チニ之ヲ以テ議員各個人カ提案權ヲ有スルモノナリト謂フヲ得ス

法律案ノ調製ハ何人カ之ヲ爲ス可キヤハ事實ノ問題ニシテ法律ノ關與スル所ニ非ラス故ニ法律案ノ調製ハ立法ノ手續ニ非ラスシテ立法手續ノ第一段ハ法律案ノ提出ニアリ而シテ法律案トスルノ權ハ特ニ提案權ト稱セラル、モノナ

## (二) 議決

議決トハ帝國議會即チ貴族院及ヒ衆議院ノ意思ノ合一シテ法律案ヲ可決シタルノ謂ニシテ單ニ一院ノ議決ノミヲ以テハ未タ立法手續上ニ所謂議決ト稱スルヲ得ス必スヤ兩院ノ意思ノ合一ナルヲ要ス又議決ハ私法上ニ所謂合意若クハ契約ト其性質ヲ同フスルモノニ非ラス合意若クハ契約ハ當事者相互ノ權利義務ヲ定ムルノ目的ヲ以テ意思ノ合致スルモノナレトモ公法上ニ於ケル議決トハ國家公共ノ目的ヲ達スルカ爲メニ其事ノ可否ヲ決スル所以ニシテ合意契約ノ法理ヲ以テ之ヲ説明スルコトヲ得サルナリ

## (三) 裁可

裁可ハ法律案ヲ法律ト爲スノ行爲ニシテ命令權ノ作用タリ故ニ裁可ハ智力ノ判斷ヲ以テ可否ヲ判決スルニ非ラス之ヲ法トシテ遵奉ス可キコトヲ命スル所ノ國家ノ意思ノ働ナリ故ニ裁可ナケレハ法律ナシ

裁可權ハ君主ノ大權ニ屬シ君主自ラ之ヲ行フ可キモノニシテ之ヲ機關ニ委任スルコトヲ得ス又裁可權ハ自由ニシテ無制限ナリ歐洲ノ或國ニ於テハ裁可權



ニ制限ヲ附シ例ハ習慣上君主ハ必ス國會ノ議決ヲ裁可ス可キモノナリト謂  
 ヒ又或ハ國會ニ於テ同一ノ議案ヲ二回可決シタルトキハ君主ハ裁可ヲ拒ムコ  
 トヲ得スト謂フカ如キハ皆ナ特別ノ規定ニ依ルモノニシテ一般ノ通則ハ裁可  
 權ニ制限ヲ置カサルモノトス我憲法ニ於テ裁可權ノ無制限ナルハ亦タ言ヲ俟  
 タサル所ナリトス

裁可ハ法律案ノ全體ニ對シテ之ヲ行フ可キモノニシテ其一部分ヲ可否スルコ  
 トヲ得ス又之ヲ修正シテ裁可スルコトヲ得サルナリ而シテ裁可ナキモノハ別  
 ニ不裁可ヲ公布スルヲ要セス是レ裁可セラレタルモノハ法律ト爲ルノ規定ノ  
 外裁可不裁可共ニ之ヲ發表スルト云フカ如キハ我憲法ノ採用セサル所ナレハ  
 ナリ反之英國法ノ如キハ二者共ニ之ヲ發表ス可キコトヲ明言スルモノタリ  
 裁可ハ國民ニ對スル命令ニシテ議會ニ對シテ可否ヲ判決シ之カ返答ヲ與フル  
 モノニ非ラス故ニ裁可ノ効力ハ一般ノ國法タル結果ヲ生スルモノニシテ議會  
 ニ對シテ其議決ヲ嘉納スルニ非ラサルナリ之ヲ嘉納スルニ非ラス之ヲ法トシ  
 テ遵奉ス可キコトヲ一般國民ニ宣言スルモノナリ

(四) 公布

公布ハ法律ノ執行力ヲ生スルノ時期ヲ示スモノニシテ法律ハ裁可ニ依リテ以  
 テ成立シ公布ニ依リテ以テ執行力ヲ生ス故ニ公布ト通知若クハ公告トヲ混ス  
 可ラス法律ヲ公衆ニ普知セシムルハ極メテ必要ノコトナリト雖モ法律ヲ國民  
 一般ニ告知スルカ爲メニ公布スルモノニ非ラス公布ノ國法上ノ効力ハ依テ以  
 テ行政官ノ之ヲ執行シ裁判官ノ之ヲ適用スルノ時期ヲ確定明示スルニ在リ現  
 今官報ヲ以テ公布ノ式トナセトモ公衆ニ普知セシムルカ爲メニハ其他如何ナ  
 ル方法ヲ用ユルモ固ヨリ行政官ノ便宜ニ存スルモノタリ要之裁可ニ依リテ法  
 律ハ成立スルモ公布ナケレハ以テ之ヲ執行スルヲ得ス故ニ實際上公布ヲ以テ  
 法律ヲ制定スト爲スモ亦タ不可ナキナリ

以上四個ノ段落ヲ經テ法律ハ完全ニ成立シ茲ニ其効力ヲ發生ス可シ而シテ法律  
 ノ効力ハ帝國ノ版圖内ニ及フヲ通則トスルヲ以テ別ニ法律ノ適用セラル可キ區  
 域ヲ明言スルニアラサレハ全國ニ對シ一般ニ之ヲ適用スルモノト知ル可シ若シ  
 之ヲ一部分ニノミ適用ス可キモノナルトキハ法律ノ特ニ之ヲ明言スルコトヲ要



又法律ノ効力ハ既往ニ遡及セサルヲ原則トス凡ソ法則ハ將來ニ發生ス可キ事實ヲ豫想シテ之カ規律ヲ制定スルヲ普通ト爲スヲ以テ苟モ法律ノ効力ニ付キ別ニ明言ナキ上ハ之ヲ既往ニ遡ラシムルヲ得ス若シ之ヲ既往ニ及ホサント欲セハ特ニ之ヲ明言スルコトヲ要ス又法律ハ法律ニ依ルニ非ラサレハ之ヲ改正變更スルコトヲ得ス之ヲ法律ノ形式的効力ト爲ス從來學者ノ唱道スル立法論ニ依レハ法律ハ之ヲ適用セサルニヨリテ自ラ其効力ヲ失フモノナリト説キ又ハ習慣ヲ以テ法律ヲ廢止スルノ結果アリト論シ恰モ權利ノ時効ニ依リテ消滅スルカ如ク法律モ亦時ノ經過ニヨリテ自然ニ其効力ヲ失フニ至ル可シト主張ナル者アリト雖モ之ヲ國法ノ法理論トシテ採用スルヲ得ス法律ハ必ズ新ナル法律ヲ以テ之ヲ改正シ變更スルニ非ラサレハ改正變更ノ効ナキモノトス命令其他ノ行爲ヲ以テ之ヲ爲スヲ得サルハ亦其所ナリトス

立法ノ範圍

第五章 立法ノ範圍

立憲政體ノ制度ニ於テ立法ノ範圍ヲ定ムルニ二様ノ主義アリ  
第一ノ主義ハ凡ソ人ノ自由ト權利トニ關係スルモノハ必ズ法律ヲ以テ之ヲ制定

セサル可ラスト云フニアリ佛蘭西及ヒ白耳義ノ憲法ノ如キハ此主義ヲ採用シタルモノナリ  
第二ノ主義ハ法律命令共ニ同シ人ノ自由ト權利トヲ制限スルノ力アリトシ憲法ニ於テ特ニ法律ト爲ス可キ事項ヲ列記スルモノトス我憲法ノ精神是ナリ故ニ立法ノ範圍ハ我憲法ニ於テハ左ノ事項ニヨリ決定マルモノトス  
(第一) 憲法ノ明文ニ於テ法律ヲ以テ規定ス可キコトヲ命シタル事項ハ當然立法ノ範圍ニ屬ス例ヘハ租稅ヲ課シ又ハ刑罰法ヲ定ムルカ如キ是ナリ之ヲ憲法上ノ立法事項ト稱ス此等ノ事項ハ必ズ法律ヲ以テ之ヲ規定ス可キモノニシテ命令ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ許サハルノ範圍ナリ  
(第二) 憲法カ特ニ君主ノ大權トシテ列記シタル事項ハ法律ヲ以テ之ヲ制定スルコトヲ得ス例ヘハ行政官制ノ如キ條約締結ノ如キ是ナリ之ヲ大權事項ト稱ス亦タ消極的ニ立法ノ範圍ヲ制限スルモノト謂フ可シ  
(第三) 憲法上特ニ立法事項タルコトヲ規定セス又別ニ大權事項タルコトヲ明言セサルノ事項ハ法律ヲ以テ之ヲ規定スルモ將タ命令ヲ以テ之ヲ規定スルモ時



勢ニ應シテ之ヲ撰擇スルノ權ハ一ニ君主ニ屬ス之ヲ自由立法ノ範圍ト稱ス其法律ヲ以テスルヤ否ハ政畧ノ問題ナリ例ヘハ質屋取締法若クハ狩獵法ノ如キハ法律命令共同ノ區域ニ屬スル事項ヲ法律ヲ以テ定メタルモノトス然リ而シテ自由立法ノ範圍ニ屬スル事項ト雖モ一タヒ法律ヲ以テ之ヲ規定シタル以上ハ命令ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ス將來ニ之ヲ變更セントスルトキハ必ス法律ヲ以テセサル可ラサルカ故ニ亦タ立法事項ト爲ルモノトス是ヲ以テ實際ニ上立法ノ範圍ハ法律ヲ制定スル者ノ實況ニ從テ或ハ擴張セラレ或ハ縮少セラレ可ク憲法上豫メ總テノ政治ノ事項ヲ兩斷シテ確然立法ト命令トヲ分割スルコト能ハサルナリ

學者或ハ曰ク立法ノ範圍ハ個人ノ自由權利ノ範圍ト同一ナルヲ以テ立憲政體ノ通則ト爲スト是レ本章ノ冒頭ニ述ヘタル第一ノ主義ニ依ルモノニシテ雷ニ我憲法ヲ認容セサルノミナラス歐洲立憲政體ノ諸國ニ於テモ亦必スシモ之ヲ固守スルモノニ非ラス蓋シ統治權ノ作用ハ殆ント一トシテ直接間接ニ個人ノ自由權利ヲ制限スルモノナラサルハナシ若シ立法ノ範圍ヲ以テ自由權利ヲ制限スルト云

ハ、行政上ニ於ケル瑣末ノ處分ト雖モ亦皆ナ法律ニ從テ之ヲ爲サ、ル可ラサルノ不便アルノミナラス實際上到底行ハレサルノ事ナリ故ニ歐洲ノ國法ニ於テモ必スシモ嚴格ニ之ヲ主張スルコトナク第一主義ヲ採用シタル佛蘭西、白耳義等ノ憲法ニ在リテモ尙ホ法律委任ノ說ヲ爲シ法律ハ行政官ニ委任シテ法律ニ代ル可キ命令ヲ發セシムルモノトセリ

命令  
第六章 命令

命令トハ法律ニ對スルノ語辭ニシテ君主カ議會ノ協贊ヲ經スシテ發スル所ノ法規ヲ云フ憲法上命令ト法律トヲ區別スルハ至要ノ事ニ屬シ二者ノ間輕重ノ差アリ即チ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルヲ得サルコト是ナリ而シテ從來歐洲ノ憲法論ニ於テハ君主ノ權力ヲ命令權ト稱シ立法權ハ君主ノ權力ニ非ラサルカ如ク唱道スルモノアリト雖モ而カモ我カ國法ニ於テハ法律命令共ニ君主ノ意思ノ發表ニシテ其範圍ハ同シク君主ノ統治權ノ範圍ノ一部ナリ只法律ニハ國會ノ協贊ヲ要シ命令ニハ之ヲ要セサルノミ

命令ノ性質ヲ規定スル憲法ノ主義凡ソニアリ左ニ之ヲ畧說セン



第一、執行命令主義 此主義ヲ採用スルハ佛蘭西、白耳義等ノ憲法ニシテ法律ヲ執行スル爲メニ命令ヲ發スルコトノミヲ認メ獨立シテ國法ヲ設クルノ權ヲ認メス故ニ此主義ニ依ルトキハ君主ハ法律ヲ執行スルノ權アレトモ法律ノ不備ヲ補充スルノ權ナキモノトス

第二、獨立命令主義 此主義ハ我カ憲法ノ採用スル所ニシテ獨乙ニ於テモ亦認容スル所ノ理論タリ即チ命令ハ只法律ヲ執行スル爲メニ發スルノミナラス法律ニ牴觸セサル限りハ之ヲ以テ法律ヲ補充スルコトヲ得ルモノ是ナリ我カ憲法第九條ノ規定ニ依レハ曰ク天皇ハ法律ヲ執行スル爲ニ又ハ公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシム云々ト是レ獨立命令ヲ發シ得ルノ主義ヲ發表シタルモノナリ

命令ハ法律ト同シク人民ノ權利義務ヲ規定シ人民ノ之ニ對スル關係ハ猶ホ法律ニ對スルニ等シク絶對的ニ服從ス可キモノタリ人民ハ法律ニ違フノ命令ヲ遵奉スルノ義務ナシト云フノ原則ナク人民一己人トシテハ自ラ法律命令ヲ審査シ判定シ之ヲ違法ナリト認メ之ニ服從スルコトヲ拒ムヲ得ス蓋シ立法者ハ違法ノ命

令ヲ廢止ス可キモノタリト雖モ人民一己人ヨリ之ヲ見ルトキハ法律命令共ニ國法ヲ爲シ等シク強制ノ力ヲ有スルモノナレハナリ

命令權ノ立法權ニ對スル關係ハ特別ナル二個ノ權力ノ存スルニ非ラサルコトハ既ニ述ヘタル所ニシテ只若シ法律命令ノ相牴觸スルコトアルトキニ於テ法律ノ規定ヲ以テ優レリト爲スノ原則アリ此原則タル立法者若シハ裁判官ノ法令ヲ適用スルニノミ充當ス可キモノニシテ二者ノ牴觸シタルヤ否ヤノ審査ハ行政部内ニ於テハ君主ノ大權ヲ以テ之ヲ決シ裁判所ノ適用問題トシテハ訴訟ノ手續ニ依リ判決ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス  
命令權ハ君主ノ大權トシテ之ヲ行ヒ又官府ニ委任シテ之ヲ行ハシム君主ノ大權トシテ發スルヲ勅令ト云ヒ其他ノモノハ各々之ヲ發布スル官府ノ名稱ニ依リテ區別セリ而シテ其範圍及ヒ種類ニ就キテハ之ヲ次章ニ論セン

### 第七章 命令ノ範圍

如何ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得ヘキカ是レ命令ノ範圍ノ問題ナリ今我カ憲法第九條ノ主義ニ依レハ其範圍ハ左ノ三點ニ於テ定マルモノトス



第一、憲法ヲ以テ特ニ君主ノ大權ニ屬セシメタル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ規定ス可シ

第二、憲法上立法事項トシテ明定シタルモノハ命令ヲ以テ之ヲ規定スルコトヲ得ス是レ消極的ニ命令ノ範圍ヲ示スモノニシテ命令權ノ限界ナリ

第三、憲法第九條ノ規定ニ依リ法律ヲ執行シ又ハ安寧幸福ノ爲メニ命令ヲ發ス此場合ハ主トシテ命令ノ範圍ト稱スルモノナリ故ニ左ニ之ヲ畧説ス可シ

(一) 法律ノ執行ハ命令ヲ以テ之ヲ發ス 所謂法律ノ執行トハ法律ノ規定ヲ實際ニ適用シテ其目的ヲ達スルカ爲メニ必要ナル施行ノ規則ヲ設グルノ謂ナリ詳言スレハ法律ノ規定ヲ解釋シ又ハ法律施行ノ手續ヲ定ムル等法律ノ範圍ヲ既セシメテ其目的ヲ達スルカ爲メニ必要ナル命令ヲ發スルコト是ナリ之ヲ執行命令ト稱ス

(二) 社會公共ノ安寧秩序ヲ保持スルカ爲メニ命令ヲ發ス 即チ法律ニ牴觸セサル限り身體ノ安全、財産ノ保護、風俗秩序ノ維持ノ爲メニ發スル所ノ命令ヲ云フ所謂警察命令ノ類是ナリ

(三) 社會ノ幸福ヲ増進スルカ爲メニ命令ヲ發ス 警察命令ノ如キハ消極的ニ危害ヲ防クノ目的ヲ以テ之ヲ發スルモノナレトモ尙ホ一步ヲ進メ社會ノ公益ヲ増進セシムル積極的ノ目的ヲ以テ命令ヲ發スルコトヲ得ベシ是レ特ニ我憲法ノ認ムル所ナリ 以上三個ノ目的ニ依リテ命令ヲ發ス而シテ其性質、効力等ニ至リテハ概テ同一ナリ唯其之ヲ發スルノ目的ヲ異ニスルノミ又之ヲ外國ノ憲法ニ比較スルニ我國ノ如ク命令權ノ範圍ヲ廣汎ナラシメスルノ例少シトス就中其最モ狹隘ナル範圍ヲ認ムルモノニ至リテハ之ヲ法律ノ執行ニ限り稍々廣キモノニ於テモ尙ホ警察命令ニ止メ我カ憲法ノ如ク法律ノ執行、警察及ヒ公益ノ爲メニ命令權ヲ及ホスコトヲ認ムルハ其特色トシテ記憶セラレノコトヲ要ス 茲ニ本章ヲ終ルニ蒞ミ命令權ノ自由ヲフ意義ヲ明ラカニスルヲ要ス抑モ命令ヲ發スル人ニ依リテ之ヲ區別スルトキハ大權命令ト行政官ノ發スル命令トス二アリ而シテ君主カ大權ニ依リテ直接ニ發布スル所ノモノハ法律ニ牴觸セザル限り自由ナリ然レトモ之ヲ推シテ行政官ノ發布スル命令モ亦法律ニ牴觸セザル限



リハ自由ナリト解釋スルニ至リテハ其誤謬太甚シト謂ハサル可カラズ命令權ノ自由トハ特リ君主ノ權力ニ就キテ之ヲ言フノミ國務大臣以下ノ行政官府ハ官制及ヒ法律命令ニ依リテ其命令權ノ範圍ヲ制限セラレタルモノニシテ特ニ之ヲ許シタル場合ノ外命令ヲ發スルコトヲ得サルモノナリ例ヘハ大臣ノ發スル命令ハ法律ニ牴觸セサル事項ハ凡テ何事ヲモ規定シ得ヘキ自由アルモノニ非ラズ官制等ニ依リテ特ニ委任セラレタル事項ノミ有効ニ命令ヲ發スルコトヲ得ヘキカ如シ又行政官ノ發スル命令ハ行政監督權ニ依リテ之ヲ監督スルモノナリ例ヘハ府縣知事ノ發シタル行政命令ハ國務大臣ニ於テ之ヲ法律ニ背キ公益ヲ害スルモノト認メタルトキハ監督權ヲ以テ之カ取消ヲ命ズルコトヲ得ヘキカ如ク行政官ハ各階級ニ依リ上級ノ行政官ハ下級ノ行政官ヲ監督ス故ニ此點ニ付テ之ヲ見ルモ各行政官ノ有スル命令權ハ上級官府ノ命令權ニ依リテ監督セラレ制限セラル、モノト謂フ可シ安ソソ命令權自由ノ理論ヲ濫用シテ行政官ノ發スル命令ニ及ホスコトヲ得ンヤ憲法第九條ノ規定ハ君主ノ大權ヲ規定スルモノニシテ行政官府ノ命令權ヲ一般ニ規定スルモノニ非ラサルナリ

命令ノ種類

第八章 命令ノ種類

憲法上ノ規定ニ依リ命令ヲ分テ左ノ三種ト爲ス

第一、大權命令

第二、法律ニ代ルノ勅令

第三、行政命令

是レナリ蓋シ此區別タル命令權ト大權及ヒ法律トノ關係ヨリ觀察シタルモノニシテ其他尙ホ命令ノ實質若クハ形式等種々ノ標準ニ依リ種々ノ區別ヲ爲スコトヲ得ヘキモ憲法ノ説明トシテハ右ニ掲ケタル三個ノ區別ヲ論スルヲ以テ要領ヲ得タルモノトス以下之ヲ分説セン

第一、大權命令

大權命令トハ憲法上ノ大權事項ヲ命令スルモノナリ凡ソ命令ヲ發スルノ權ハ大權ニ屬スルヲ以テ命令ハ總テ大權ノ命令ナルカ如クト雖モ而カモ我カ憲法上所謂大權命令トハ命令中ノ一種類ニシテ特ニ大權ノ事項ヲ規定スルモノト謂ナリ命令ヲ發スルノ權ハ大權ニ屬スレトモ命令ヲ以テ發シタル事項常ニ必スシモ悉



少大權事項ナリト云フ可カラス例ハ赦免權執行ヒ又ハ官制權ヲ行フカ如キ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルモノハ大權事項ヲ規定スルノ勅令ナリ然レトモ憲法第九條ニ於テハ命令ヲ以テ大權事項ト非ラサル事項ヲ規定スルコトアリ彼ト此トテ區別シテ特ニ大權命令ト稱スルモノトス

夫權命令ハ他ノ命令例ヘハ憲法第九條ノ命令ト異リ法律ト相對峙シテ各相犯スルコトヲ得ス他ノ命令ハ法律ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ヘキモ大權命令ハ法律之ヲ變更スルコトヲ得ス又大權ヲ以テ法律ヲ犯スコトヲ得ス各獨立シテ相戻ラズ以テ其作用ヲ完フスルモノナリ是故ニ憲法ハ大權ニ屬スル事項ヲ列記シテ其範圍ヲ確定セリ之ヲ歐洲ノ憲法ニ較スルニ其法理ヲ異ニスルコト少シトセス試ニ獨乙ノ國法ニ就テ之ヲ見ンカ大權命令ト我カ憲法第九條ノ命令即チ行政命令トノ區別ヲ爲サス等シク君主ノ發スル所ノモノヲ命令ト稱シテ之ヲ法律ノ下ニ置キ法律ト命令ト相抵觸スルトキハ命令ハ常ニ步テ法律ニ讓ルモノト解釋セリ恰モ我憲法第九條ノ命令ト其効力ヲ等フスルモノト謂フ可シ然レトモ我憲法ニ於ケル大權命令ハ法律ト上下輕重ノ區別ヲ爲サルモノトス

第二、法律ニ代ルル勅令

法律ニ代ルル勅令即チ普通ニ所謂緊急命令ハ憲法第八條ニ依リ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ避クル爲メ緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ發スル所ノ勅令ニシテ其名稱ノ如ク法律ニ代リ命令ヲ以テ法律ノ範圍ヲ規定スルモノナリ今歐洲各國ノ憲法ヲ閱スルニ英國ニ於テハ緊急命令ノ制度ナシ然レトモ國會閉會ノ場合ニ於テ臨時必需ノ事項ハ命令ヲ以テ立法ノ事項ヲ規定スルコト多シ此事ナル理論上憲法違反ナリト雖モ實際不得止場合ナル法以テ內閣ハ國會ニ向テ違憲ノ責任ヲ解除セラレンコトヲ請求スルモノトス佛國ノ憲法ニ於テモ亦此制度ナシ唯實際上憲法違反トスルノミ獨乙ニ於テハ憲法ヲ制定スルニ際シ之ヲ憲法ニ條項トナシ憲法ノ認容スル所ノ正當ナル事項ト爲セリ我カ憲法モ亦此制度ヲ認メ當ニ之ヲ以テ憲法ノ違反ニ非ラスト爲スノミナラス苟モ國家緊急ノ場合ニ於テ緊急勅令ヲ發スルハ政府ノ義務ト爲シ之ヲ怠ルトキハ反テ憲法ノ精神ニ背クノ非難ヲ免レサルナリ

緊急命令ヲ發スルノ要件ハ(一)議會閉會ノ場合タルコト(二)緊急ノ必要アルコト是



レナリ而シテ緊急ノ必要アリヤ否ヤハ事實ヲ認定ニシテ之ヲ發スル人ノ認定權ニ屬ス且議會閉會ノ場合ニ發スルト云フカ故ニ特ニ臨時議會ヲ召集スルコトヲ義務トセス又此命令ノ實質ハ公ケノ安寧ヲ保ツカ爲メニ必要ナル災害ヲ防クノ事項タルヲ要ス即チ消極的ニ害ヲ防クカ爲メニ發スルモノニシテ積極的ニ公ケノ幸福ヲ増進スト云フカ如キ事ノ爲メニ之ヲ發スルコトヲ得ス是レ憲法第八條カ特ニ其範圍ヲ制限シタル所以ナリ

緊急命令ノ存在ニ付キテハ議會ノ承諾ヲ要ス即チ憲法第八條第二項ニ於テ此ノ勅令ハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出ス可シ若シ議會ニ於テ承諾セザルトキハ政府ハ將來ニ向テ其ノ効力ヲ失フコトヲ公布ス可シト規定スルモノ是レナリ或ハ本條ニ所謂承諾ナル語ヲ解シテ追認ト爲スモノアレトモ是レ誤謬ノ甚シキモノナリ蓋シ追認ハ例ハハ無能力者ノ爲シタル法律行為ヲ後日ノ認諾ニ依リテ元來無効ナリシ行為ヲ有効ナラシムルカ如キモノニシテ茲ニ所謂承諾ト其結果ヲ異ニスルコト霄壤管ナラサルナリ即チ緊急命令ハ憲法上ノ規定ニ依リテ發スルモノナルカ故ニ初メヨリ有効ニシテ合法的ニ之ヲ發スルノ權ヲ有スルモノナリ

承諾ニ依リ既往ニ遡リテ有効トナルモノニ非ラス承諾ヲ求ムル所以ハ單ニ此命令ヲシテ將來ニ向テ尙ホ存在セシムルキヤ否ヤヲ決スルニ在リ故ニ承諾アルハ將來ニ向テ法律トシテ効力ヲ有シ承諾ナクハ此命令ハ將來ニ向テ廢止セラル承諾ノ効果ハ既往ニ遡ラサルコトヲ記憶セサル可カラズ而シテ茲ニ承諾ナル文字ヲ用ヰルハ聊カ不穩當ノ嫌ナクシテハアラズ然レトモ予輩カ前章ニ於テ議會ノ權限ヲ論スルニ當リ憲法カ協贊承諾等ノ語ヲ用ヰタルハ政治語ニシテ法律上ノ意味ハ議會ノ行為ハ議決ノ外他ニ之レヲキコトヲ説明シタリ議決ハ單ニ團體ノ意思ノ發表タルニ過キスシテ命令ト異リ命令ハ他人ノ行為ヲ束縛スルノ効力アレトモ議決ニハ斯ル効力ナシ故ニ緊急命令ノ場合ニ於テモ議會ノ承諾ストハ議決ト解釋ス可シ其議決カ如何ナル結果ヲ惹起スルヤハ憲法ノ規定ニ依ルモノニシテ議會ノ議決其モハ命令ニ非ラズ約束ニ非ラズ只議會ナル團體ノ意思ノ發表タルニ過キサルナリ

第三、行政命令

行政命令トハ行政ニ對シテ行為ノ準則ヲ示シ法律ヲ補充スルヲ目的トシテ發ス



ルモノナリ憲法第九條ニ規定スルモ即チ是レナリ之ヲ前二者ノ命令ト區別スルハ法律ニ對スル彼此ノ關係ヲ異ニスルカ故ニシテ此命令ハ法律ニ代ルニ非ラス又法律ト同等ナルニ非ラス法律ニ牴觸セサルニ限りニ於テ其不備ヲ補フモノナリ故ニ法律ヲ以テ行政命令ヲ變更スルコトヲ得ヘキモ行政命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得ス

行政命令ナル語ハ或ハ妥當ナラス行政法ニ於テ行政事務ヲ規定スルモノヲ稱シテ行政命令ト爲ス者アリ彼此相混同セザラシムコトヲ要ス只適當ノ語ナキ以テ予輩ハ茲ニ行政ノ命令ト名ケテ行政官ノ發スル命令ト云フノ意ニ非ラスシテ行政ニ對シテ發スル命令ナリトノ謂ナリ命令ノ實質ハ主トシテ行政ノ準則ニアルコトヲ明カニセント欲スレハナリ

行政命令權ハ官府ニ委任スルコトヲ得是亦前二者ノ命令ト其性質ヲ異ニスル所ニシテ大權命令及ヒ緊要命令ヲ發スルノ權ハ行政官府ニ委任スルコトヲ得サルモ憲法第九條ノ命令ハ之ヲ委任シテ發セシムルコトヲ得ヘシ是ニ於テ乎行政命令ハ之ヲ發スルノ人ニ依リテ種々ノ名稱ヲ付ス例ヘハ勅裁ニ依リテ親署ヲ經ル

條約

モノヲ勅令ト稱シ其他行政官ニ委任シテ發セシムルモノ各其官府ニ依リテ其名稱ヲ異ニシ閣令、省令、府縣令ト名ツクルカ如キ是レナリ而シテ委任ニ依リテ有スル各省大臣府縣知事及ヒ郡長等ノ行政命令ヲ發スルノ權ハ官制ニ依リテ其範圍ヲ規定ス而シテ之ヲ論スルハ行政法ニ講楚ニ於テス可キモノトス

第九章 條約

法令ハ國家カ臣民ニ對スル主權ノ發動ナリ然レドモ外國ニ對スル主權ノ發動ハ法律ノ關係トシテ條約ノ形式ニ於テ表ハルモノナリ而シテ外國ニ對シテ條約ヲ締結スルハ天皇ノ大權ニ屬ス憲法第十三條抑モ法律命令ハ命令的ノ性質ヲ有スルヲ以テ獨立シタル各國ノ間ニ之ヲ行フコトヲ得ス唯權力者ノ服從者ニ對スル關係ヲ規定シ得ルノミ同等ノ國ト國トノ關係ヲ規定スルハ條約ノ形式ニ依ル是故ニ法律、命令及ヒ條約ノ三者相竣テ國ノ内外ニ對シテ統治權ノ作用ヲ完ススルモノト謂フ可キナリ

條約ハ文字ノ示スカ如ク合意約束ノ性質ヲ有シ法令トハ其性質ヲ異ニセリ或ハ條約ヲ以テ法律ナリト爲スノ論者ナキニ非ラサレドモ既ニ條約ナル語辭ヲ止ニ



於テ抵觸アルヲ見ル可キナリ條約ノ法律ニ非ラサルコト語辭ノ上ニ於テ明白ナルカ如ク其實質上ニ於テモ亦條約ハ外國ニ對シ法律ハ臣民ニ對スルノ別アリ條約ノ締結權ハ君主ノ大權ニ屬ス既ニ大權ト云フトキハ國家ノ機關カ國家ヲ代表シテ條約ヲ締結スルコトヲ得サルナリ然レドモ歐米ノ憲法ニ於テハ君主ト國會トノ協同シテ締結權ヲ行フノ制度アリ例ヘバプロイセン白耳義及ヒ北米合衆國ノ如キ即チ是レナリ我カ憲法ニ於テハ此主義ヲ採用セス國家ノ機關ノ參與ナクシテ君主獨リ此權ヲ有スルノ主義アリ又或ル論者ハ曰ク君主ハ國家ヲ代表シテ條約ヲ締結スト蓋シ普通ノ政治語トシテハ深ク咎ムルニ足ラズ雖モ苟モ法律語トシテ之ヲ見ルトキハ爲メニ幾多ノ誤解ヲ來スニ至ル即チ條約ノ主體ハ君主ニ非ラスシテ國家若クハ國民ナリト云フノ誤謬ニ陷ルノ恐アリ君主ハ決シテ第三者ヲ代表シテ條約ヲ締結スルニ非ラス自己ノ目的ノ爲メニ自己ノ權ヲ以テ之ヲ締結スルモノナリ

夫レ斯ノ如ク條約ノ當事者ハ國民ニ非ラズシテ君主ナリ主權者ハ權限カ條約ニ依リテ定マルモノニシテ國民各個人ノ權利義務カ直接ニ條約ニ依リテ定マルモノ

ノニ非ラス蓋シ條約ハ國內ニ執行スルコトヲ目的トシテ締結スルモノナルヲ以テ主權者カ條約ヲ執行スルトキハ間接ニ國民ノ權利義務カ條約ニ依リテ定マルモノナルカ如キ觀アレトモ是レ間接ノ結果ニシテ條約締結直接ノ結果ニ非ラザルナリ臣民ハ條約ニ服從スルニ非ラズ主權者ノ命令ニ服從スルモノナリ詳言スレバ主權者カ外國條約ニ違據ス可シト命スル所ノ命令ニ服從スルモノニシテ條約其者カ直チニ各個人ノ權利義務ヲ標準トナルニ非ラズ且秘密條約ノ如キ之ヲ國民ニ公ケニセサルノ條約アルニ非ラズヤ亦以テ條約ノ直接ノ結果ハ締結者其人カ當事者タルモノニシテ國民全體カ他ノ國民全體ニ對スル所ノ約束合意ニ非ラサルコト知ル可キナリ

如何ナル事項カ條約ニシテ締結セラル、ガハニニ政界ノ問題ニシテ法理ノ議論ニ非ラズ法理上ニ於テハ如何ナル事項ト雖モ悉ク條約ノ實質タルコトヲ得ベシ然レトモ通常ニ貿易交通或ハ同盟連合又ハ雙方ノ經濟政界等ニ就キテ締結スルモノ多シトス其實質ヲ説明スルハ外交ノ學ニ歸シ憲法ノ研究ニ屬セズ而シテ歐洲ノ憲法ニ於テハ通商條約又ハ國民ノ負擔ニ歸スルノ條約ハ國會ノ協賛ヲ經テ



締結不可キモノトスルコトプロイセン及ヒ白耳義ノ如キアリト雖モ此點ニ關シ  
 我カ憲法ハ寧ロ英國ノ憲法ト其主義ヲ同フシ通商條約ノ締結モ亦君主ノ特權ニ  
 屬シ國會ノ議決ヲ必要條件トナサザルナリ  
 條約ト法律トノ關係ハ猶ホ法律ト大權トノ關係ニ於テルカ如ク各相獨立シテ行  
 ハル、モノニシテ其間輕重上下ノ別アルコトナシ世人往々條約ト法律トノ抵觸  
 スル場合アルカ如ク想像シテ法律ノ効力ハ條約ニ一籌ヲ輸スルモノナリト論ス  
 ル者アリト雖モ其謬論タル言ヲ俟タサルナリ是レ條約ハ國際ノ關係ヲ規定シ法  
 律ハ臣民服從ノ關係ヲ規定スルト云フ本來ノ性質ヲ誤リタルノ結果ニシテ二者  
 各其規定スル當事者ヲ異ニスルヲ以テ之カ抵觸ヲ來サント欲スルモ能ハサルナ  
 リ只實際問題トシテハ君主カ條約ヲ締結シタル場合ニ於テ國內ニ法律ヲ發布ス  
 ルヲ必要トスルコトアルニ當リ國會カ法律案ヲ否決スルトキハ條約履行ノ困難  
 ヲ來スモノナリ然レトモ條約ヲ履行スルカ爲メニ必要ナル法律案ヲ國會ノ否決  
 スルコトアリトスルモ理論上條約其者ノ効力ニ何等ノ影響ヲ及ホカス毫モ條約  
 ノ効力ヲ傷クルコトナシ唯主權者カ條約ヲ履行スルニ於テ困難ナリト云フノ事

實アルノミ條約履行ノ不能ニ依リテ實際行ハレサルハ往々有リ得ヘキノ事ニシ  
 テ豈ニ當ニ國會ノ衝突ノミナランヤ條約ハ條約トシテ其効力ヲ保有シ國會ノ法  
 律案ヲ否決シタルカ爲メ未ダ必スシモ條約ヲ破ラサル可カラサルノ當然ノ結果  
 トナルコトナキナリ

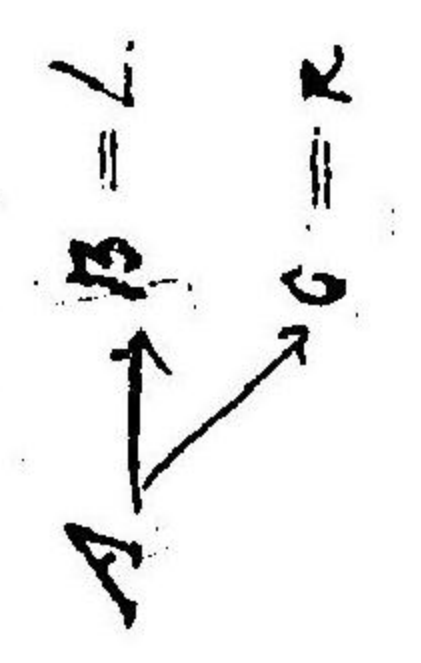
帝國憲法(完結)



14.
249

$$A' + B + C' = \square$$

$$A' = \square - (B + C')$$



2/16  
 16/2

Handwritten notes in Chinese characters, including the characters '子' (zi) and '法' (fa), and some illegible characters.

Handwritten text in Chinese characters, possibly a title or section header.

Handwritten text in Chinese characters, possibly a date or page number.

16/16



IK 418

永

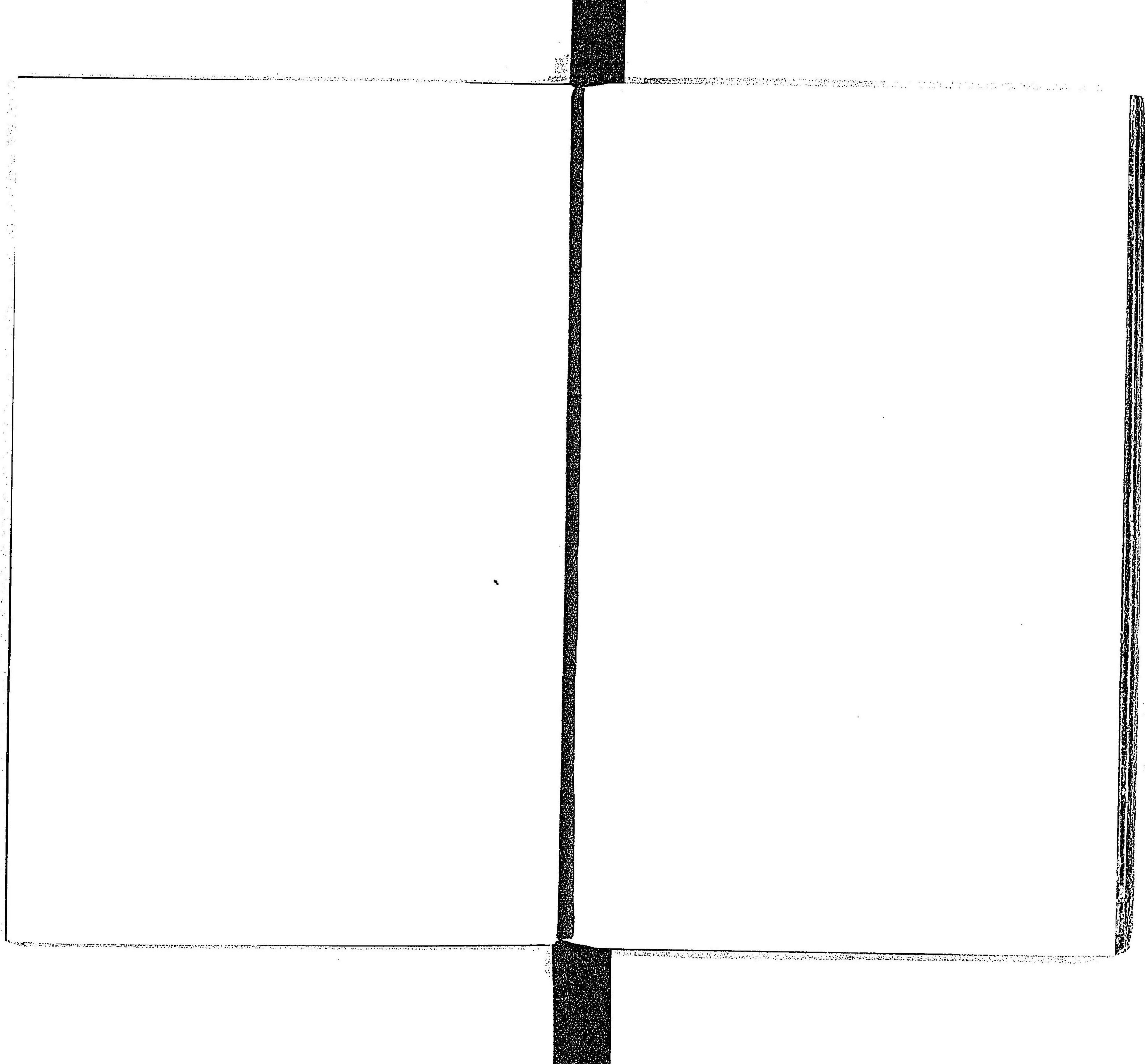
印

壽

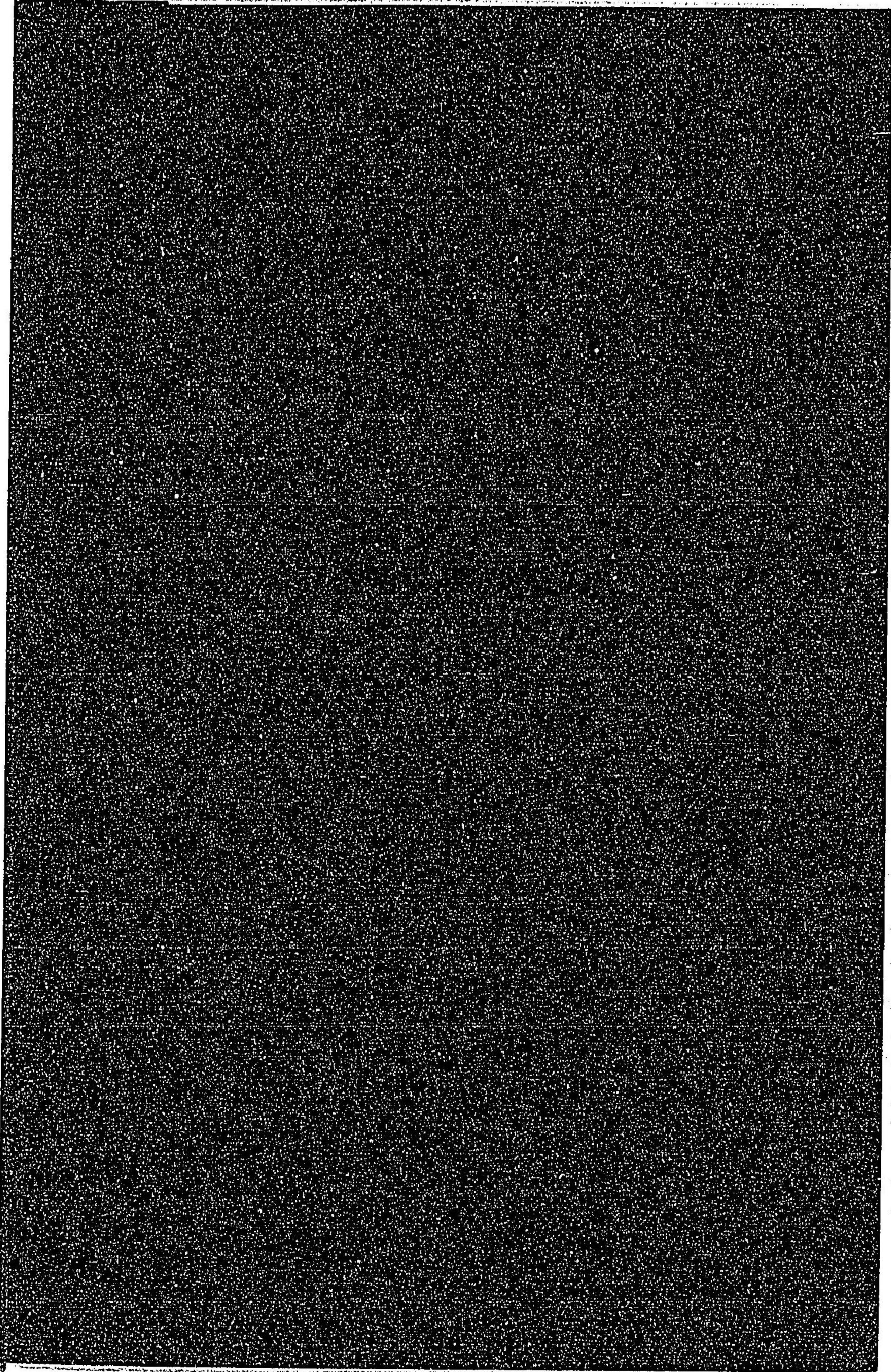
領

印











14

249人

031728-000-6

14-249人

帝国憲法

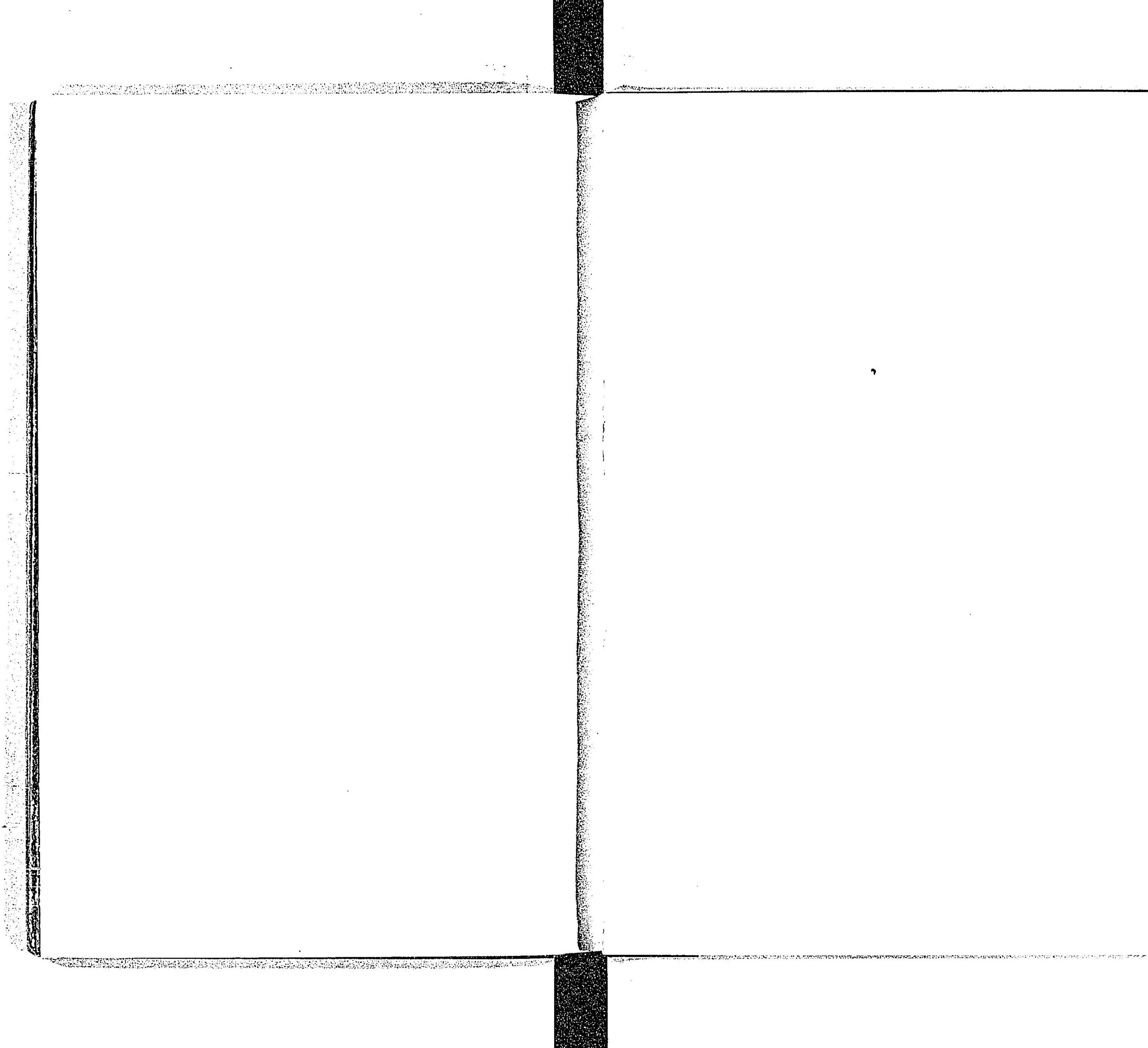
穂積 八束/述

[M28?]

BBE-0355









4V8

14  
249

Vertical text on the left side, possibly a title or chapter heading.

Vertical text on the left side, possibly a title or chapter heading.

Vertical text on the left side, possibly a title or chapter heading.

